

令和2年度
杉並区ひとり親家庭実態調査
報告書

令和2年11月
杉並区

令和2年度

杉並区ひとり親家庭実態調査報告書

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
(1) 調査の対象および対象者数	1
(2) 調査方法・調査期間	1
3. 報告書の見方	1
4. その他	1
II. 調査結果	2
1. 世帯の状況、生活の状況について	2
(1) 性別・年齢	2
(2) ひとり親になった理由	3
(3) ひとり親になってからの年数	4
(4) 世帯の1年間の手取り総収入	5
(5) 最終学歴	7
(6) 子どもの人数	8
(7) 世帯構成、子どもの状況	9
(8) 住宅の種類	11
(9) 住宅の間取り	12
(10) 住宅費	14
2. 養育費について	16
(1) 養育費の受け取りの状況	16
(2) 養育費の取り決めの方法	18
(3) 養育費の取り決めをしていない理由	19
(4) 養育費の年額	20
3. 面会交流について	21
(1) 面会交流の実施状況	21
(2) 面会交流の頻度	22
(3) 面会交流を行っていない理由	23

4.	仕事について.....	24
	(1) ひとり親になる前の仕事の有無.....	24
	(2) ひとり親になる前の雇用形態.....	25
	(3) ひとり親になったことによる転職の有無.....	26
	(4) 転職で利用した窓口.....	27
	(5) 現在の仕事の有無.....	28
	(6) 現在の雇用形態.....	29
	(7) 勤務地.....	32
	(8) 平均的な帰宅時間（自営業の場合は終業する時間）.....	33
	(9) 現在の仕事の勤続年数.....	34
	(10) 転職希望の有無.....	35
	(11) 転職したい理由.....	36
	(12) 仕事をしていない理由.....	37
	(13) 仕事を探すにあたっての悩み.....	38
	(14) 資格等の保有状況.....	39
	(15) 資格等の活用状況.....	40
	(16) 今後、取得したい資格等.....	41
5.	経済状況について.....	42
	(1) 現在の主な収入源.....	42
	(2) 貯金の状況.....	43
	(3) 現在の暮らしの状況.....	45
6.	子育てについて.....	47
	(1) 子どもが病気のとときの子どもの世話（小学校入学前）.....	47
	(2) 父母自身が病気などのとときの子どもの世話（小学校入学前）.....	48
	(3) 子どもと過ごす時間.....	49
	(4) 子どもとの会話・やりとり.....	50
7.	健康について.....	51
	(1) 父母自身の健康状態.....	51
8.	悩みや困りごとなどについて.....	52
	(1) ひとり親になる前に知りたかったこと.....	52
	(2) ひとり親になった当時の悩みや困り事.....	54
	(3) 現在の悩みや困り事.....	56
	(4) 悩みや困り事の解決方法.....	58
	(5) 悩みや困り事があっても特に何もしない理由.....	60
	(6) ひとり親家庭への支援で特に必要と思うもの.....	61
	(7) 情報の入手先.....	62
9.	公的支援の利用状況.....	64
10.	自由記載.....	65
III.	調査票.....	71

I. 調査の概要

1. 調査の目的

区内にお住まいのひとり親家庭の実態を多角的に把握・分析し、今後のひとり親家庭支援施策の充実に向けた基礎資料として活用することを目的とする。

2. 調査方法

(1) 調査の対象および対象者数

杉並区に居住する世帯主と20歳未満の子で構成される世帯のうち、無作為に抽出した2,000世帯
(令和2年8月1日現在)

発送数	有効回答数	有効回答率
2,000件	669件	33.5%

(2) 調査方法・調査期間

調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	令和2年8月17日～9月4日

3. 報告書の見方

- ・ 図表の()内の数字は、各設問に該当する回答者数である。
- ・ 回答率(%)は小数点第2位を四捨五入して表示しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ クロス集計におけるグラフ・表においては、分析の柱となる項目の「無回答」の項目の分析の掲載を省略している。
- ・ クロス集計の表中の網掛けは、分析の柱となる項目ごとにおける上位3位を表している。
- ・ 文中に出てくる『 』は複数の項目の合算である。
- ・ 各設問のグラフは、全体、母子世帯、父子世帯で作成している。内訳は以下のとおりである。

	全体	母子世帯	父子世帯
回答数	669件	597件	70件
割合	100.0%	89.2%	10.5%

4. その他

単身赴任などによる一時別居の世帯はこの調査の対象外とした。

II. 調査結果

1. 世帯の状況、生活の状況について

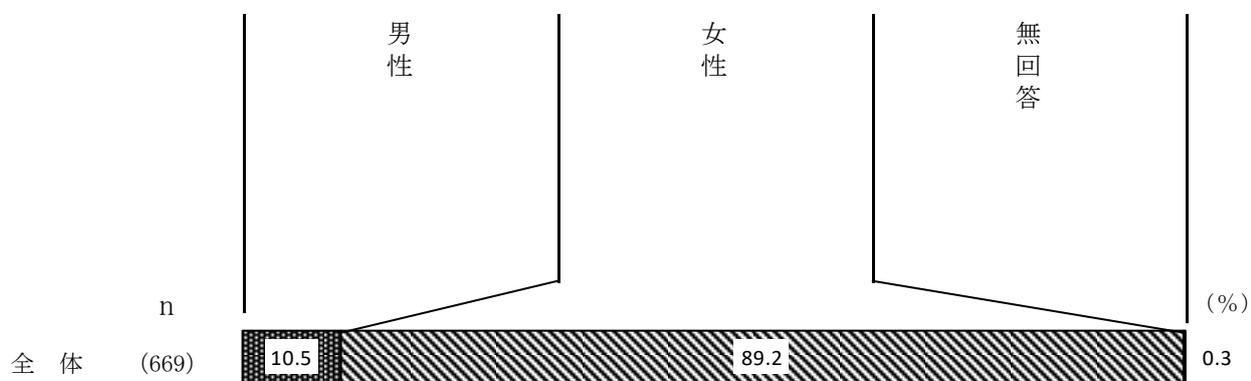
(1) 性別・年齢

回答者の性別は、「女性」が89.2%と大半を占め、「男性」は10.5%となっている。

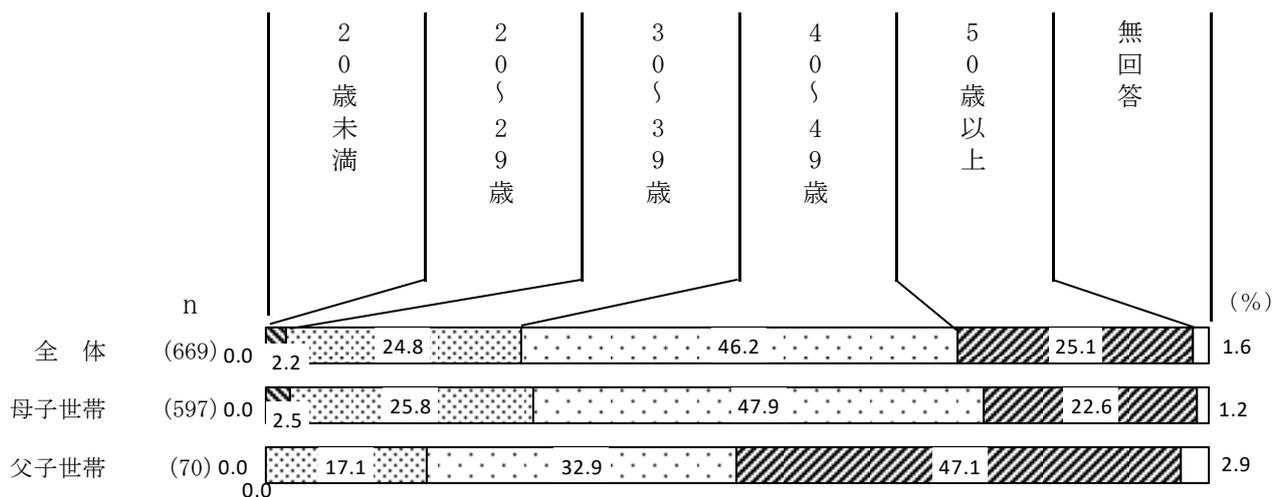
年齢は、全体では「40～49歳」が46.2%と最も高く、次いで「50歳以上」(25.1%)、「30～39歳」(24.8%)となっており、平均年齢は44.1歳となっている。

世帯別にみると、母子世帯は「40～49歳」(47.9%)、「30～39歳」(25.8%)の順で平均年齢は43.6歳、父子世帯は「50歳以上」(47.1%)、「40～49歳」(32.9%)の順で平均年齢は47.7歳となっている。

図表1. 回答者の性別（単数回答）



図表2. 回答者の年齢（単数回答）



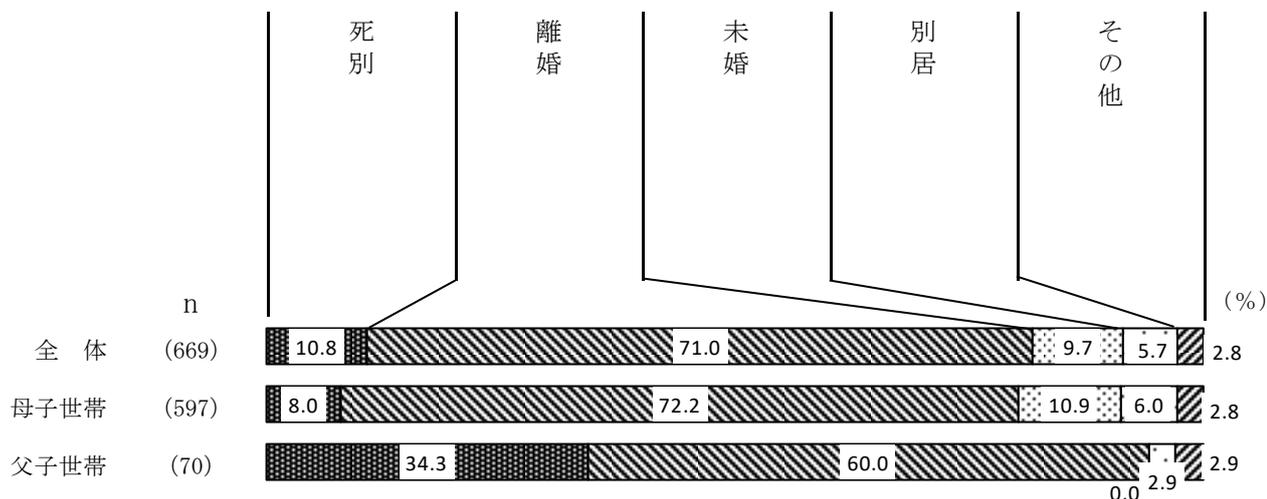
(2) ひとり親になった理由

「離婚」が71.0%で最も高く、「死別」が10.8%、「未婚」が9.7%となっている。

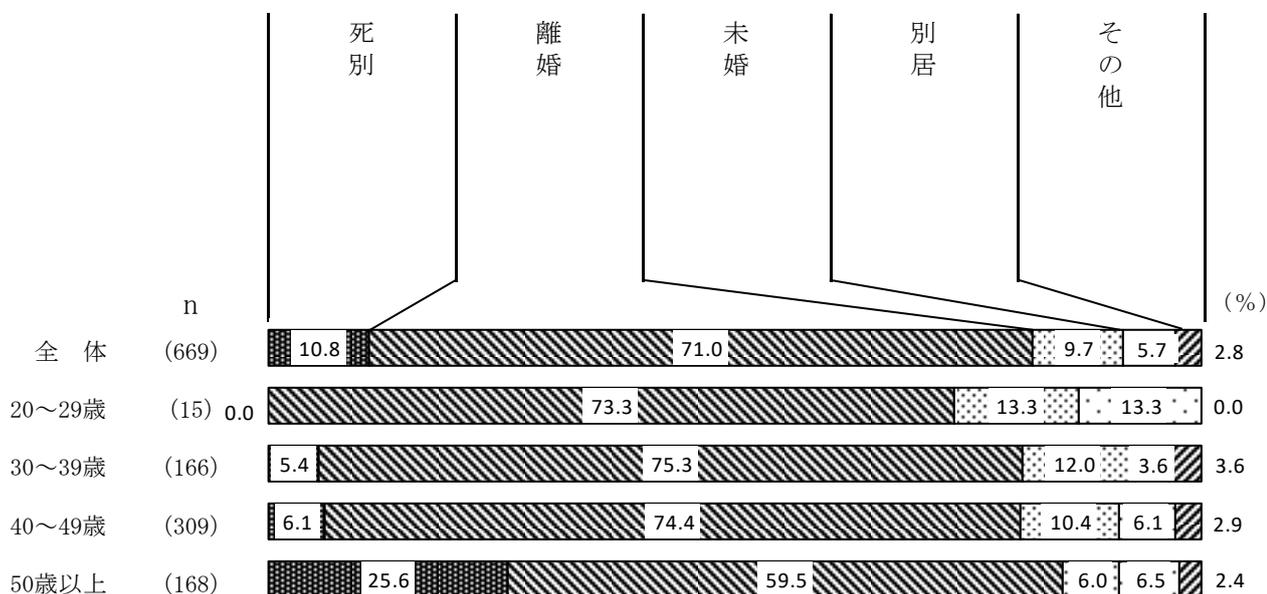
世帯別にみると、母子世帯は「離婚」(72.2%)に次いで、「未婚」(10.9%)、「死別」(8.0%)の順になっており、父子世帯は「離婚」(60.0%)、次いで「死別」(34.3%)となっている。

年齢区分別にみると、「死別」は50歳以上で4分の1を占めている。

図表3. ひとり親になった理由（単数回答）



図表4. 年齢区分別によるひとり親になった理由（クロス集計）

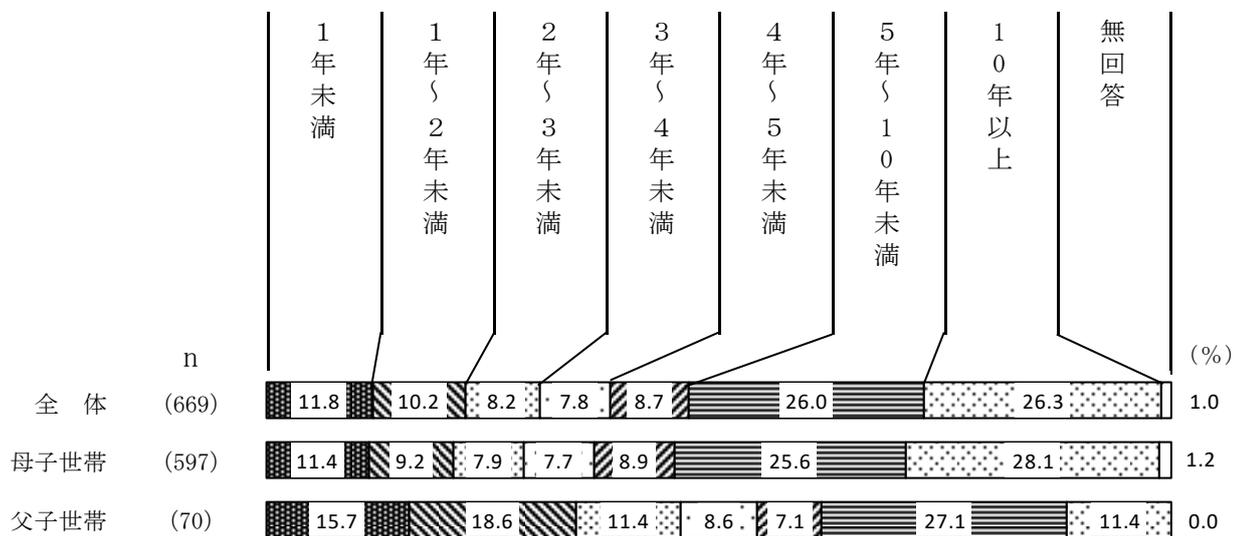


(3) ひとり親になってからの年数

全体では、「10年以上」が26.3%、「5年～10年未満」が26.0%、「1年未満」が11.8%となっている。

世帯別にみると、母子世帯は「10年以上」(28.1%)、次いで「5年～10年未満」(25.6%)の順となっており、父子世帯は「5年～10年未満」(27.1%)、「1年～2年未満」(18.6%)の順となっている。

図表5. ひとり親になってからの年数（単数回答）

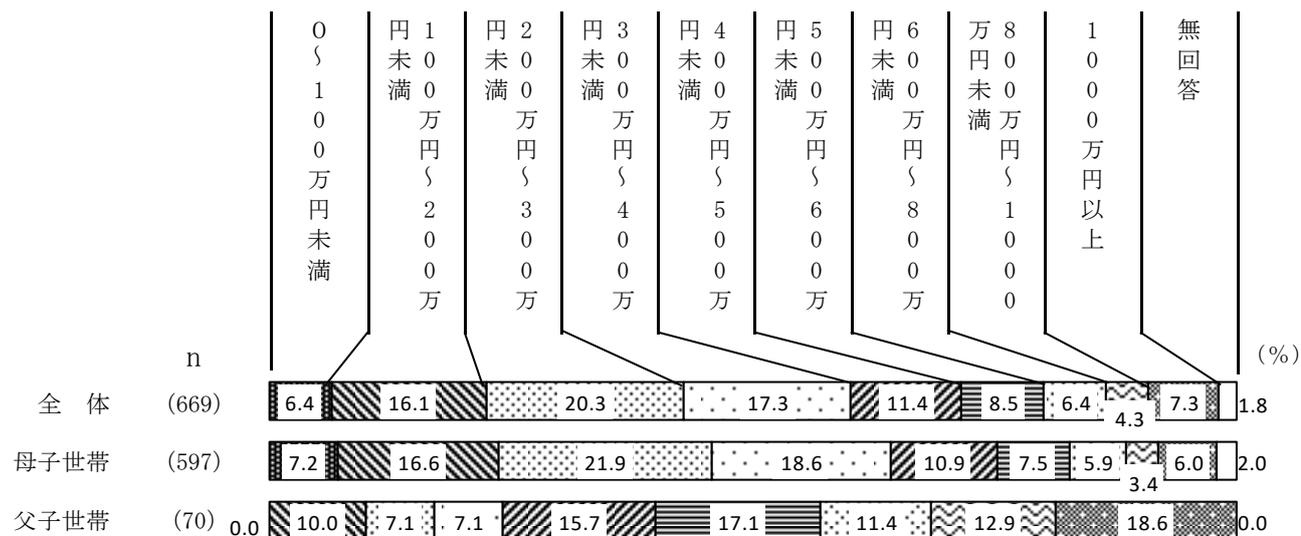


(4) 世帯の1年間の手取り総収入

世帯の昨年（平成31年1月～令和元年12月）の手取り総収入は、母子世帯は「200万円～300万円未満」が21.9%と最も高く、次いで「300万円～400万円未満」が18.6%、「100万円～200万円未満」が16.6%である。母子世帯の45.7%が『300万円未満』となっている。

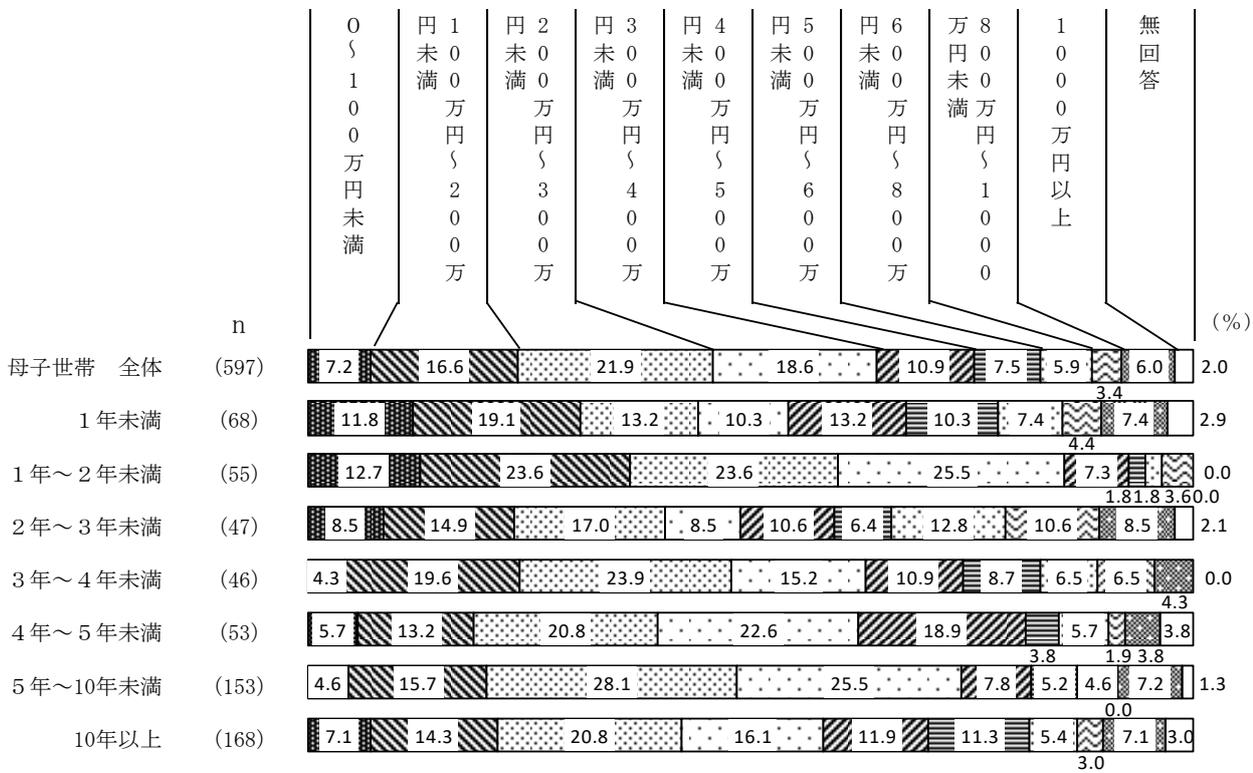
父子世帯は「1000万円以上」が18.6%と最も高く、次いで「500万円～600万円未満」（17.1%）、「400万円～500万円未満」（15.7%）となっている。父子世帯のうち『300万円未満』は17.1%である。

図表6. 世帯の手取り年収（単数回答）

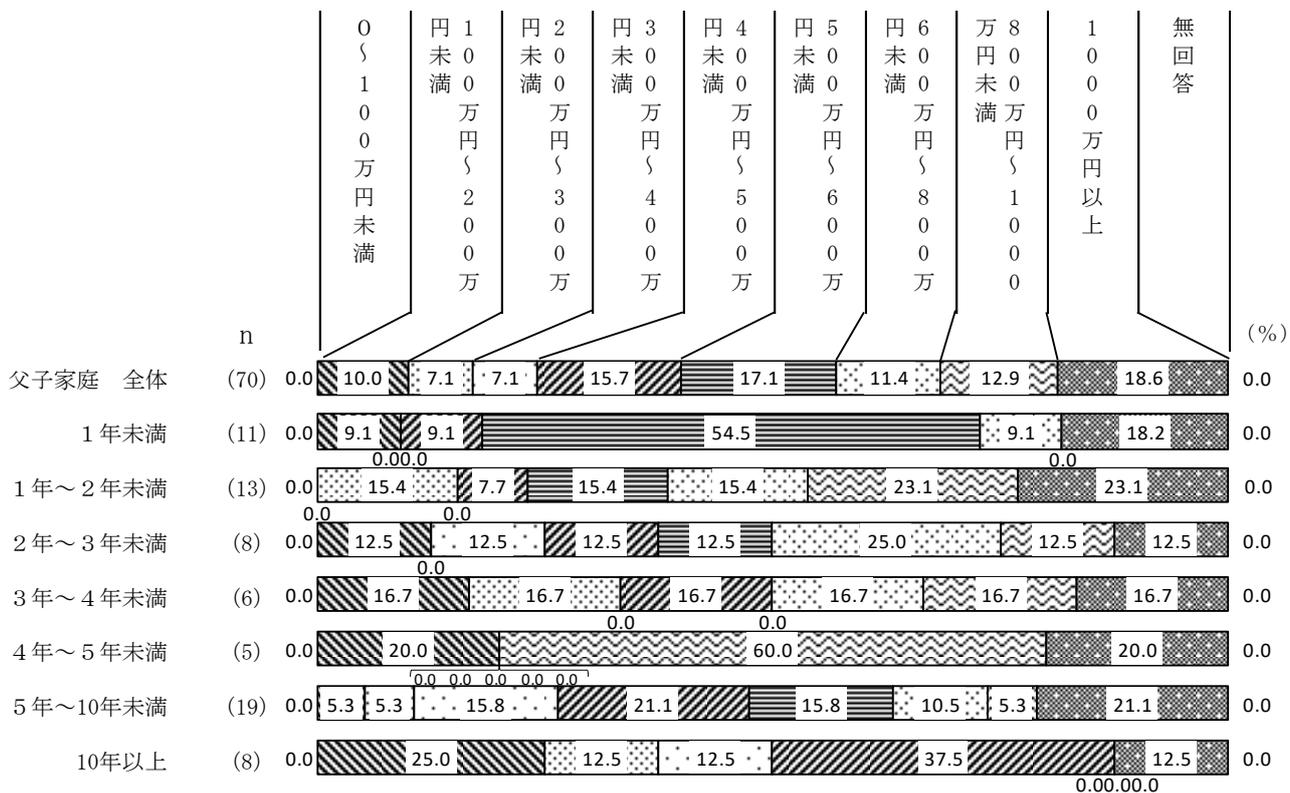


母子世帯・父子世帯ごとにひとり親期間別にみると、母子世帯は1年未満で「100万円～200万円未満」が、1年～2年未満と4年～5年未満で「300万円～400万円未満」が、そのほかの年数区分では「200万円～300万円未満」が最も高くなっている。

図表7. 【母子世帯】ひとり親期間別による世帯の手取り年収（クロス集計）



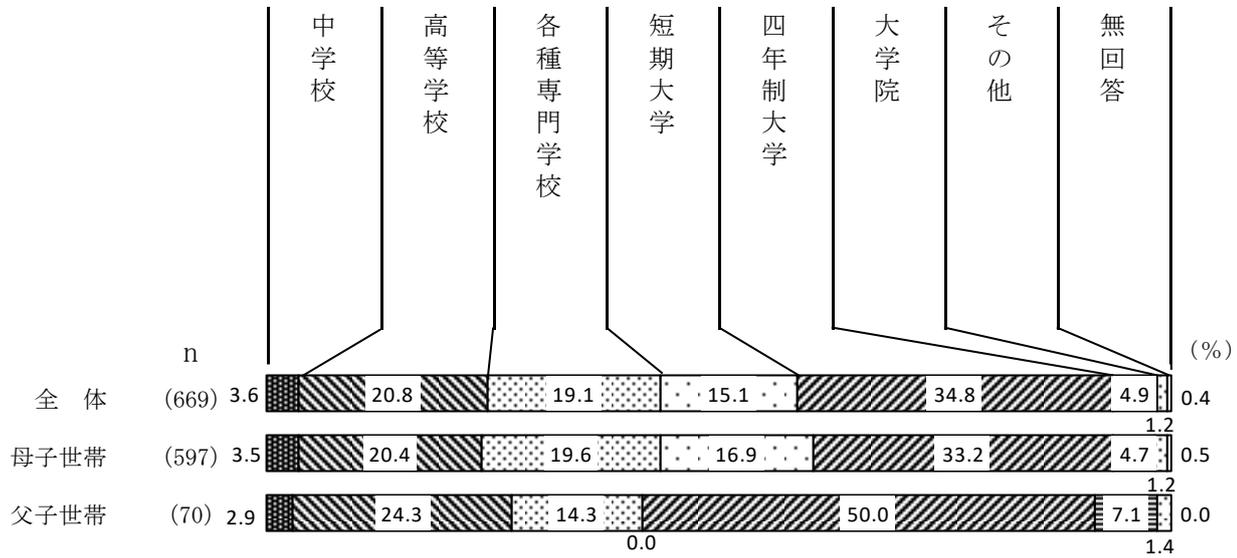
図表8. 【父子世帯】ひとり親期間別による世帯の手取り年収（クロス集計）



(5) 最終学歴

「四年制大学」が34.8%と最も高く、「高等学校」が20.8%、「各種専門学校」が19.1%となっている。父子世帯は「四年制大学」が半数を占めている。

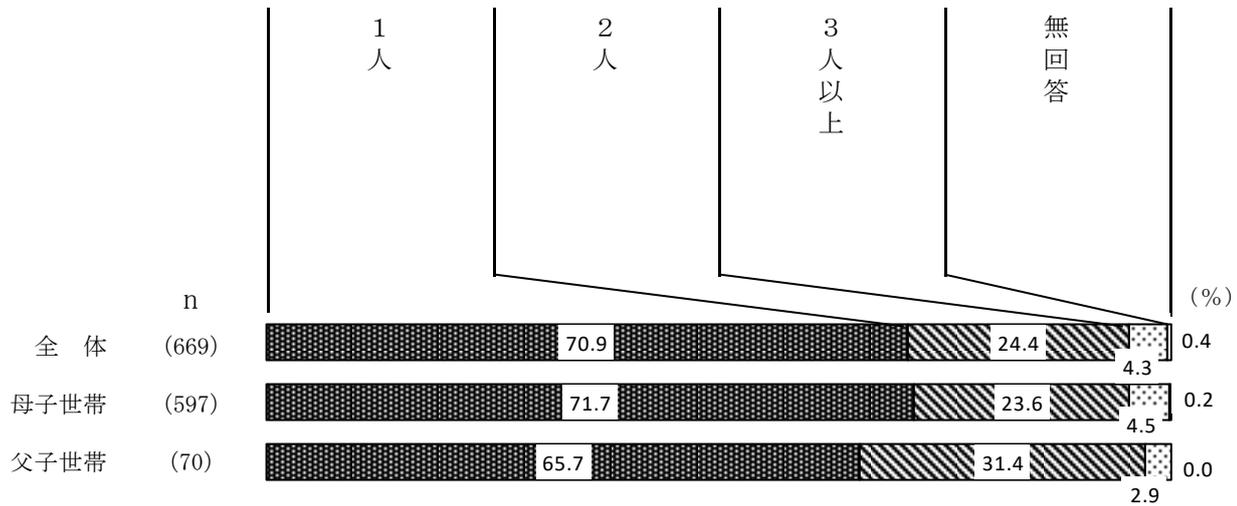
図表9. 最終学歴（単数回答）



(6) 子どもの人数

同居している20歳未満の子どもの人数は、「1人」が70.9%で最も高く、「2人」が24.4%、「3人以上」が4.3%となっている。1世帯の子どもの平均人数は1.3人となっている。

図表10. 子どもの人数

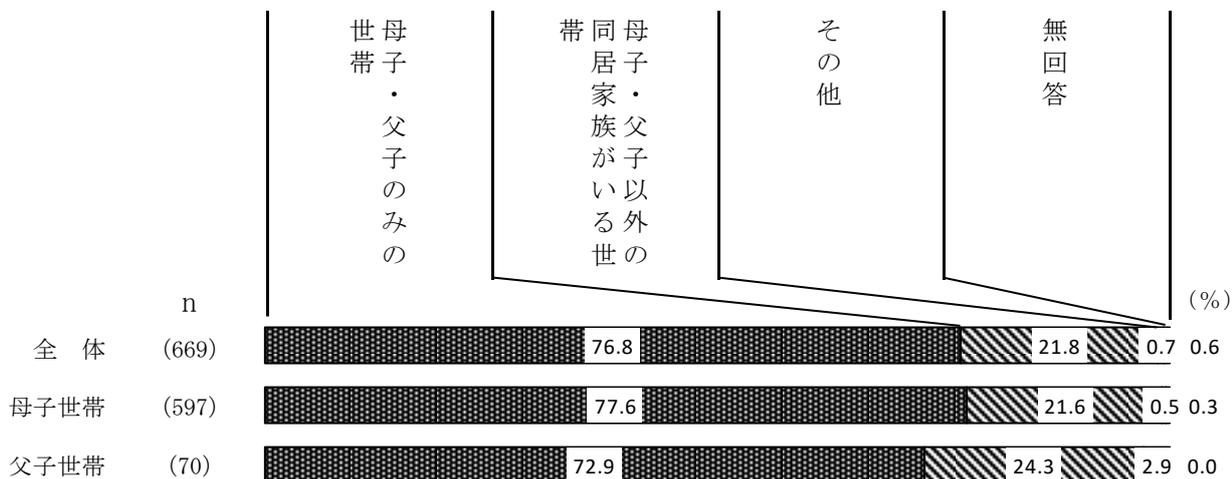


(7) 世帯構成、子どもの状況

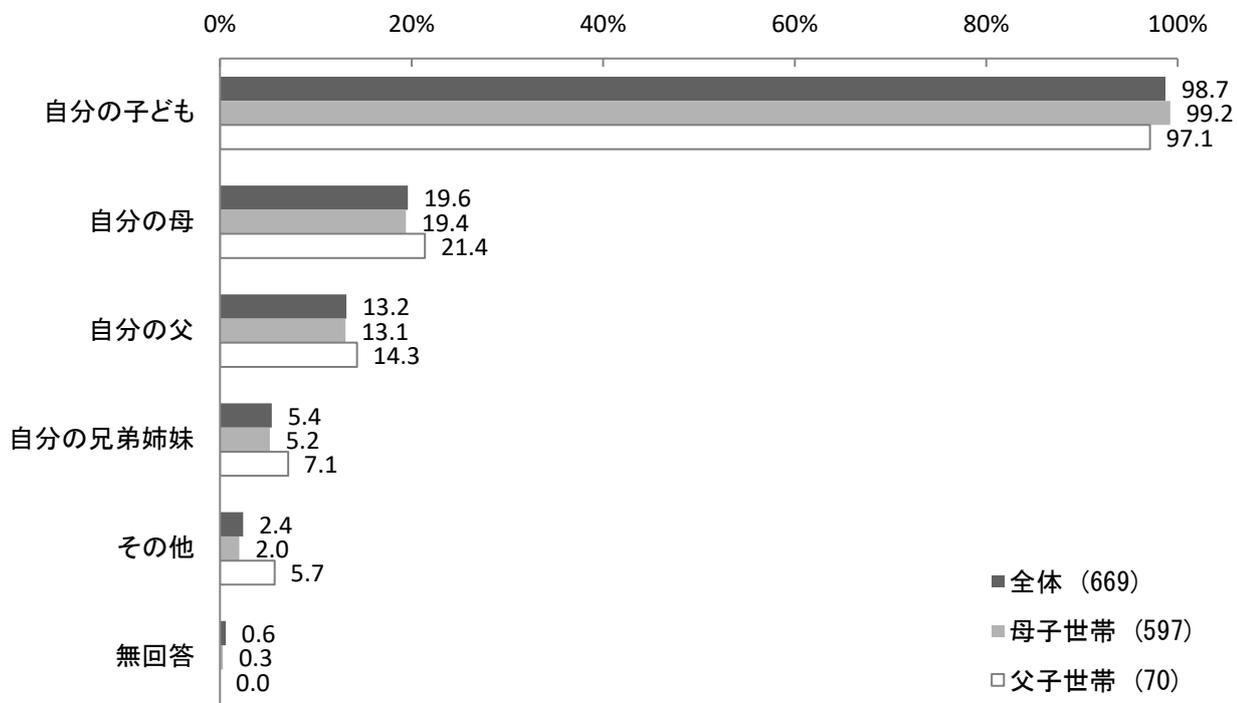
子ども以外の同居家族がいると回答した割合は、母子世帯・父子世帯ともに20%台となっている。

内訳としては、「自分の母」が母子世帯は19.4%、父子世帯は21.4%、「自分の父」が母子世帯は13.1%、父子世帯は14.3%となっている。

図表11. 世帯構成（単数回答）



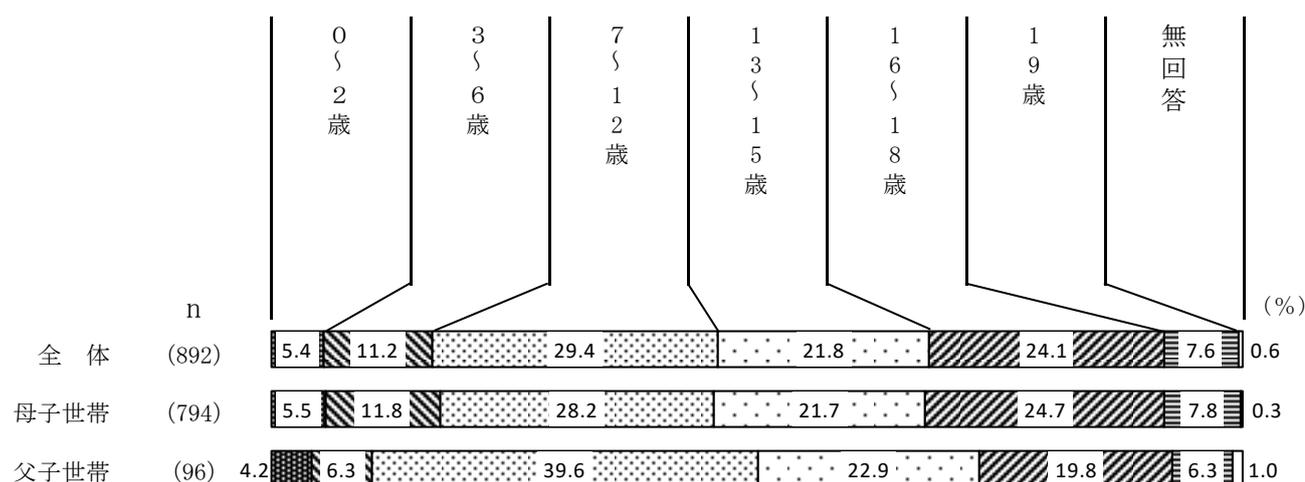
図表12. 同居している家族（単数回答）



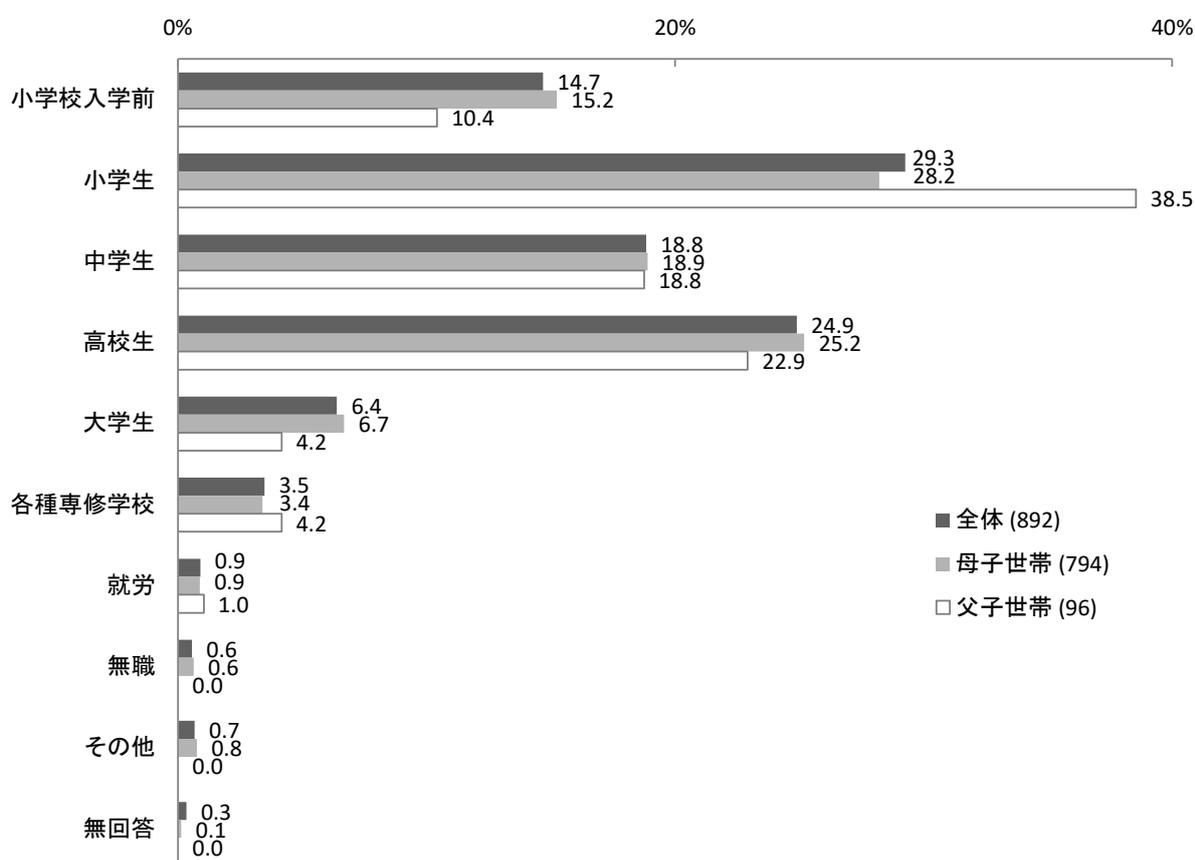
同居している子どもについて回答があった 892 人の子どもの年齢を世帯別にみると、母子世帯は「7～12歳」が28.2%と最も高く、次いで「16～18歳」が24.7%となっている。父子世帯では、「7～12歳」が39.6%と最も高く、次いで「13～15歳」が22.9%となっている。

子どもの就学・就業状況別でみると、母子世帯・父子世帯ともに「小学生」が最も高く、母子世帯は28.2%、父子世帯は38.5%となっている。また、母子世帯は「小学校入学前」が父子世帯に比べ高く、父子世帯は「小学生」が母子世帯に比べ高くなっている。

図表13. 子どもの年齢



図表14. 子どもの就学・就業状況



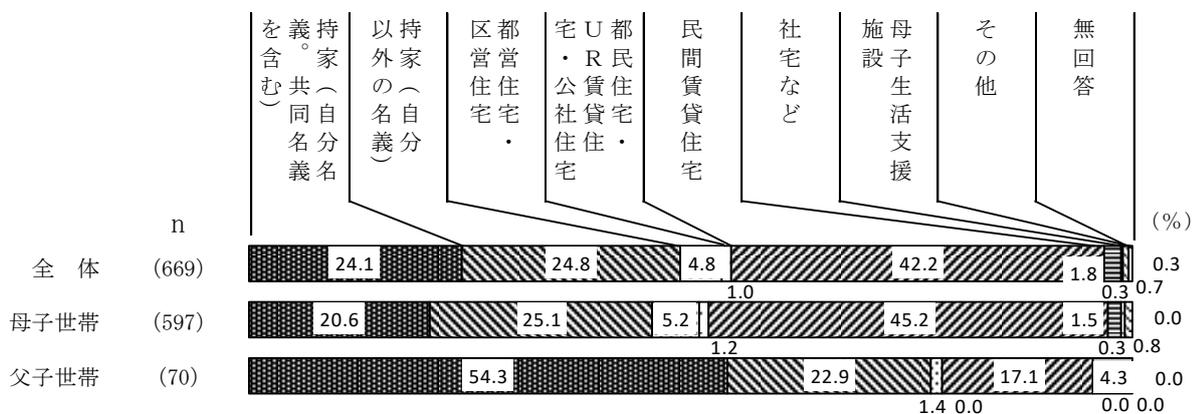
(8) 住宅の種類

「民間賃貸住宅」が42.2%と最も高く、次いで「持家（自分以外の名義）」(24.8%)、「持家（自分名義。共同名義を含む）」(24.1%)となっている。

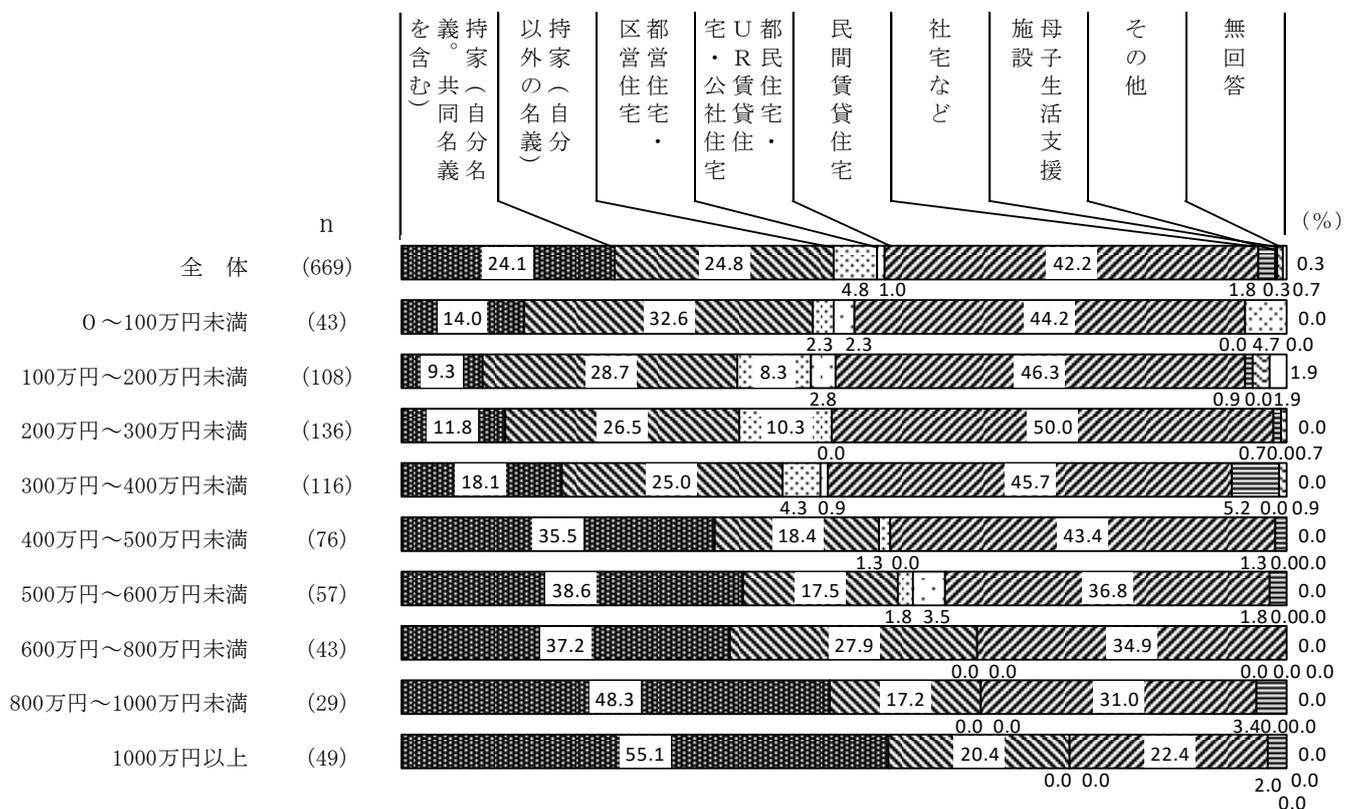
世帯別にみると、母子世帯は「民間賃貸住宅」(45.2%)が最も高く、次いで「持家(自分以外の名義)」(25.1%)となっている。一方、父子世帯は「持家（自分名義。共同名義を含む。）」が54.3%と半数以上であり、「持家（自分以外の名義）」も含めると持家率は77.2%となっている。

世帯の手取り年収別にみると、手取り年収が高いほど「持家（自分名義。共同名義を含む）」が高い。一方、400万円未満の層に着目すると、「民間賃貸住宅」が最も高く、次いで「持家(自分以外の名義)」が25.0~32.6%となっている。

図表15. 住宅の種類（単数回答）



図表16. 世帯の手取り年収別による住宅の種類（クロス集計）

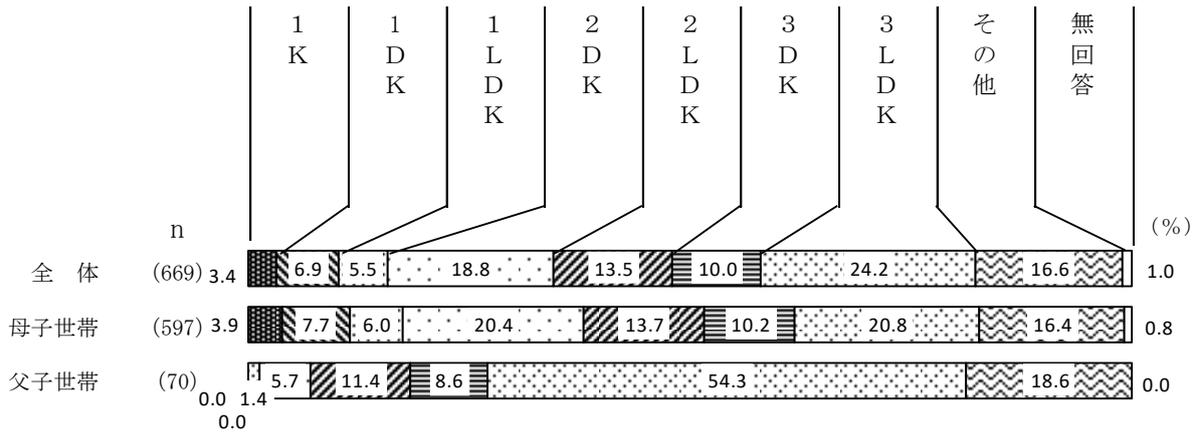


(9) 住宅の間取り

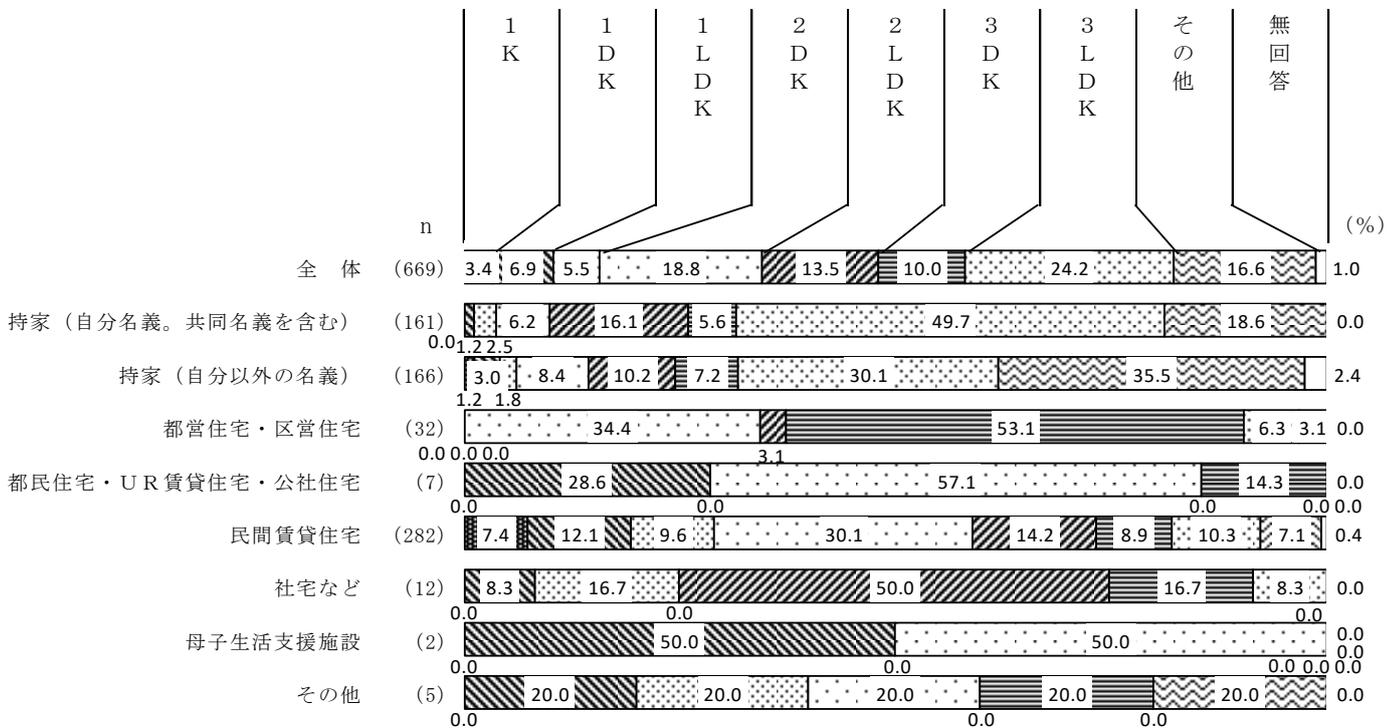
「3LDK」が24.2%と最も高く、次いで「2DK」が18.8%となっている。父子世帯では「3LDK」が54.3%と半数を占めている。また、「2DK」以下の割合は、母子世帯は38.0%、父子世帯は7.1%となっている。

住宅の種類別に見ると、持家（自分名義。共同名義含む）では「3LDK」が、民間賃貸住宅では「2DK」が最も高くなっている。

図表17. 住宅の間取り（単数回答）

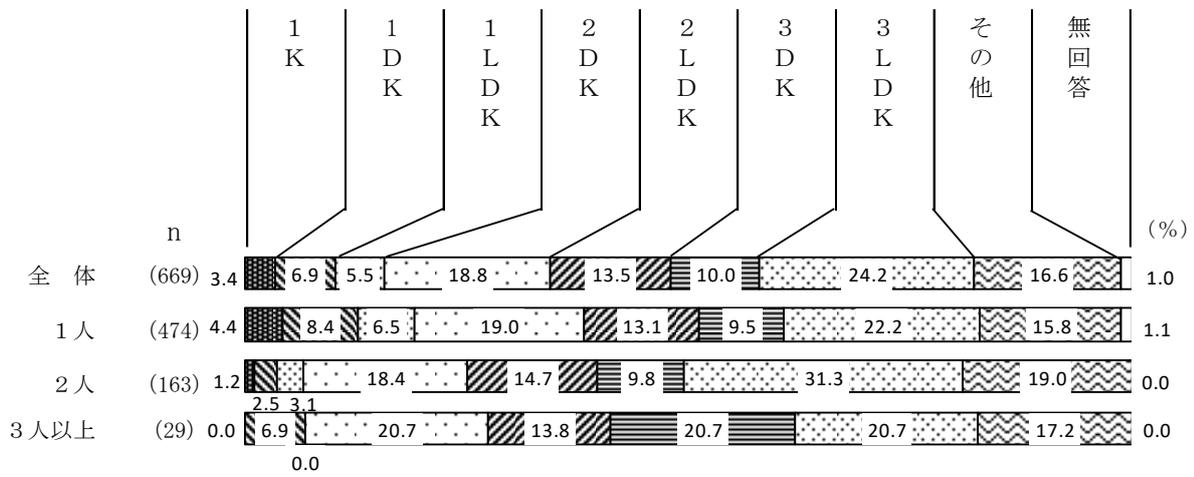


図表18. 住宅の種類別による住宅の間取り（クロス集計）



子どもの人数別にみると、1人と2人では「3LDK」が最も高く、2人では約3割を占めている。

図表19. 子どもの人数別による住宅の間取り（クロス集計）



(10) 住宅費

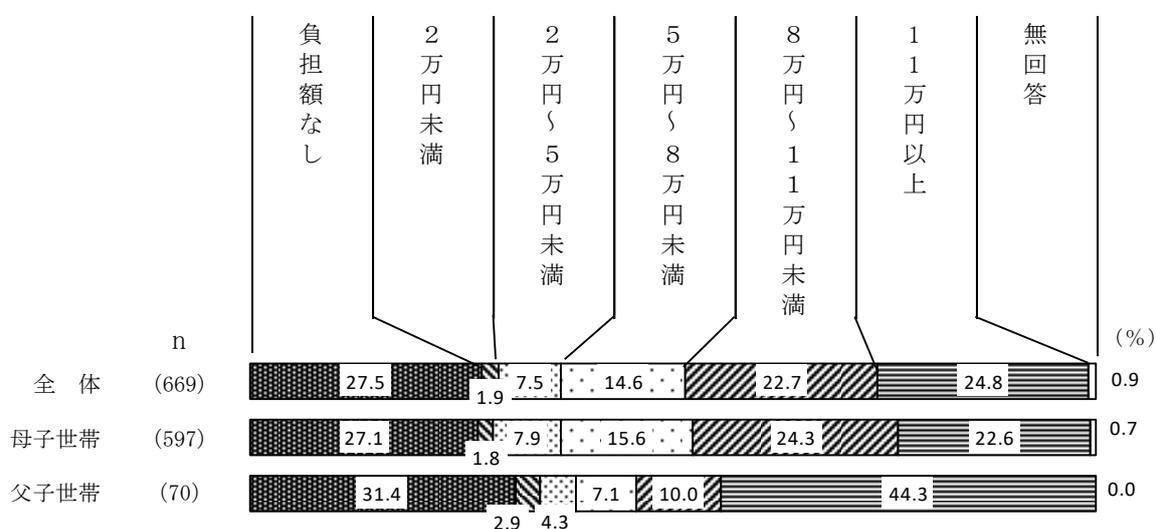
過去1年間における毎月の住宅費（家賃、住宅ローンなど）について、半数近くの47.5%が『8万円以上』を負担しており、父子世帯では54.3%となっている。

住宅の種類別にみると、持家（自分名義。共同名義を含む）では「11万円以上」が、持家（自分以外の名義）では「負担額なし」が、民間賃貸住宅では「8万円～11万円未満」が最も高くなっている。

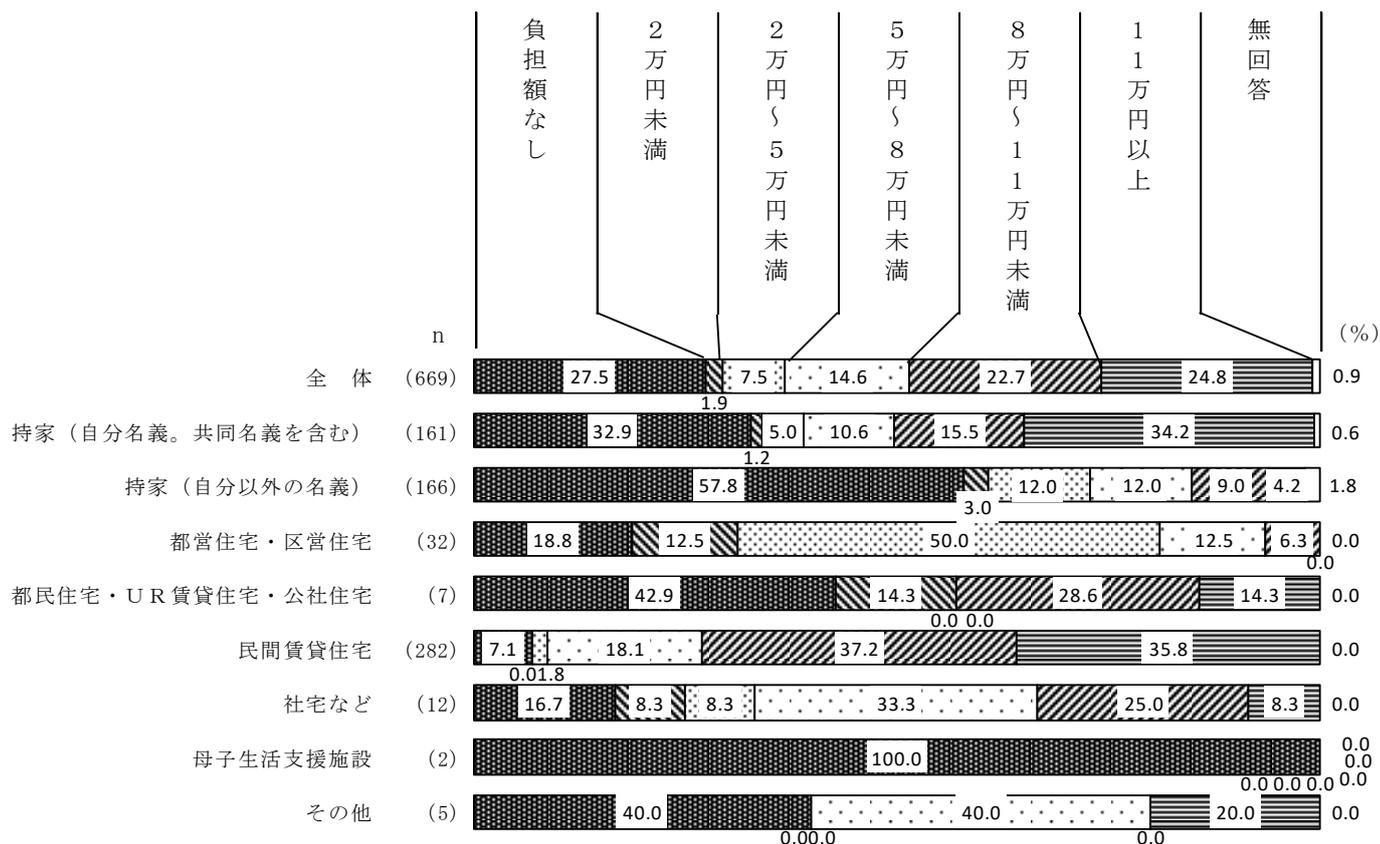
また、『8万円以上』を負担している割合が高いのは、民間賃貸住宅（73.0%）、次いで持家（自分名義。共同名義を含む）（49.7%）となっている。

世帯の手取り年収別にみると、手取り年収が200万円未満の層では「負担額なし」が、200万円～400万円未満の層では「8万円～11万円未満」が、400万円以上の層では「11万円以上」が最も高くなっている。「11万円以上」は手取り年収が上がるにつれ高く、手取り年収が800万円以上の層では半数を占めている。

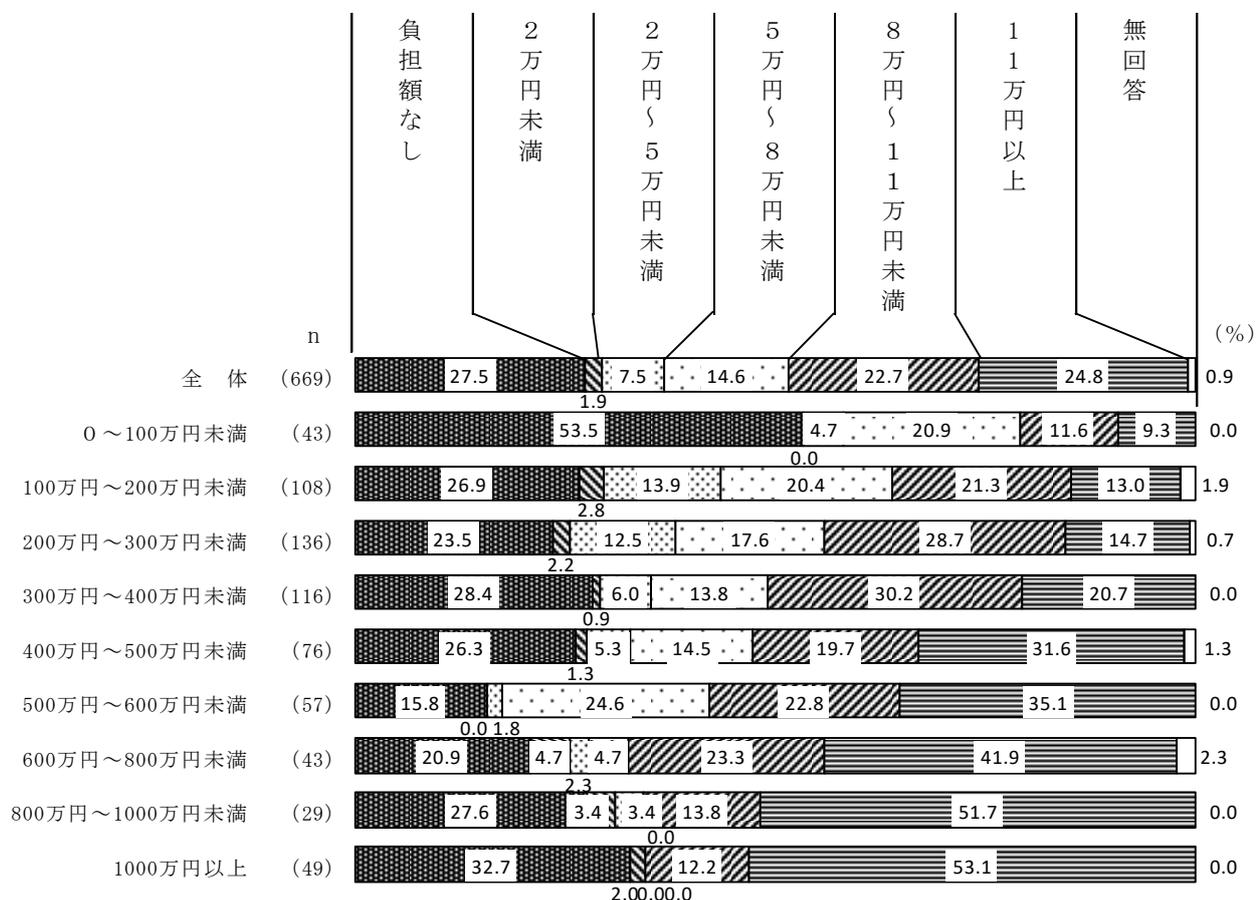
図表20. 毎月の住宅費（家賃・住宅ローンなど）（単数回答）



図表21. 住宅の種類別による毎月の住宅費（クロス集計）



図表22. 世帯の手取り年収別による毎月の住宅費（クロス集計）



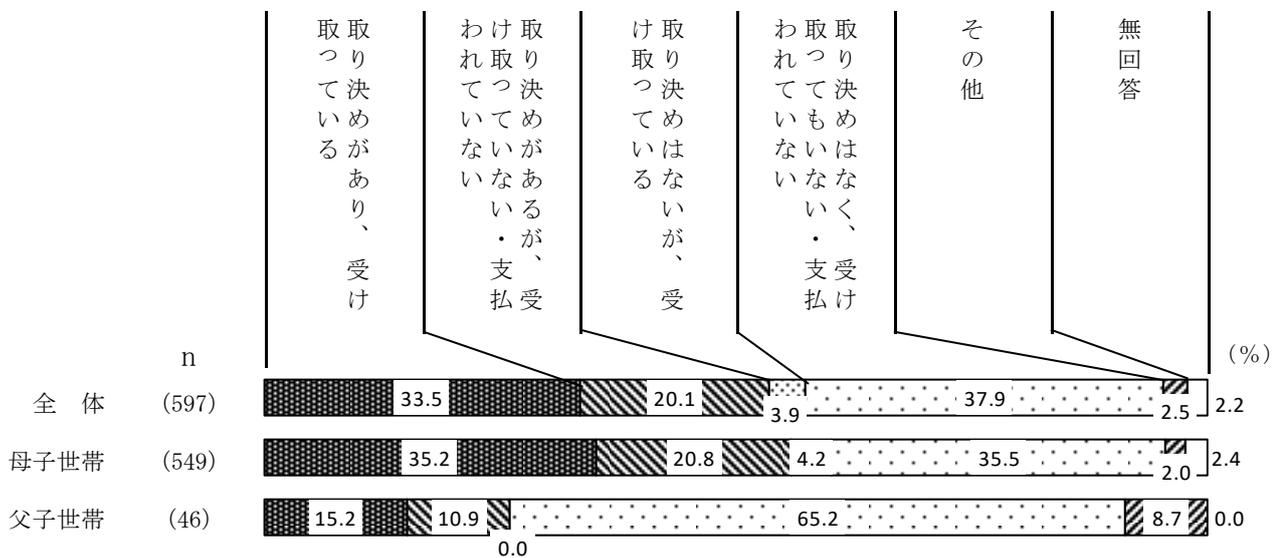
2. 養育費について

(1) 養育費の受け取りの状況

「取り決めはなく、受け取ってもいない・支払われていない」が 37.9%と最も高く、次いで「取り決めがあり、受け取っている」が 33.5%となっている。世帯別にみると、父子世帯で「取り決めはなく、受け取ってもいない・支払われていない」が 65.2%を占めている。

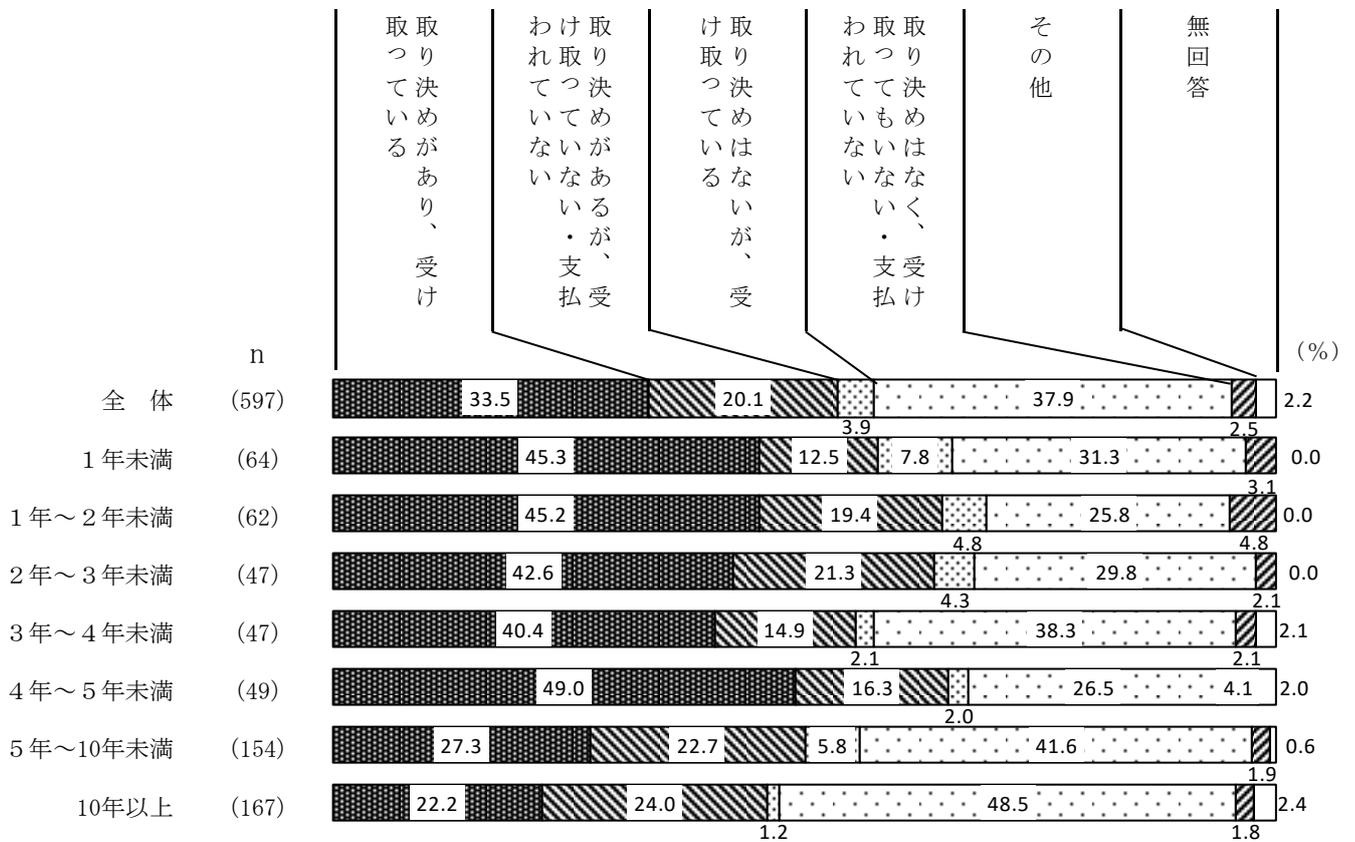
『受け取っている』割合は、全体で 37.4%、『受け取っていない・支払われていない』割合は 58.0%となっている。世帯別にみると、母子世帯で『受け取っている』割合は 39.4%、『受け取っていない・支払われていない』割合は 56.3%となっている。父子世帯では『受け取っている』割合は 15.2%、『受け取っていない・支払われていない』割合は 76.1%となっている。

図表23. 養育費の受け取り状況（単数回答）



ひとり親期間別にみると、5年未満の層では「取り決めがあり、受け取っている」が、5年以上の層では「取り決めはなく、受け取ってもいない・支払われていない」が最も高くなっている。

図表24. ひとり親期間別による養育費の受け取り状況（クロス集計）

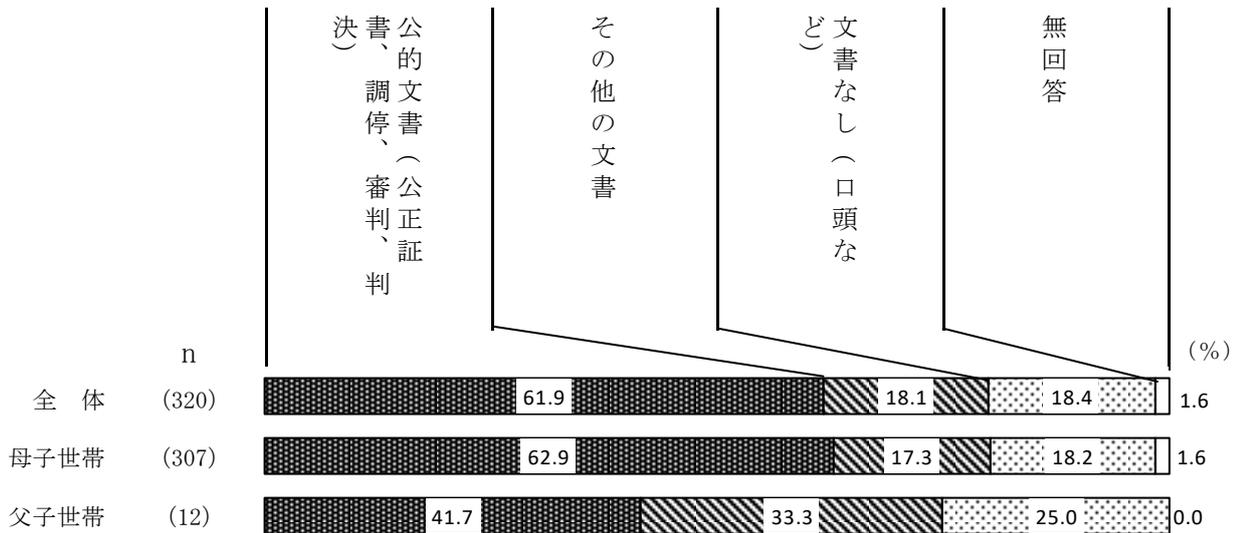


(2) 養育費の取り決めの方法

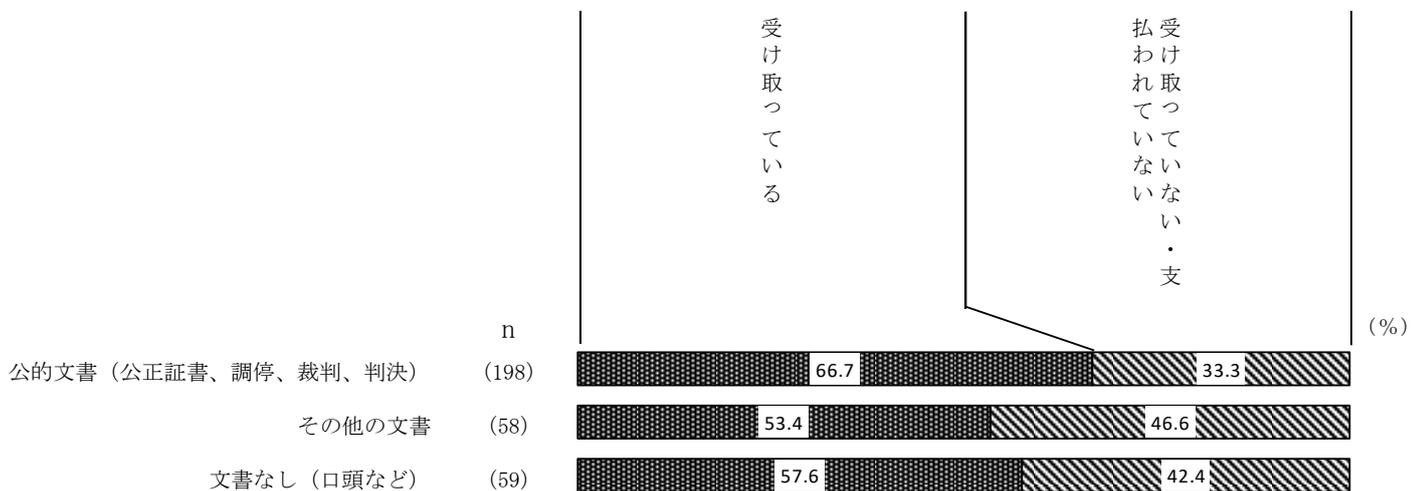
「公的文書（公正証書、調停、審判、判決）」が61.9%と最も高く、「文書なし（口頭など）」が18.4%となっている。

養育費の取り決め方法別にみると、「公的文書（公正証書、調停、審判、判決）」による取り決めの場合が、受け取っている割合が高い。しかし公的文書による取り決めがあっても約3割が養育費を受け取れていない。

図表25. 養育費の取り決め方法（単数回答）



図表26. 養育費の取り決め方法（取り決めがある方のみ）別による養育費の受取状況（クロス集計）

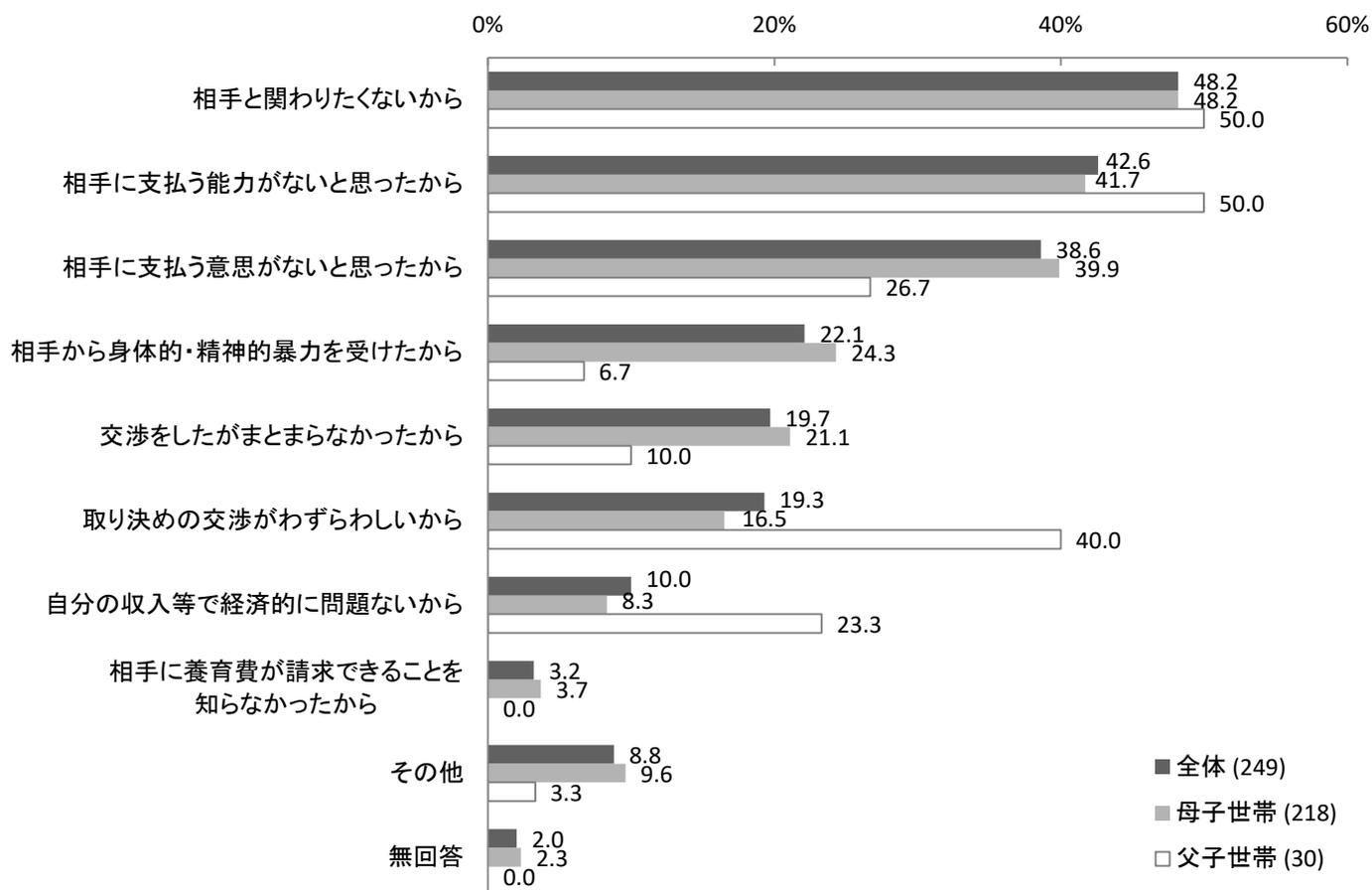


(3) 養育費の取り決めをしていない理由

世帯別にみると、母子世帯は「相手と関わりたくないから」(48.2%)、父子世帯は「相手と関わりたくないから」(50.0%)、「相手に支払う能力がないと思ったから」(50.0%)がそれぞれ最も高くなっている。

次いで、母子世帯は「相手に支払う能力がないと思ったから」(41.7%)、「相手に支払う意思がないと思ったから」(39.9%)の順で高く、父子世帯は「取り決めの交渉がわずらわしいから」(40.0%)、「相手に支払う意思がないと思ったから」(26.7%)の順で高くなっている。

図表27. 養育費の取り決めをしていない理由（複数回答）

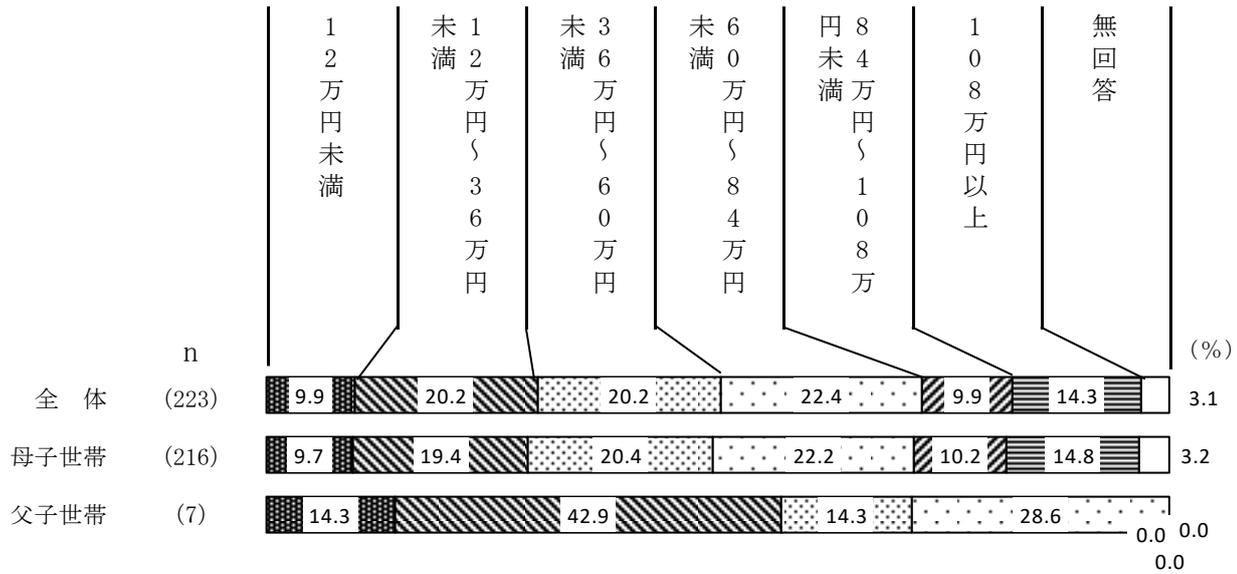


(4) 養育費の年額

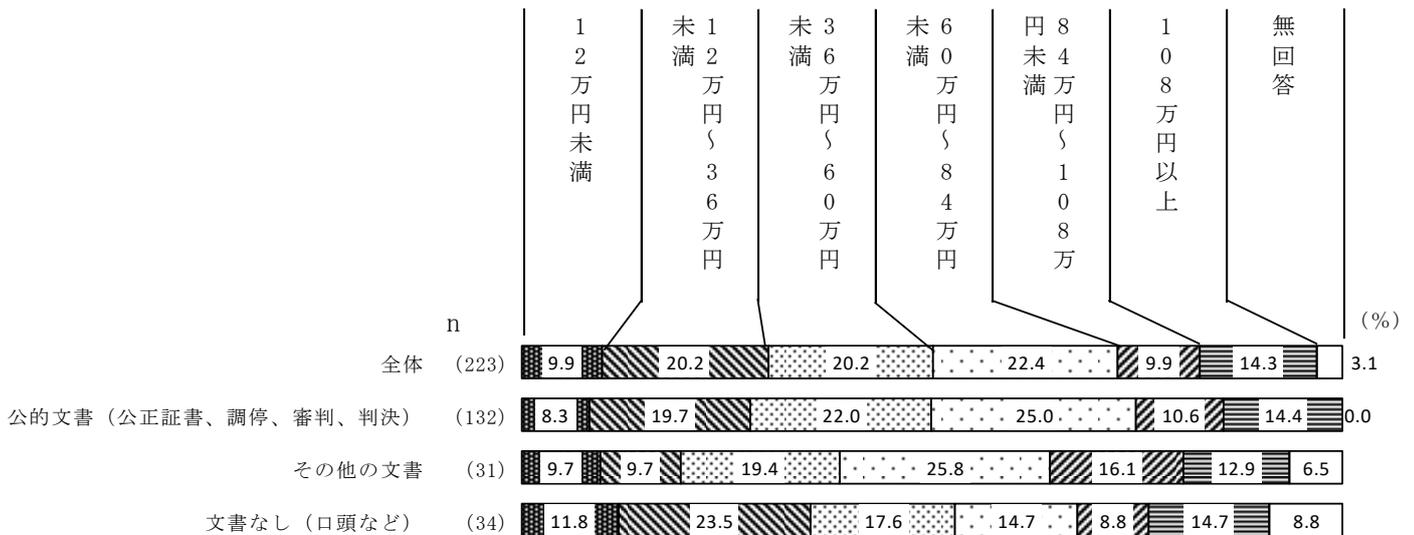
過去1年間に受け取った養育費の総額について「60万円～84万円未満」が22.4%と最も高く、「12万円～36万円未満」、「36万円～60万円未満」が20.2%と続いている。『60万円未満』が全体の約5割となっている。

養育費の取り決めの方法別にみると、公的文書（公正証書、調停、審判、判決）、または、その他の文書で取り決めている場合は、年間『60万円以上』（月額約5万円以上）受け取っている割合がそれぞれ50.0%、54.8%となっている。文書なし（口頭など）の場合は38.2%にとどまっている。

図表28. 養育費の年額（単数回答）



図表29. 養育費の取り決めの方法別による養育費の年額（クロス集計）



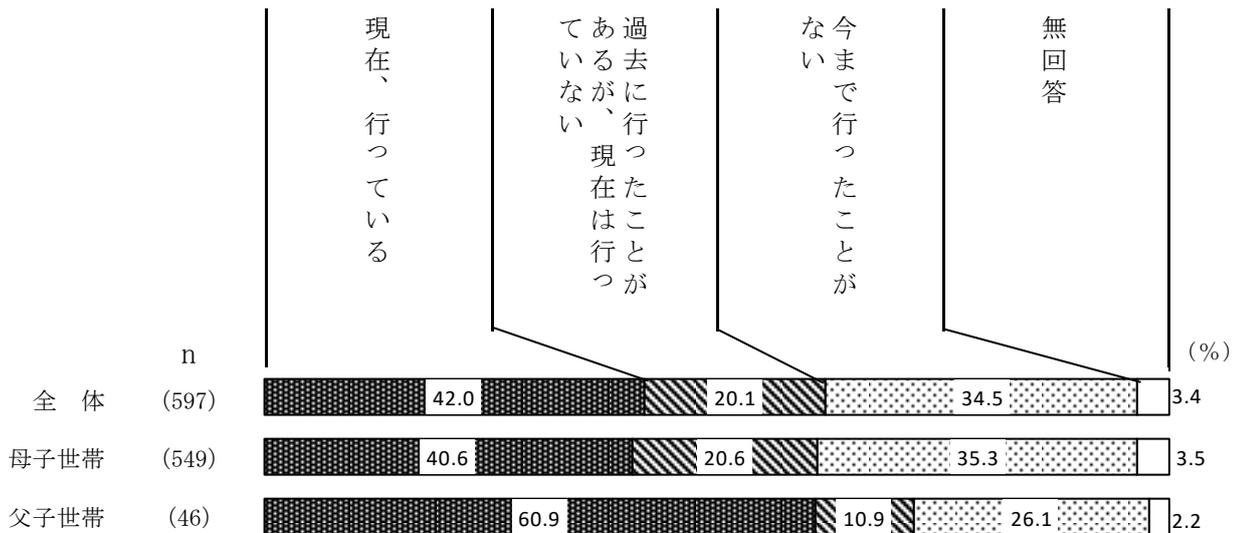
3. 面会交流について

(1) 面会交流の実施状況

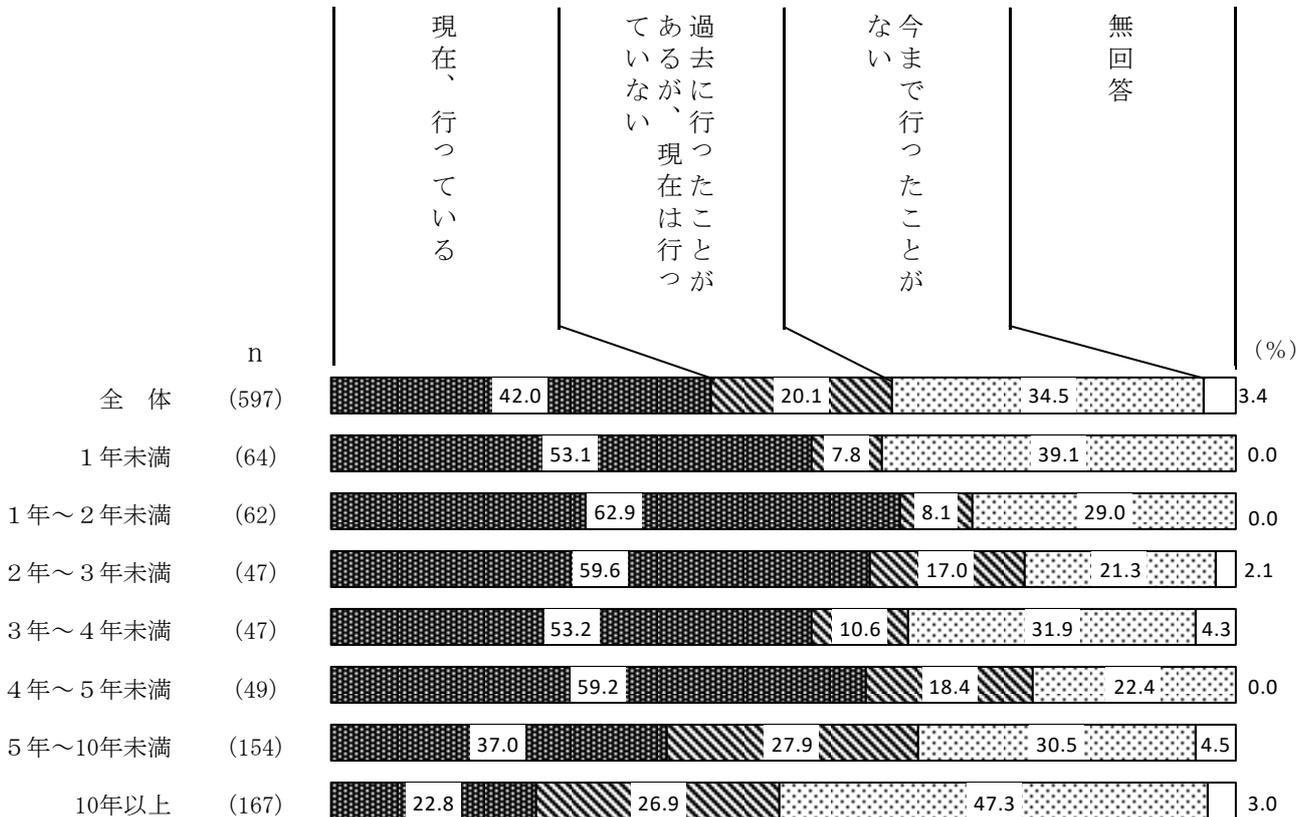
「現在、行っている」が42.0%と最も高く、「今まで行ったことがない」が34.5%、「過去に行ったことがあるが、現在は行っていない」が20.1%となっている。

ひとり親期間別にみると、「現在、行っている」は、5年未満の層では半数以上を占めているが、5年～10年未満では37.0%、10年以上では22.8%となっている。

図表30. 面会交流の実施状況（単数回答）



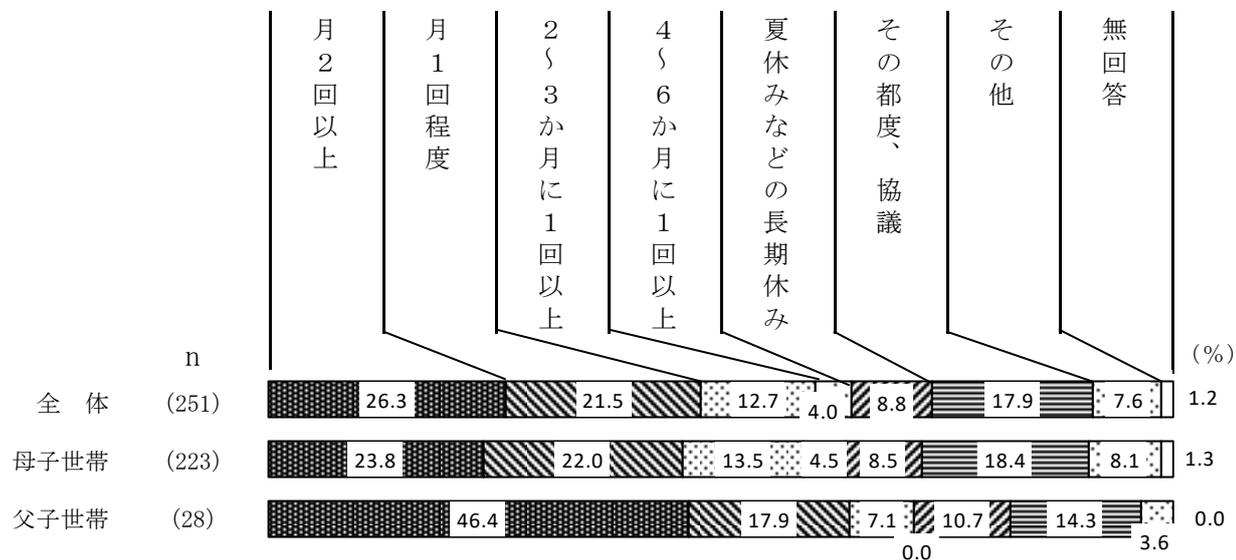
図表31. ひとり親期間別による面会交流の実施状況（クロス集計）



(2) 面会交流の頻度

「月2回以上」が26.3%と最も高く、次いで「月1回程度」が21.5%、「その都度、協議」が17.9%となっている。父子世帯では64.3%が『月1回以上』の面会交流を行っている。

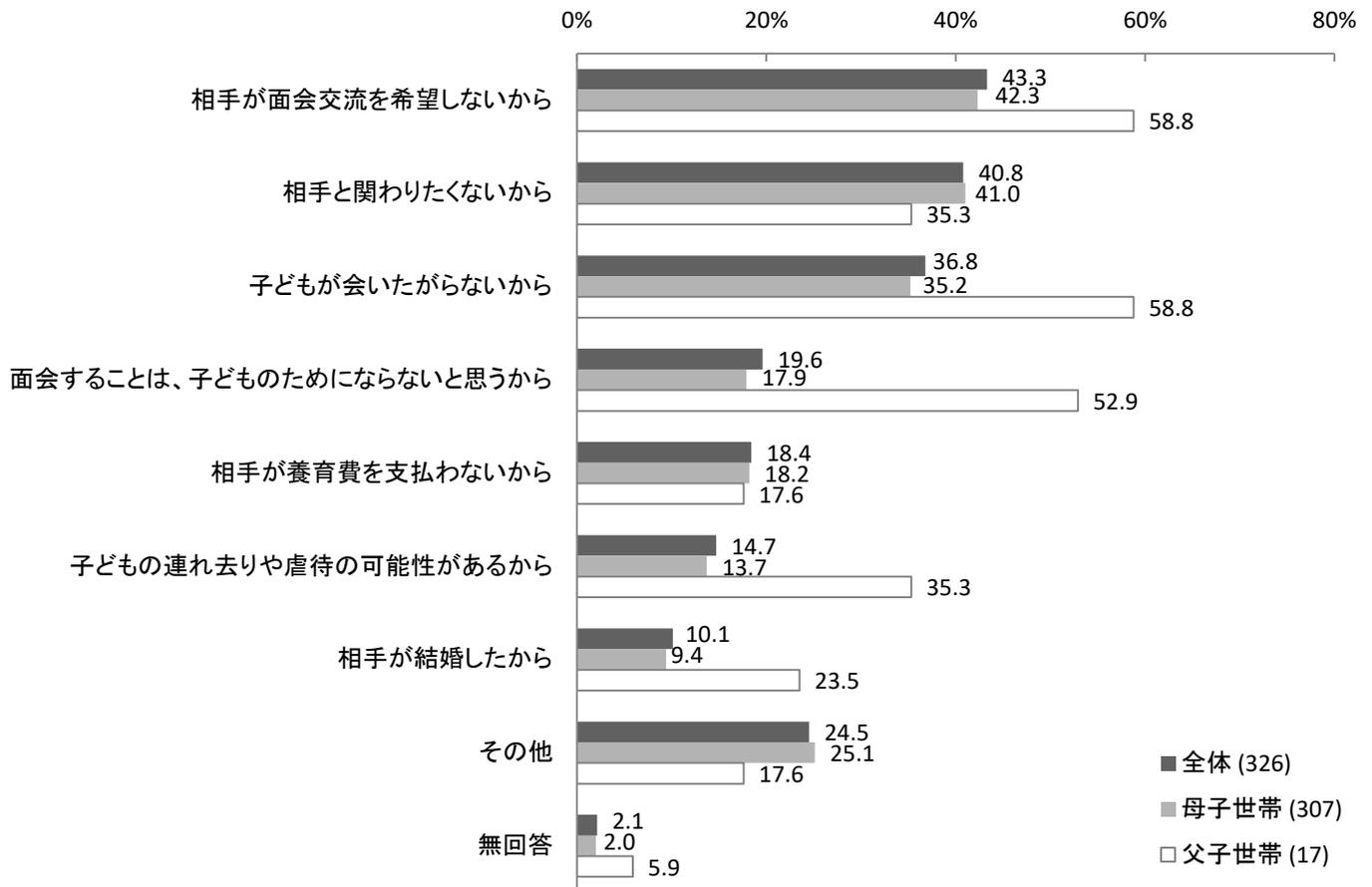
図表32. 面会交流の頻度（単数回答）



(3) 面会交流を行っていない理由

「相手が面会交流を希望しないから」が43.3%と最も高く、「相手と関わりたくないから」が40.8%、「子どもが会いたがらないから」が36.8%と続いている。

図表33. 面会交流を行っていない理由（複数回答）

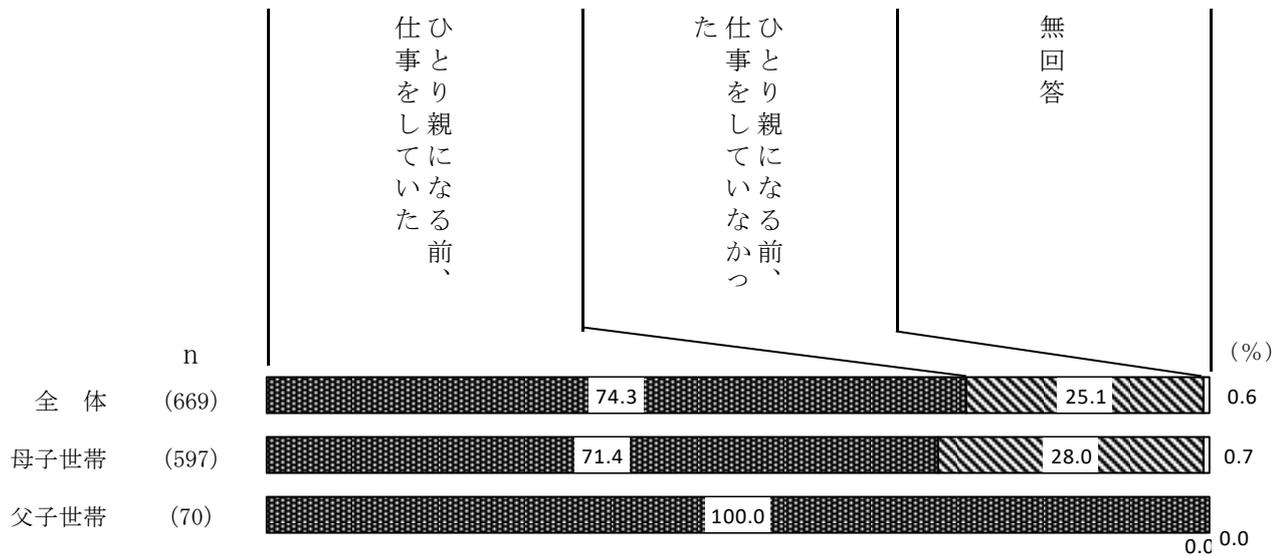


4. 仕事について

(1) ひとり親になる前の仕事の有無

「ひとり親になる前、仕事をしていた」が74.3%、「ひとり親になる前、仕事をしていなかった」が25.1%となっている。父子世帯では、全員が「ひとり親になる前、仕事をしていた」と回答した。

図表34. ひとり親になる前の仕事の有無（単数回答）

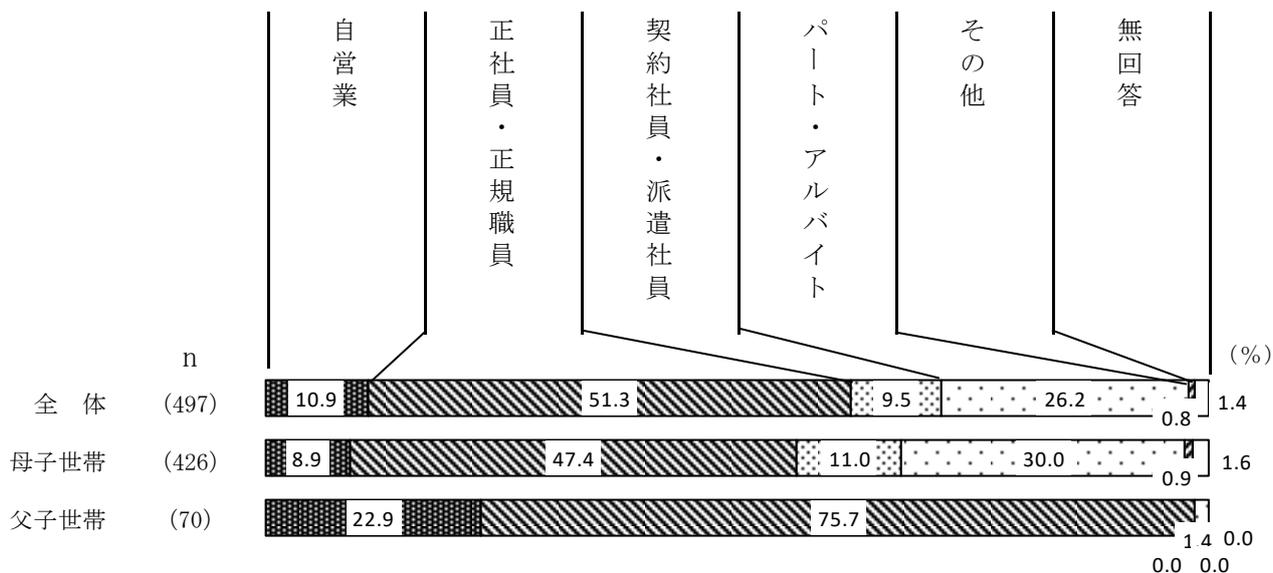


(2) ひとり親になる前の雇用形態

「ひとり親になる前、仕事をしていた」方の雇用形態は、「正社員・正規職員」が51.3%と最も高い。

世帯別にみると、母子世帯は「正社員・正規職員」が47.4%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が30.0%となっている。父子世帯は「正社員・正規職員」が75.7%で最も高く、次いで「自営業」が22.9%、「パート・アルバイト」が1.4%となっている。

図表35. ひとり親になる前の雇用形態（単数回答）

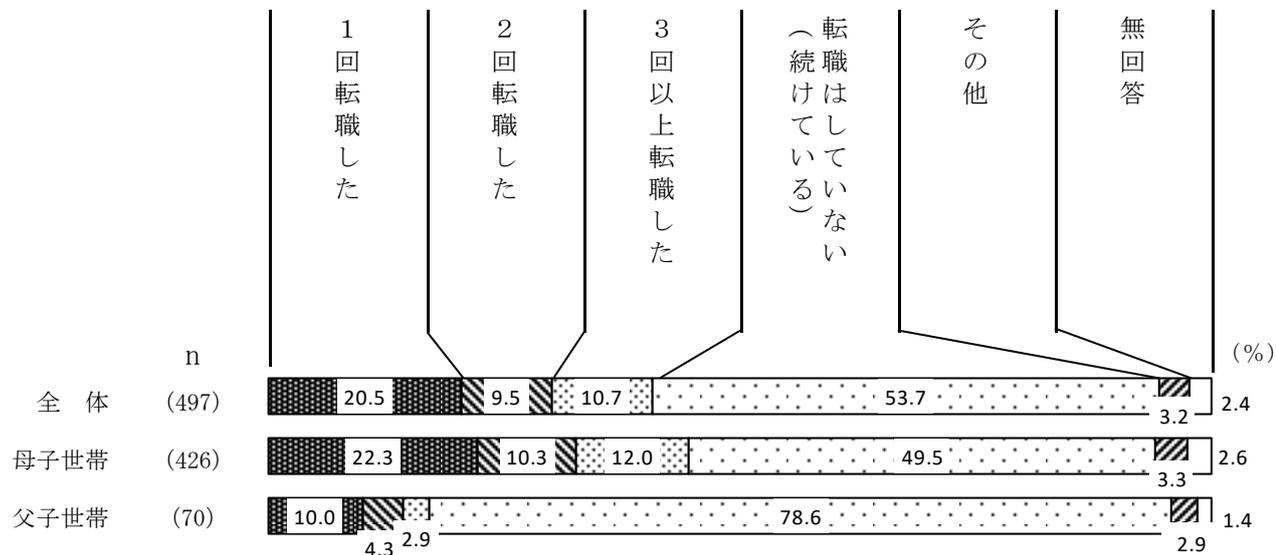


(3) ひとり親になったことによる転職の有無

「転職はしていない（続けている）」が53.7%と最も高く、「1回転職した」が20.5%となっている。

世帯別にみると、母子世帯は、44.6%がひとり親になったことにより少なくとも1回以上転職をしているのに対し、父子世帯では、転職者は17.2%で、78.6%が転職をせずに当初の仕事続けている。

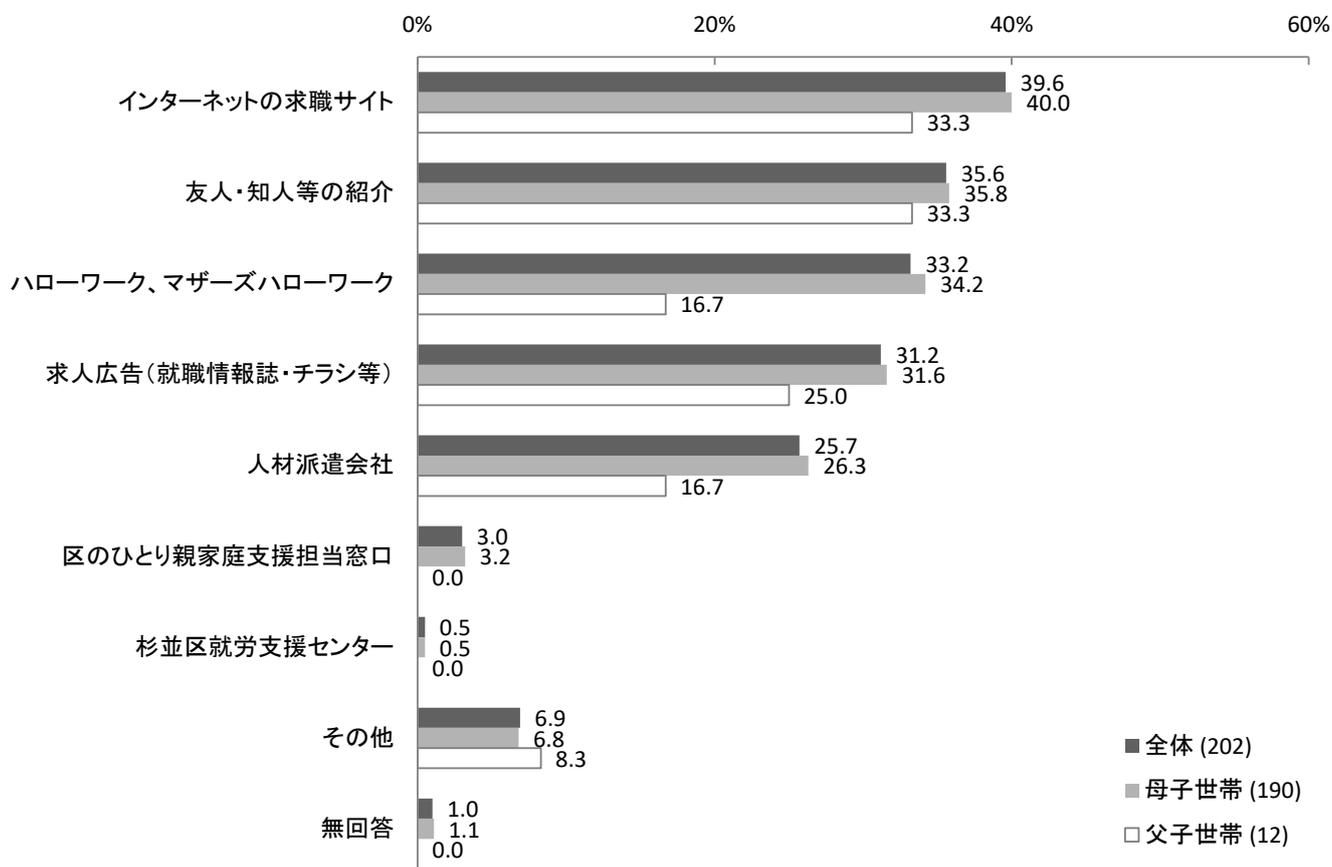
図表36. ひとり親になったことによる転職の有無（単数回答）



(4) 転職で利用した窓口

「インターネットの求職サイト」が39.6%と最も高く、次いで「友人・知人等の紹介」(35.6%)、「ハローワーク、マザーズハローワーク」(33.2%)の順になっている。

図表37. 転職時に利用した相談窓口（複数回答）

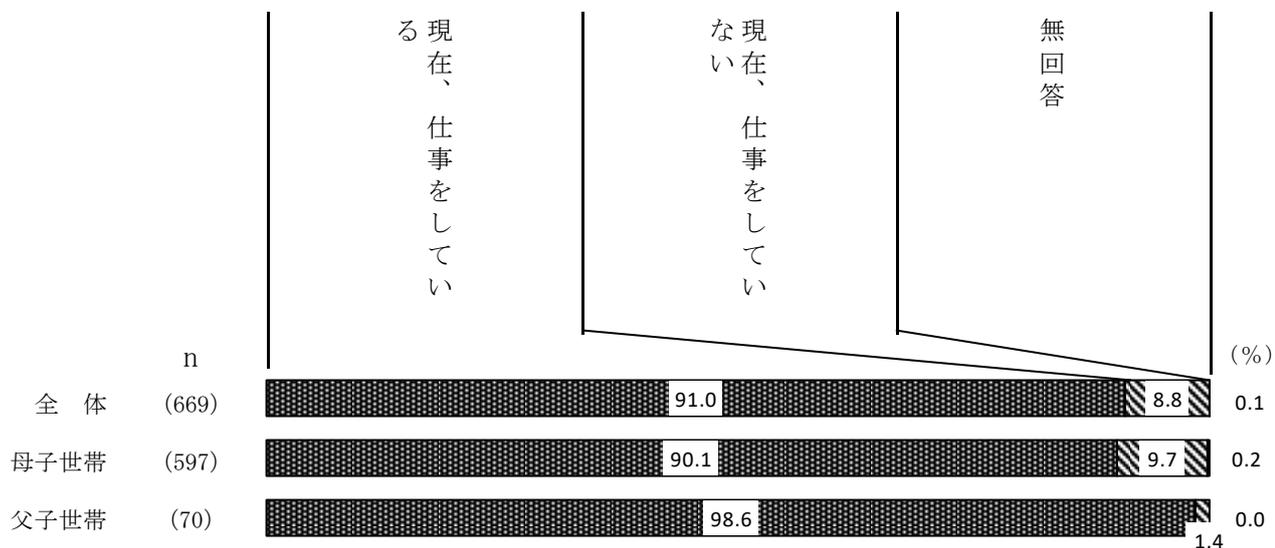


(5) 現在の仕事の有無

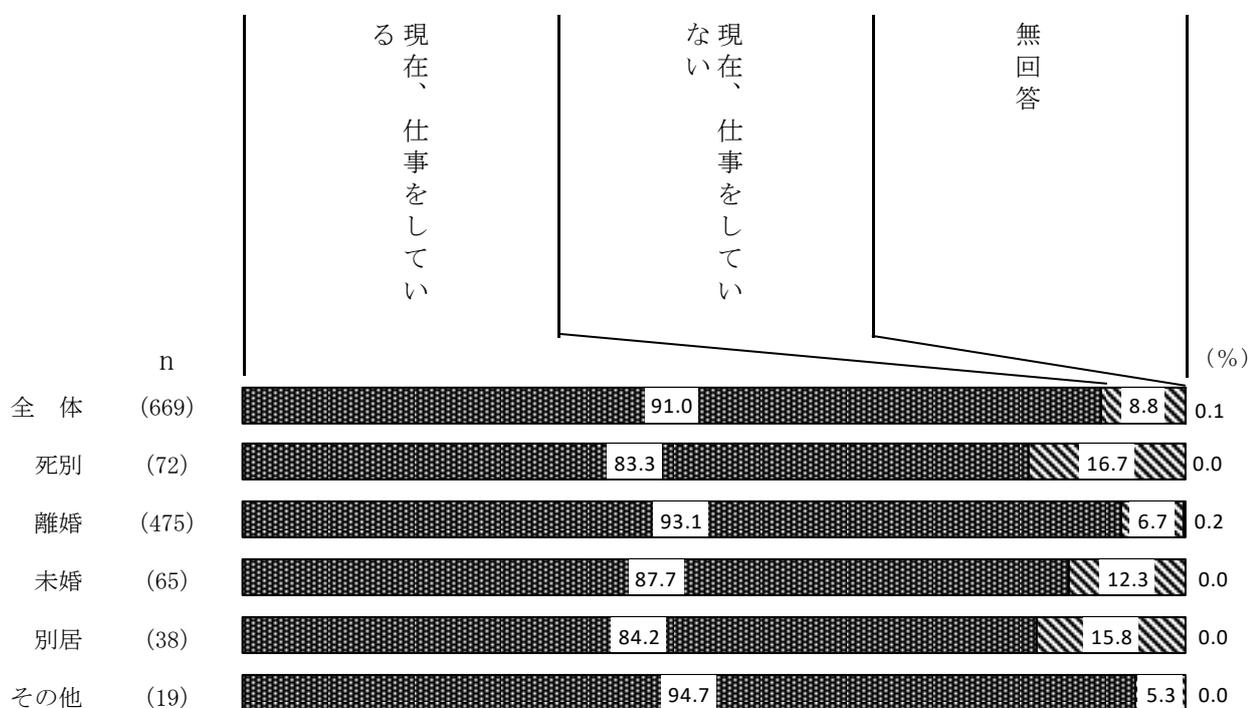
「現在、仕事をしている」が91.0%、「現在、仕事をしていない」が8.8%となっている。

ひとり親になった理由別にみると、ひとり親になった理由に関わらず、8割以上は「現在、仕事をしている」ことがわかる。

図表38. 現在の仕事の有無（単数回答）



図表39. ひとり親になった理由別による現在の仕事の有無（クロス集計）

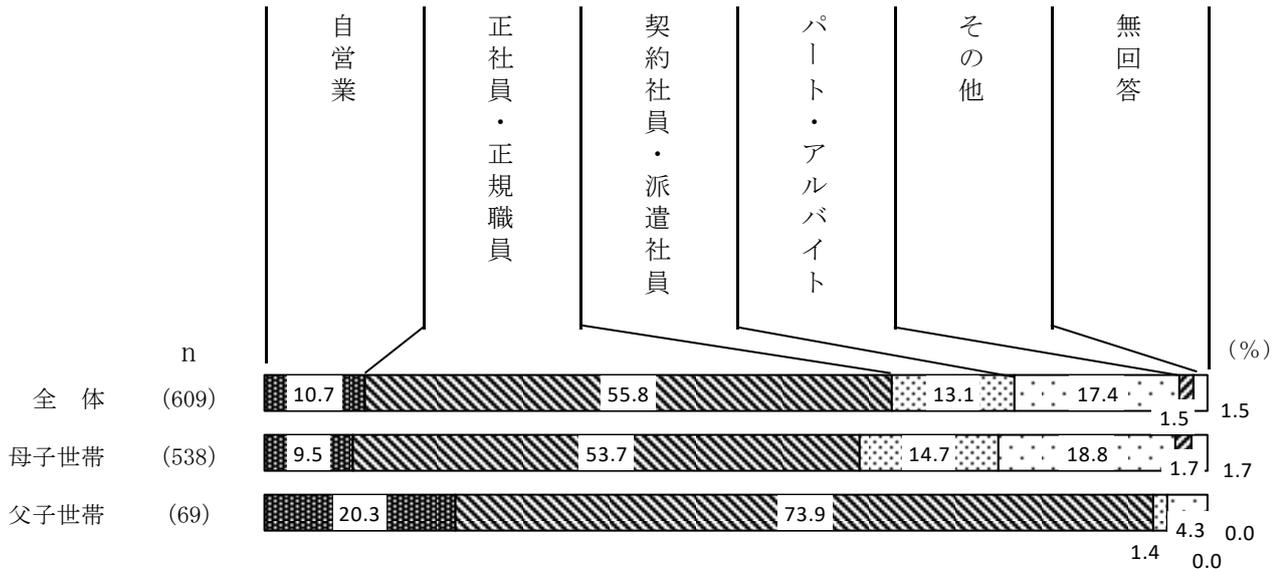


(6) 現在の雇用形態

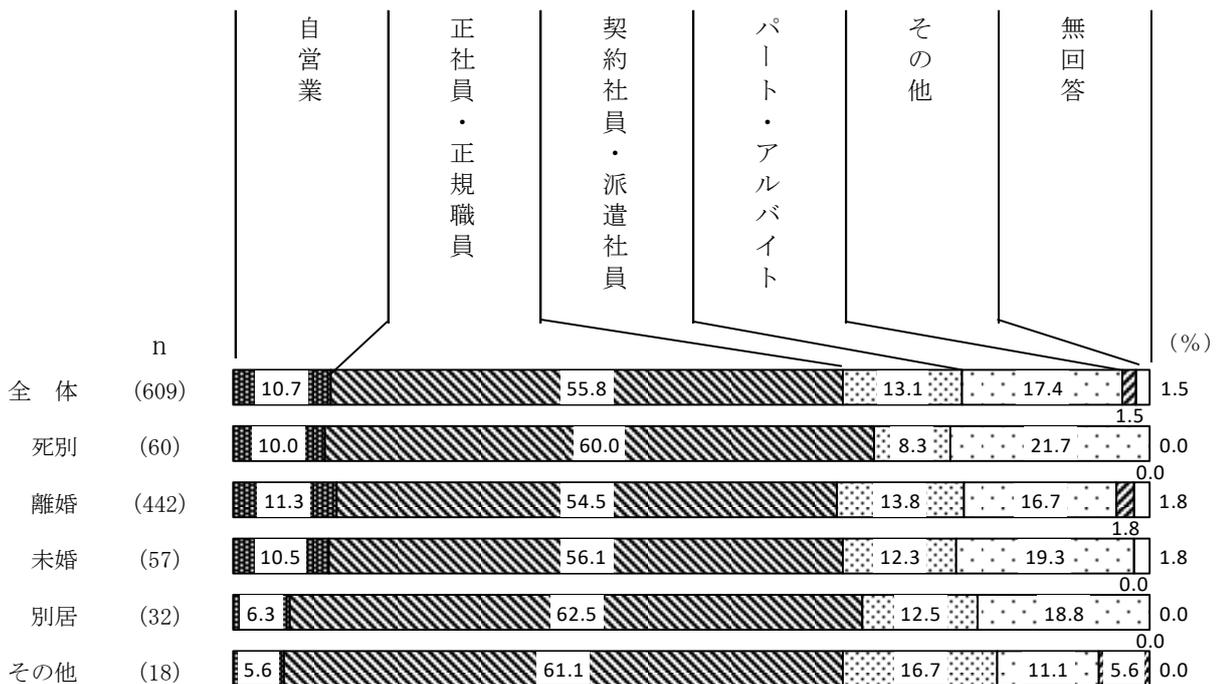
母子世帯は「正社員・正規職員」が 53.7%と最も高く、「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」の『非正規社員』は 33.5%となっている。父子世帯は「正社員・正規職員」が 73.9%、「自営業」が 20.3%で、『非正規社員』は 5.7%である。

ひとり親になった理由別にみると、ひとり親になった理由に関わらず、半数以上が「正社員・正規職員」として就労していることがわかる。

図表40. 現在の雇用形態（単数回答）



図表41. ひとり親になった理由別による現在の雇用形態（クロス集計）

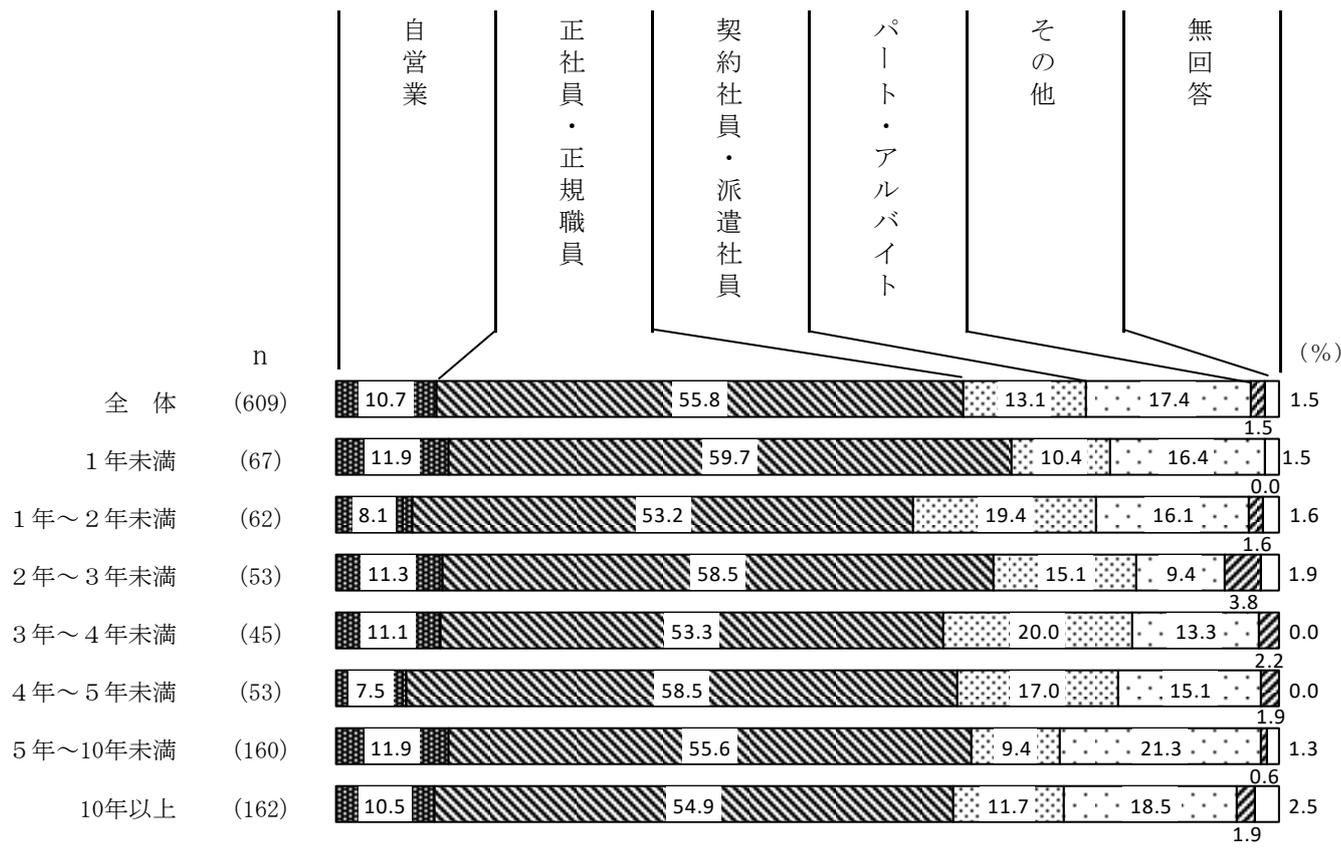


ひとり親になってからの期間と現在の雇用形態との関係についてみると、ひとり親になってからの期間に関わらず、半数以上が「正社員・正規職員」として就労している。

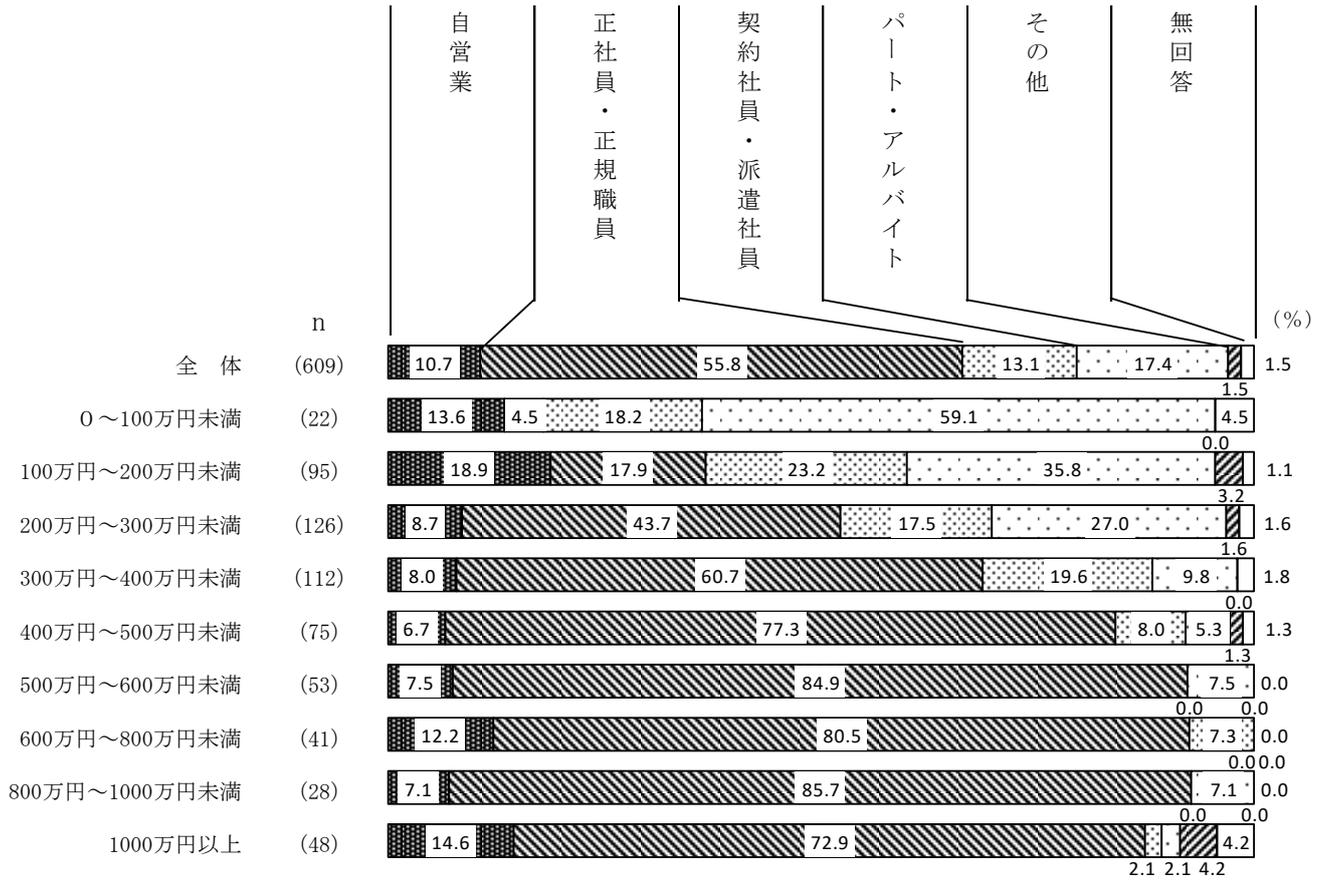
世帯の手取り年収別では、200万円未満の層では「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」が高く、300万円以上の層では「正社員・正規職員」が高くなっている。

親の最終学歴別でみると、「正社員・正規職員」が四年制大学以上では約7割を占めているが、高等学校、各種専門学校、短期大学では42.6～53.4%にとどまっている。

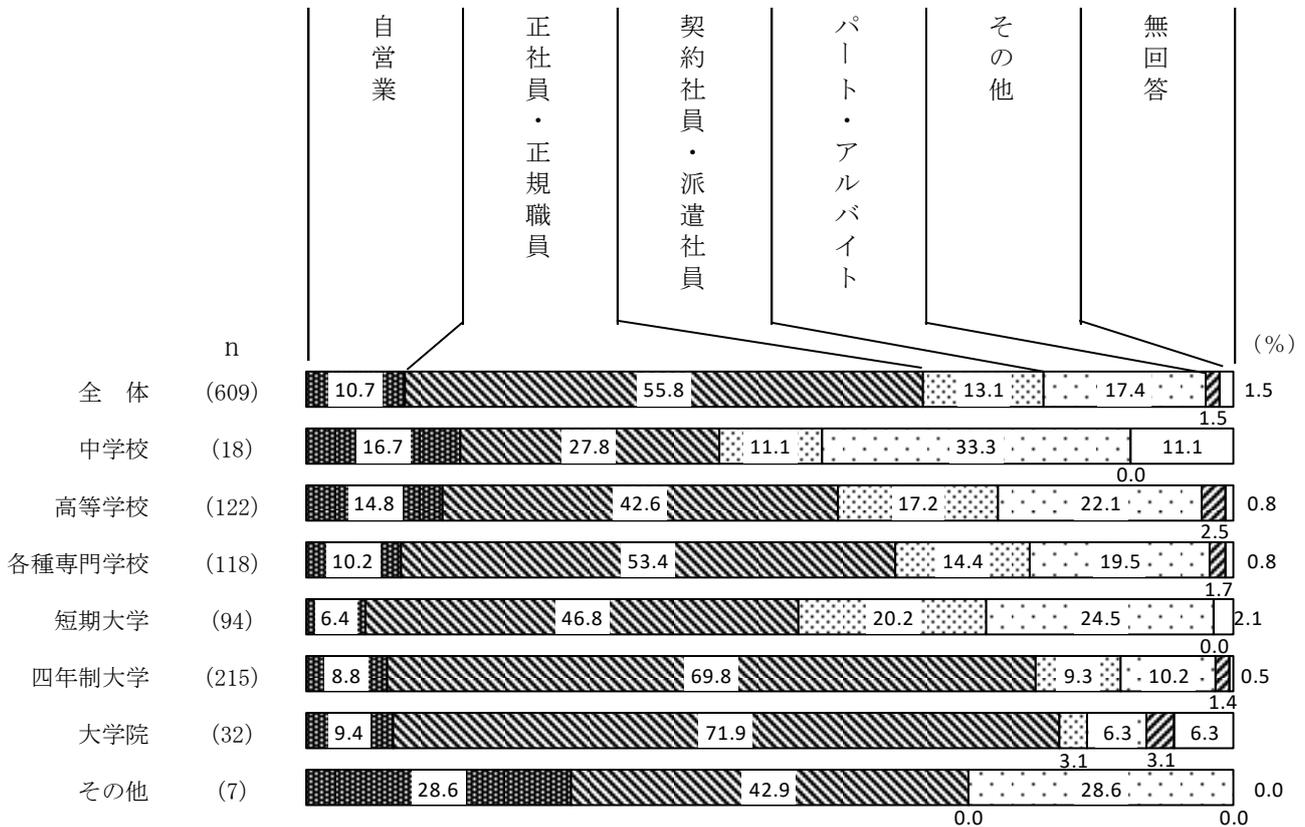
図表42. ひとり親期間別による現在の雇用形態（クロス集計）



図表43. 世帯の手取り年収別による現在の雇用形態（クロス集計）



図表44. 親の最終学歴別による現在の雇用形態（クロス集計）

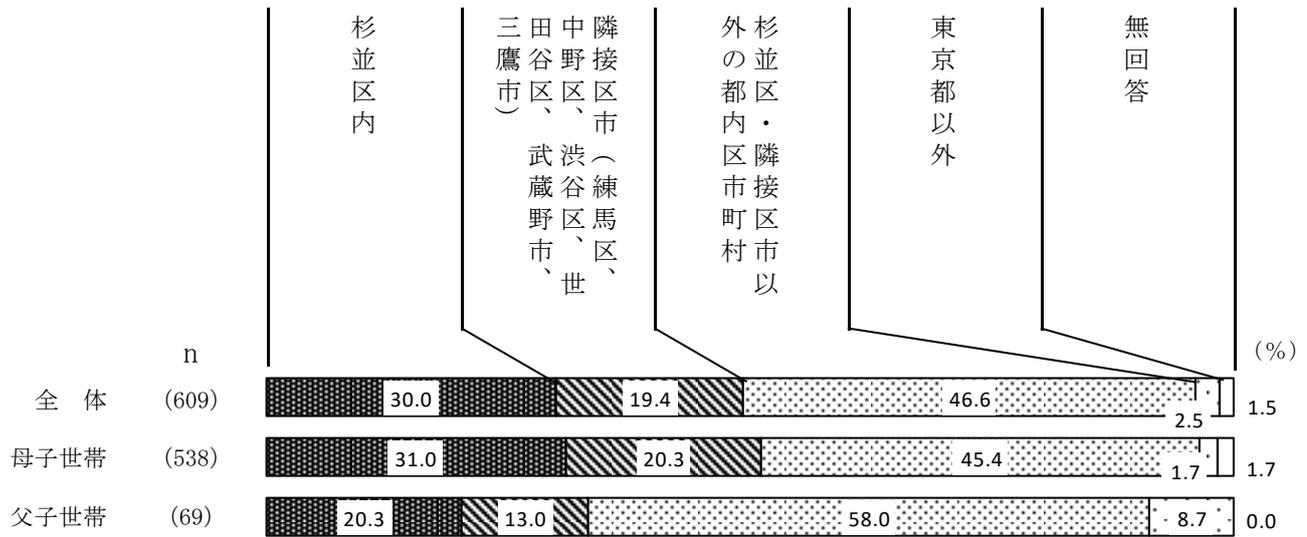


(7) 勤務地

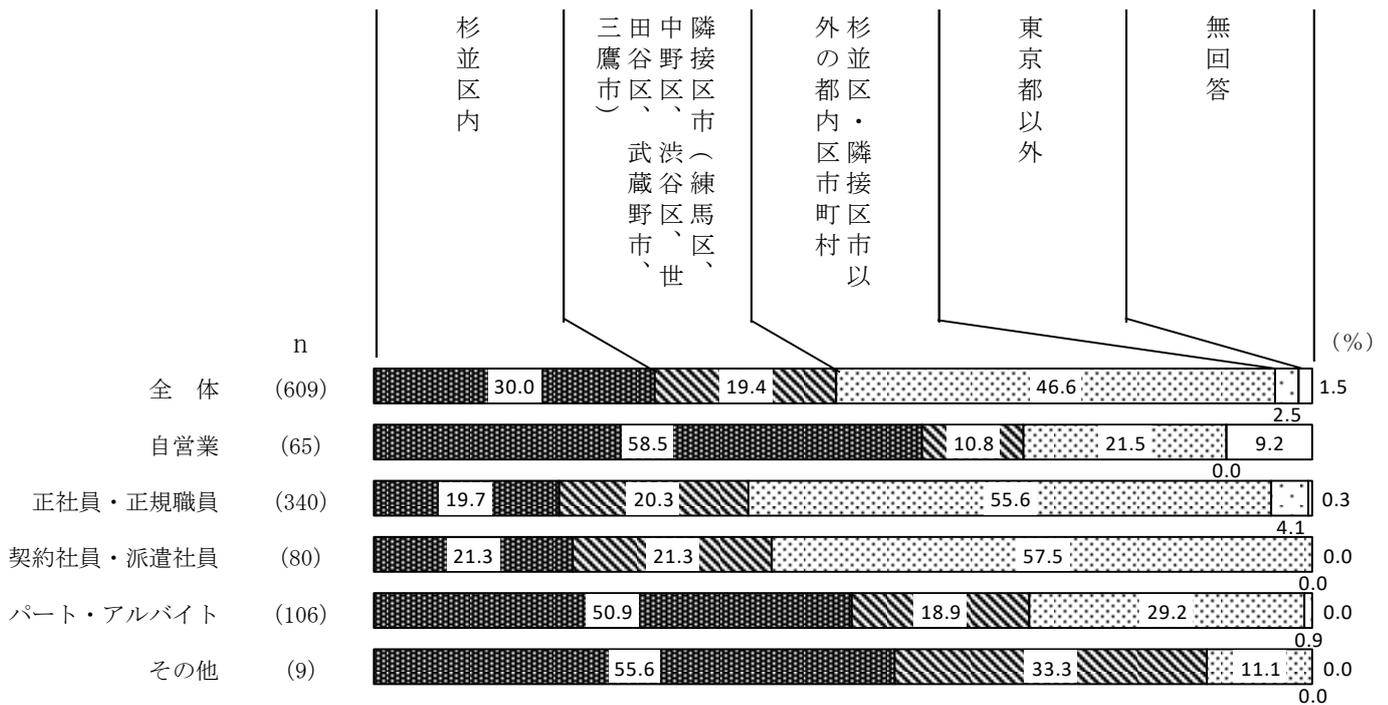
現在の勤務地について、「杉並区・隣接区市以外の都内区市町村」が46.6%、次いで「杉並区内」が30.0%、「隣接区市（練馬区、中野区、渋谷区、世田谷区、武蔵野市、三鷹市）」が19.4%となっている。

雇用形態別でみると、自営業、パート・アルバイトでは「杉並区内」が、正社員・正規職員、契約社員・派遣社員では「杉並区・隣接区市以外の都内区市町村」が最も高く、半数を占めている。

図表45. 勤務地（単数回答）



図表46. 現在の雇用形態別による勤務地（クロス集計）

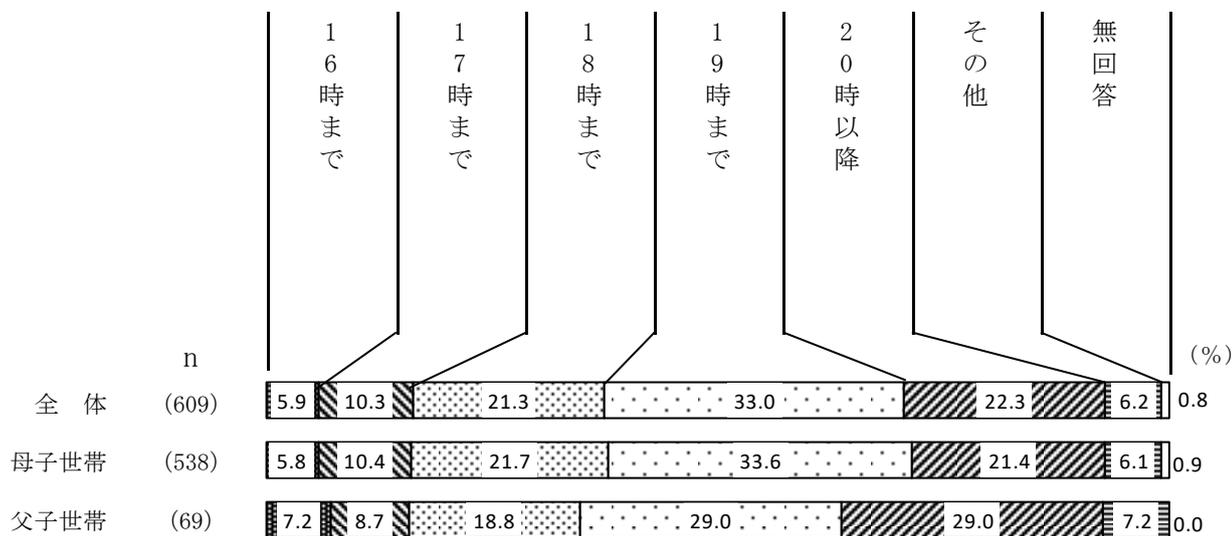


(8) 平均的な帰宅時間（自営業の場合は終業する時間）

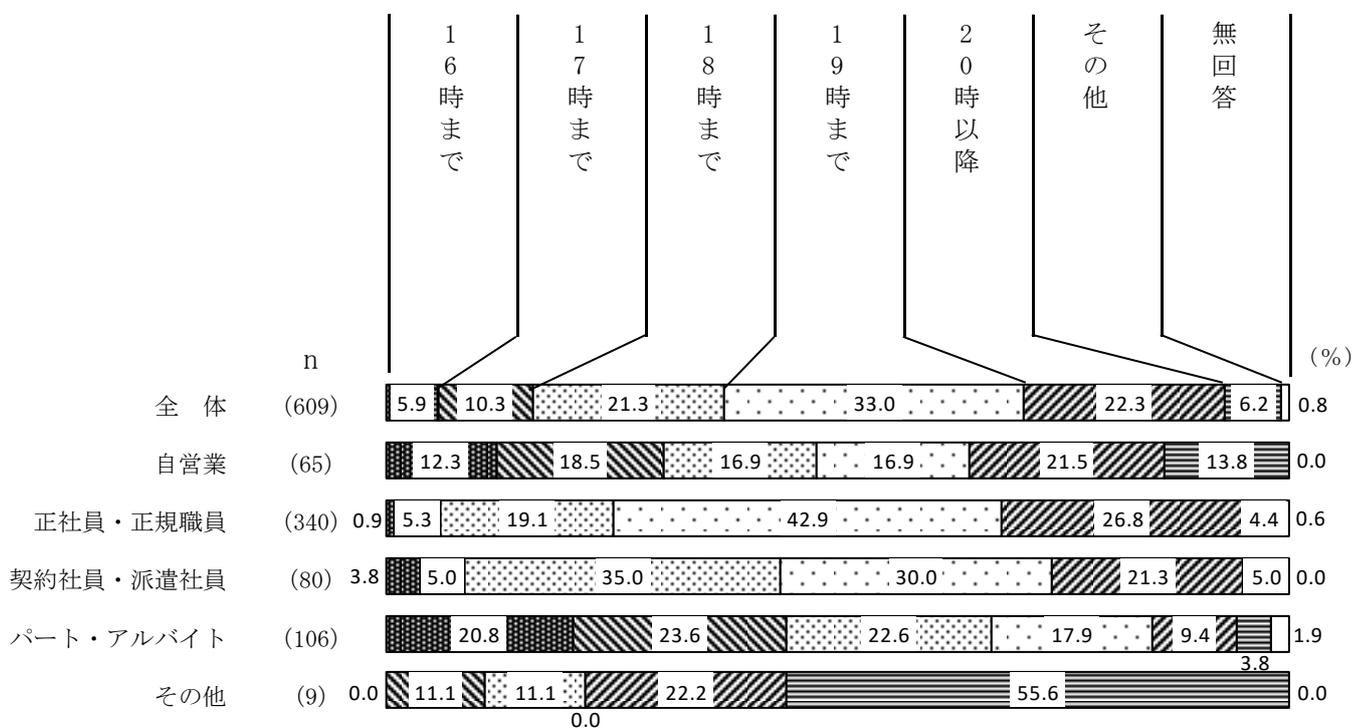
「19時まで」が33.0%と最も高く、「20時以降」が22.3%、「18時まで」が21.3%となっている。

現在の雇用形態別にみると、正社員・正規職員では「19時まで」が、契約社員・派遣社員では「18時まで」が最も高くなっている。

図表47. 平均的な帰宅時間（単数回答）



図表48. 現在の雇用形態別による平均的な帰宅時間（クロス集計）



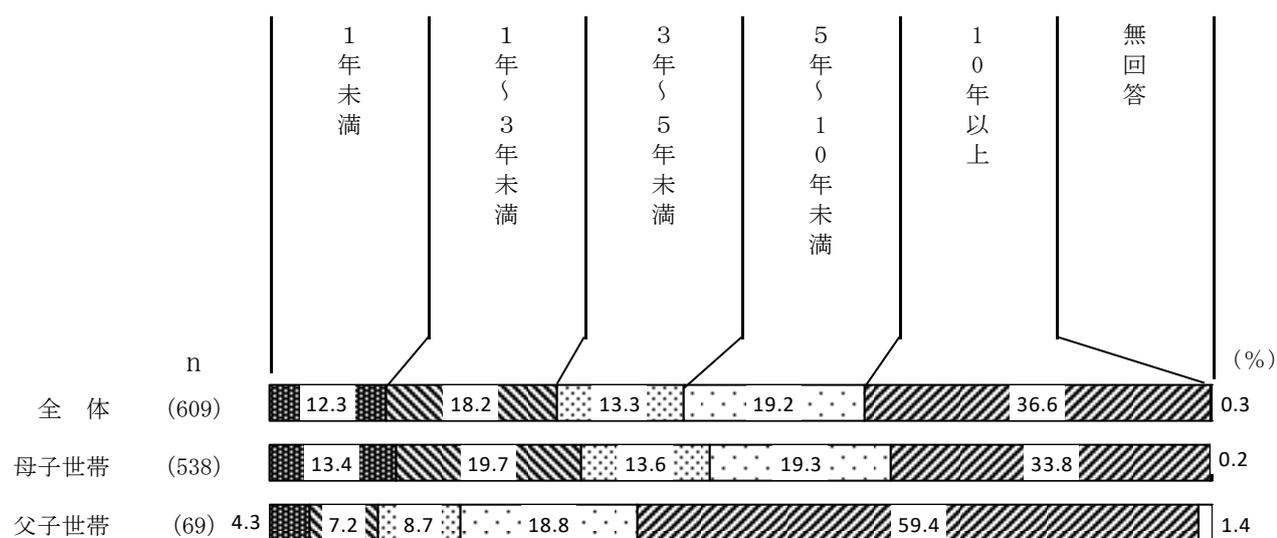
(9) 現在の仕事の勤続年数

「10年以上」が36.6%と最も高く、「5年～10年未満」が19.2%、「1年～3年未満」が18.2%と続いている。

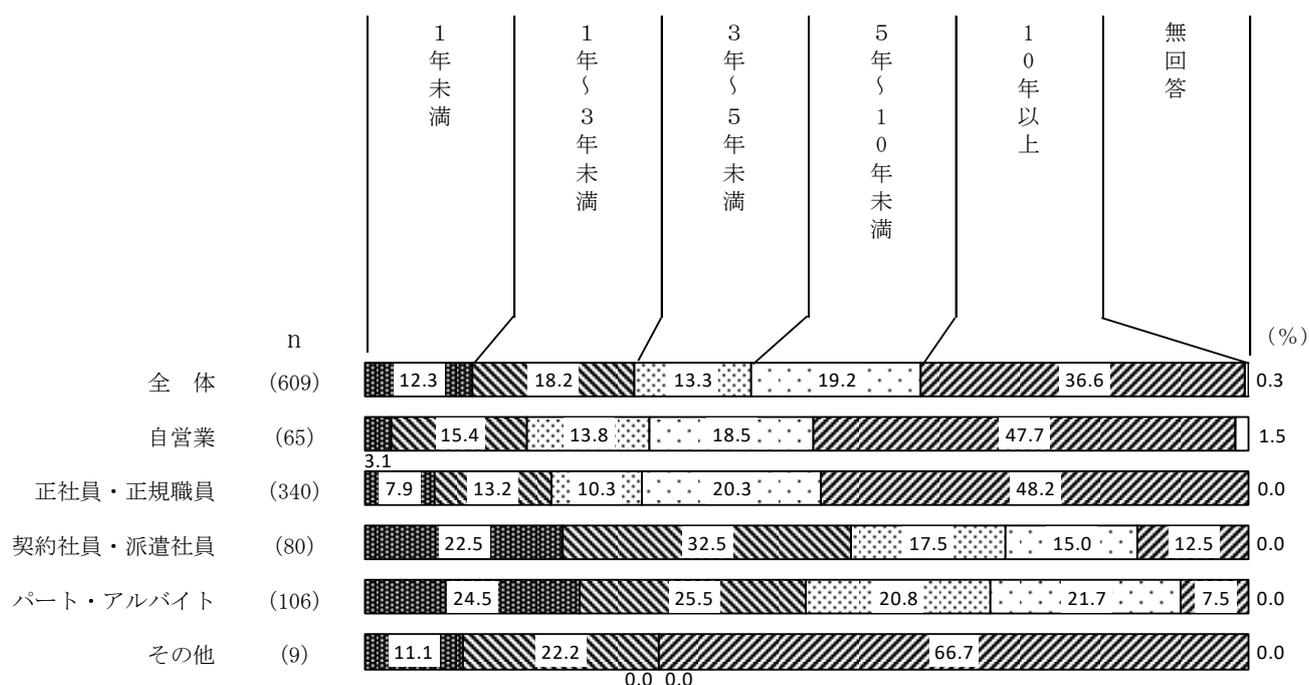
世帯別にみると、母子世帯で『5年未満』が46.7%、『5年以上』は53.1%であるのに対し、父子世帯では『5年未満』が20.2%、『5年以上』が78.2%となっている。

現在の雇用形態別にみると、自営業、正社員・正規職員では「10年以上」が、契約社員・派遣社員、パート・アルバイトでは「1年～3年未満」が最も高くなっている。

図表49. 現在の仕事の勤続年数（単数回答）



図表50. 現在の雇用形態別による現在の仕事の勤続年数（クロス集計）

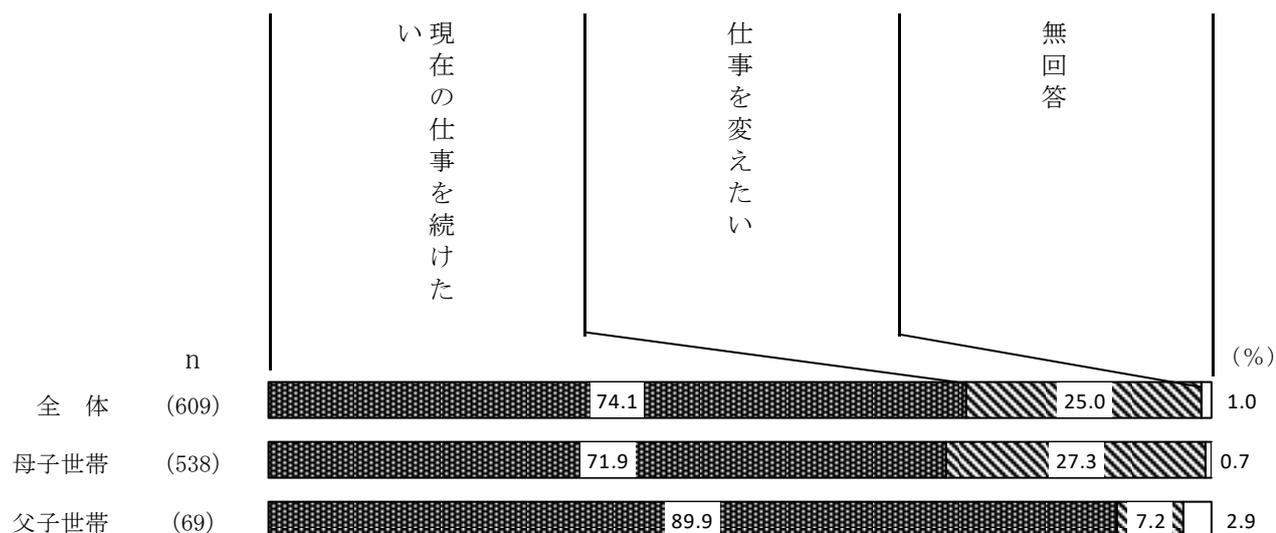


(10) 転職希望の有無

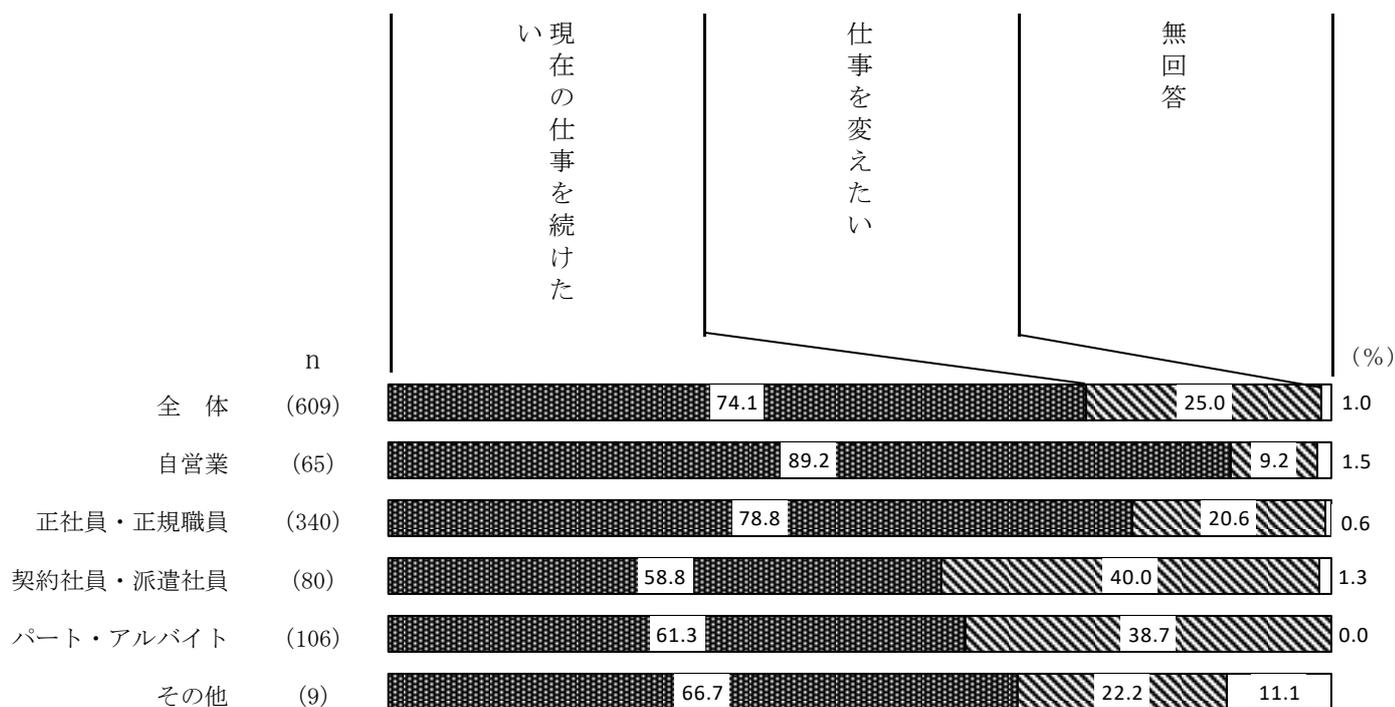
「現在の仕事を続けたい」が74.1%、「仕事を変えたい」が25.0%となっている。父子世帯は「現在の仕事を続けたい」が約9割を占めている。

現在の雇用形態別にみると、雇用形態に関わらず、「現在の仕事を続けたい」が半数以上を占めている。しかし、契約社員・派遣社員では40.0%、パート・アルバイトでは38.7%が「仕事を変えたい」と回答している。

図表51. 転職希望の有無（単数回答）



図表52. 現在の雇用形態別による転職希望の有無（クロス集計）

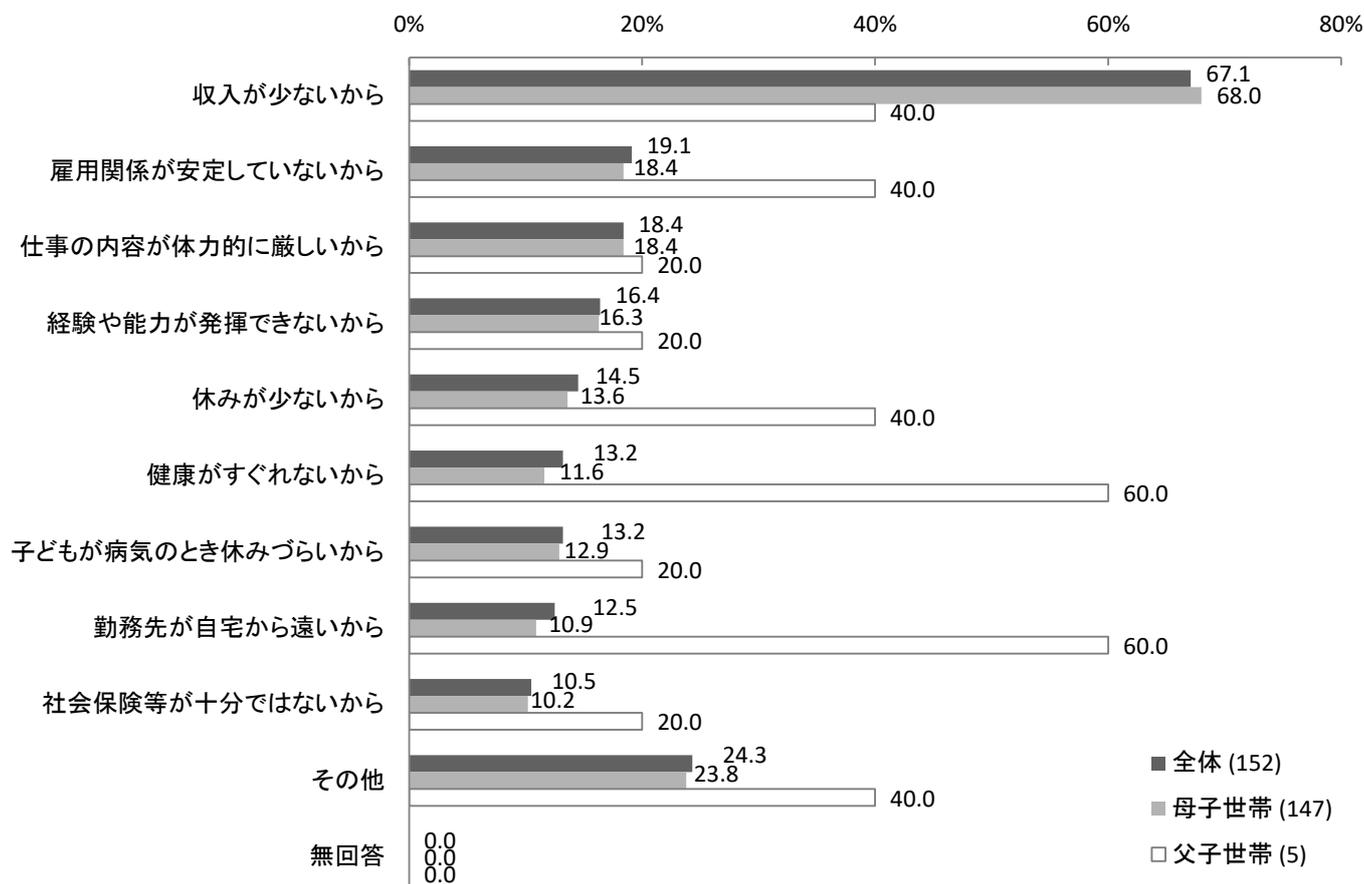


(11) 転職したい理由

転職を希望する人のうち、その理由として「収入が少ないから」が67.1%、「雇用関係が安定していないから」が19.1%となっている。

現在の雇用形態別にみると、正社員・正規職員では「休みが少ないから」「経験や能力が発揮できないから」「勤務先が自宅から遠いから」が高くなっている。

図表53. 転職したい理由（複数回答）



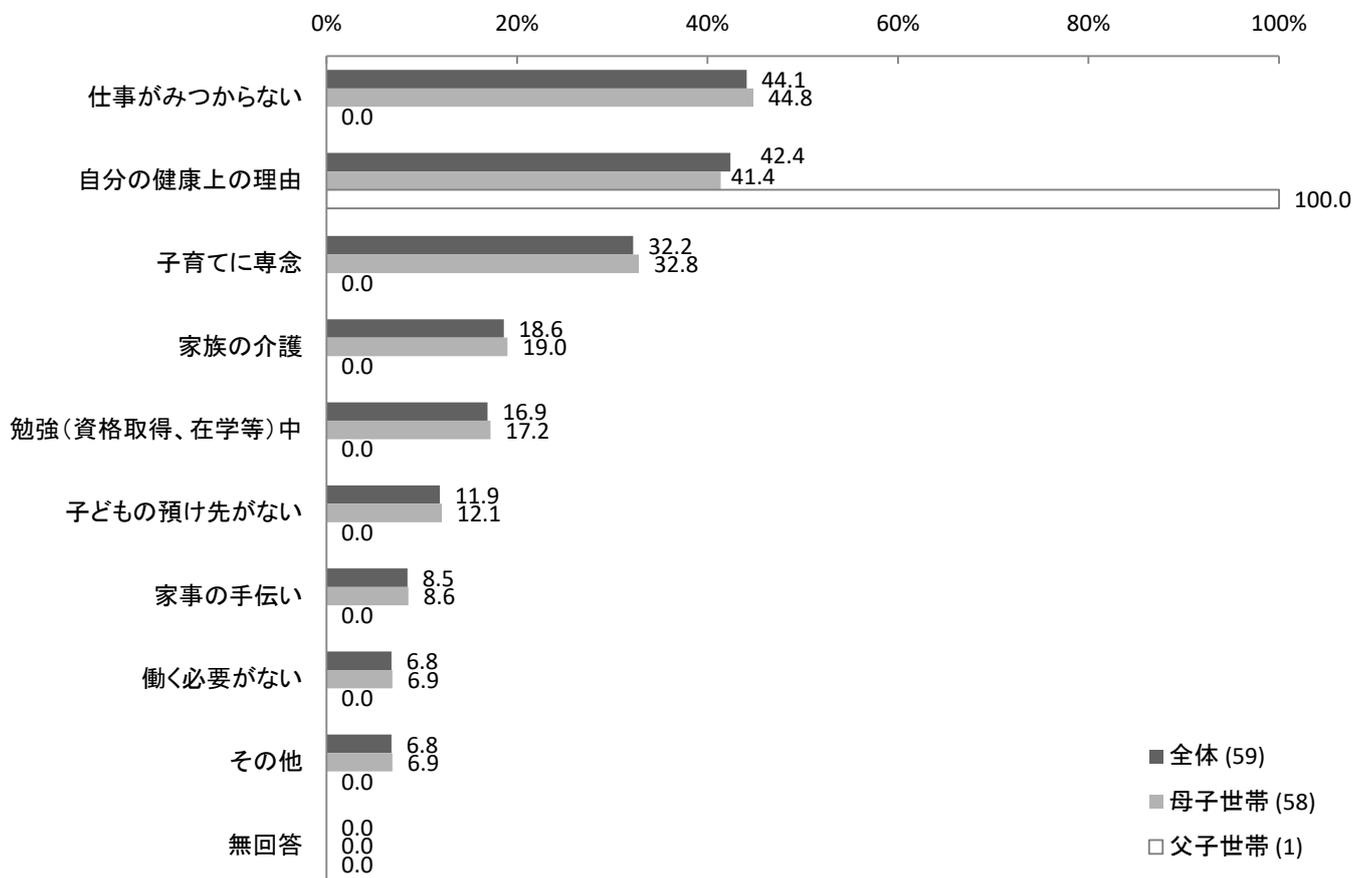
図表54. 現在の雇用形態別による転職したい理由（クロス集計）

現在の雇用形態別	上段:件数 下段:%	全体	収入が少ないから	雇用関係が安定して	仕事の内容が体力的	経験や能力が発揮で	休みが少ないから	健康がすぐれないか	子どもが病気のとき	勤務先が自宅から遠	社会保険等が十分で	その他	無回答
		全体	152 100.0	102 67.1	29 19.1	28 18.4	25 16.4	22 14.5	20 13.2	20 13.2	19 12.5	16 10.5	37 24.3
自営業	6 100.0	5 83.3	2 33.3	3 50.0	-	-	2 33.3	2 33.3	-	4 66.7	-	-	
正社員・正規職員	70 100.0	42 60.0	5 7.1	8 11.4	13 18.6	14 20.0	8 11.4	10 14.3	13 18.6	4 5.7	22 31.4	-	
契約社員・派遣社員	32 100.0	25 78.1	11 34.4	6 18.8	6 18.8	3 9.4	2 6.3	3 9.4	2 6.3	1 3.1	7 21.9	-	
パート・アルバイト	41 100.0	29 70.7	11 26.8	11 26.8	6 14.6	5 12.2	7 17.1	5 12.2	4 9.8	7 17.1	7 17.1	-	
その他	2 100.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	

(12) 仕事をしていない理由

現在、仕事をしていない理由について、「仕事が見つからない」が44.1%、「自分の健康上の理由」が42.4%、「子育てに専念」が32.2%となっている。

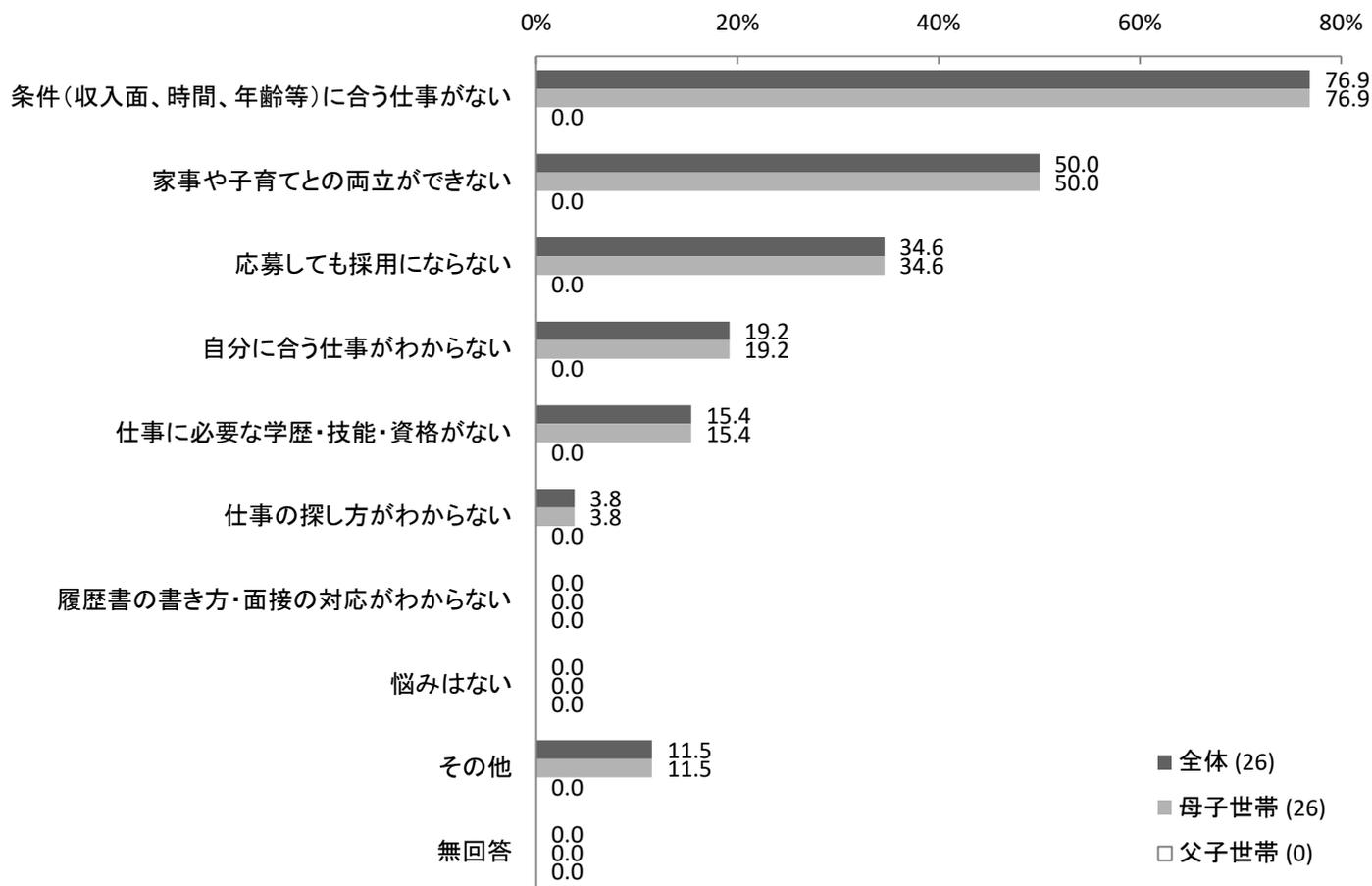
図表55. 仕事をしていない理由（複数回答）



(13) 仕事を探すにあたっての悩み

「仕事が見つからない」と回答した人のうち、仕事を探すにあたっての悩みとして、「条件（収入面、時間、年齢等）に合う仕事がない」が 76.9%で最も高く、次いで「家事や子育てとの両立ができない」が 50.0%、「応募しても採用にならない」が 34.6%となっている。

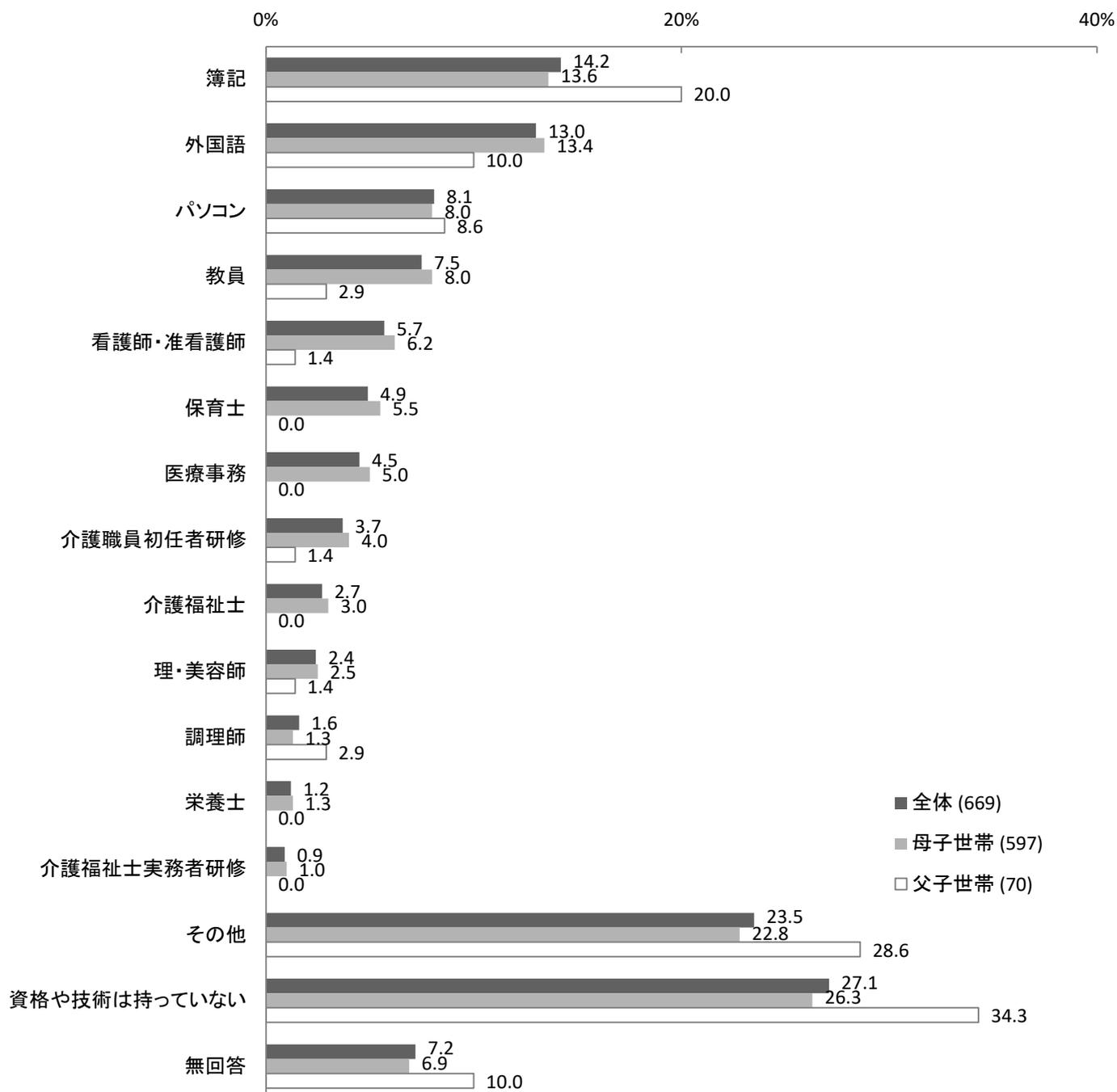
図表56. 仕事を探すにあたっての悩み（複数回答）



(14) 資格等の保有状況

「簿記」が14.2%で最も高く、次いで「外国語」が13.0%、「パソコン」が8.1%となっている。

図表57. 現在持っている資格名（複数回答）



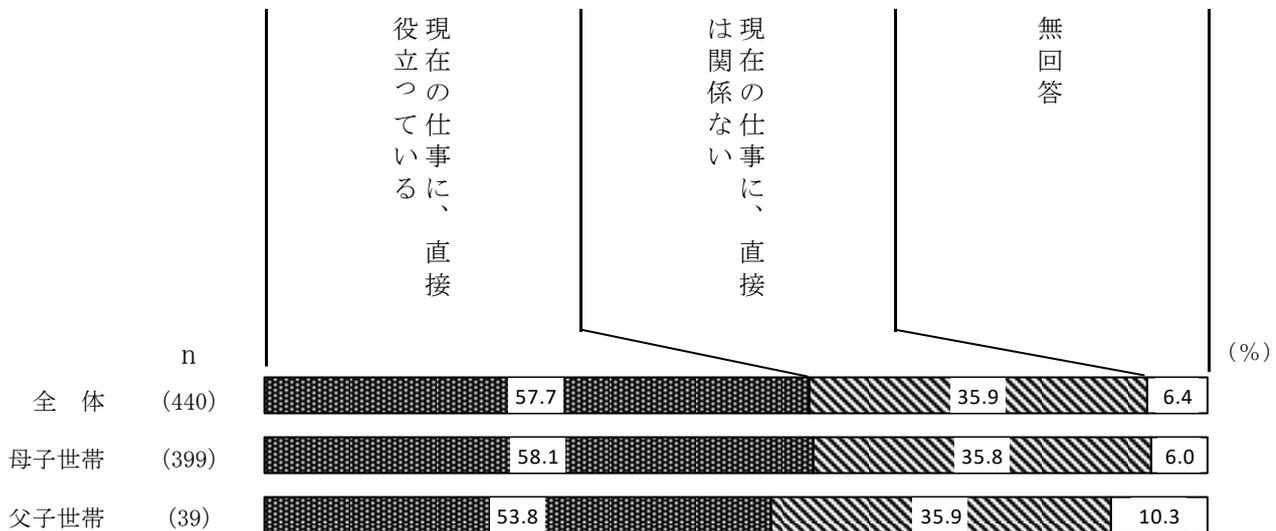
その他の例

ファイナンシャルプランナー、証券外務員、二種免許、自動車整備士、宅地建物取引主任者、衛生管理者、ネイリスト、秘書検定、薬剤師、ケアマネージャー、社会福祉主事、書道師範 等

(15) 資格等の活用状況

保有している資格等について、「現在の仕事に、直接役立っている」が 57.7%、「現在の仕事に、直接は関係ない」が 35.9%となっている。

図表58. 資格は役立っているか（単数回答）



図表59. 資格は役立っているか別による現在持っている資格（クロス集計）

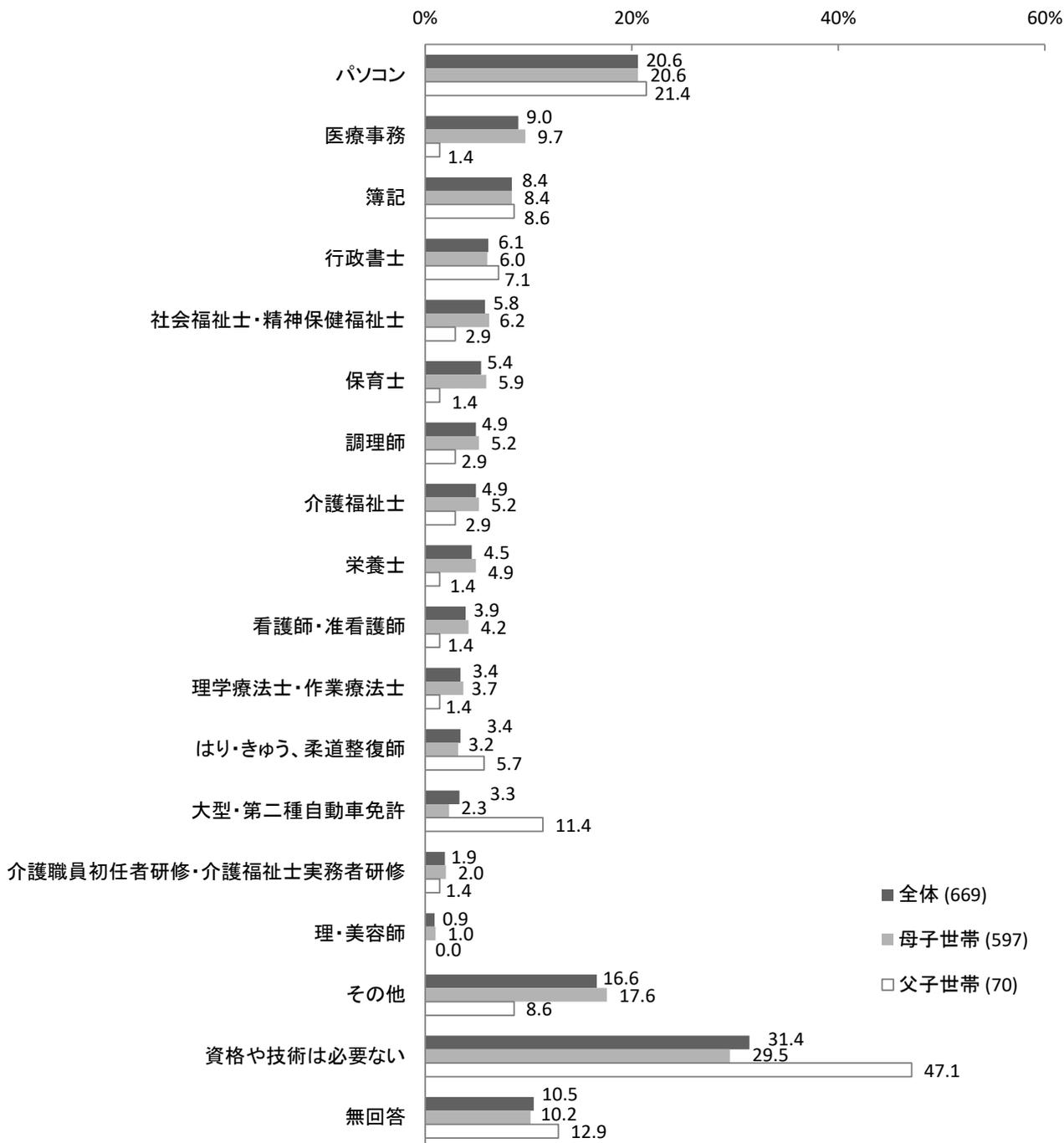
上段:件数 下段:%		全体	簿記	外国語	パソコン	教員	看護師・准看護	保育士	医療事務	研修	介護職員初任者	介護福祉士	理・美容師	調理師	栄養士
全体		669 100.0	95 14.2	87 13.0	54 8.1	50 7.5	38 5.7	33 4.9	30 4.5	25 3.7	18 2.7	16 2.4	11 1.6	11 1.6	8 1.2
資格は役立っているか別	現在の仕事に、直接役立っている	254 100.0	49 19.3	43 16.9	32 12.6	28 11.0	35 13.8	26 10.2	16 6.3	16 6.3	13 5.1	12 4.7	5 2.0	5 2.0	5 2.0
	現在の仕事に、直接は関係ない	158 100.0	42 26.6	38 24.1	14 8.9	22 13.9	3 1.9	7 4.4	12 7.6	9 5.7	4 2.5	4 2.5	6 3.8	3 1.9	3 1.9
上段:件数 下段:%		全体	介護福祉士実務	その他	持っている技術は	無回答									
全体		669 100.0	6 0.9	157 23.5	181 27.1	48 7.2									
資格は役立っているか別	現在の仕事に、直接役立っている	254 100.0	4 1.6	93 36.6	-	-									
	現在の仕事に、直接は関係ない	158 100.0	1 0.6	49 31.0	-	-									

(16) 今後、取得したい資格等

就職や転職にあたって今後取得したい資格などについては、「パソコン」が20.6%と最も高く、次いで「医療事務」が9.0%、「簿記」が8.4%となっている。

一方で「資格や技術は必要ない」は31.4%で、父子世帯では47.1%と高くなっている。

図表60. 取得したい資格名（複数回答）



その他の例
 語学、社労士、宅地建物取引主任者、臨床心理士、
 登録販売者、メンタルヘルス・マネジメント 等

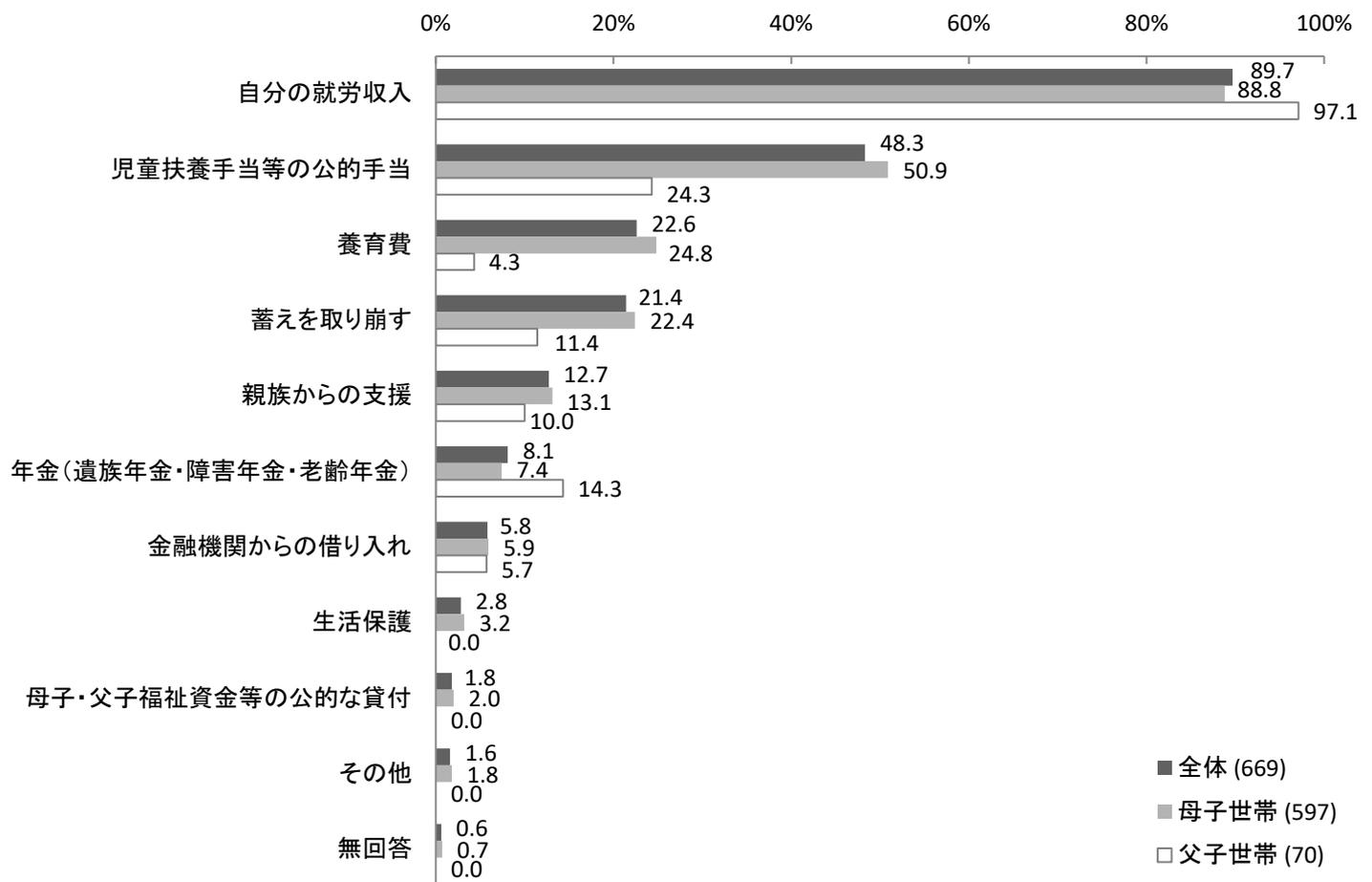
5. 経済状況について

(1) 現在の主な収入源

「自分の就労収入」が 89.7%と最も高く、「児童扶養手当等の公的手当」が 48.3%、「養育費」が 22.6%、「蓄えを取り崩す」が 21.4%と続いている。

世帯別にみると、母子世帯は「自分の就労収入」(88.8%)が最も高く、次いで「児童扶養手当等の公的手当」(50.9%)、養育費(24.8%)となっているが、「蓄えを取り崩す」も 22.4%みられる。父子世帯でも「自分の就労収入」(97.1%)が最も高く、「児童扶養手当等の公的手当」や「養育費」、「蓄えを取り崩す」の割合は母子世帯より低い。

図表61. 主な収入源（複数回答）

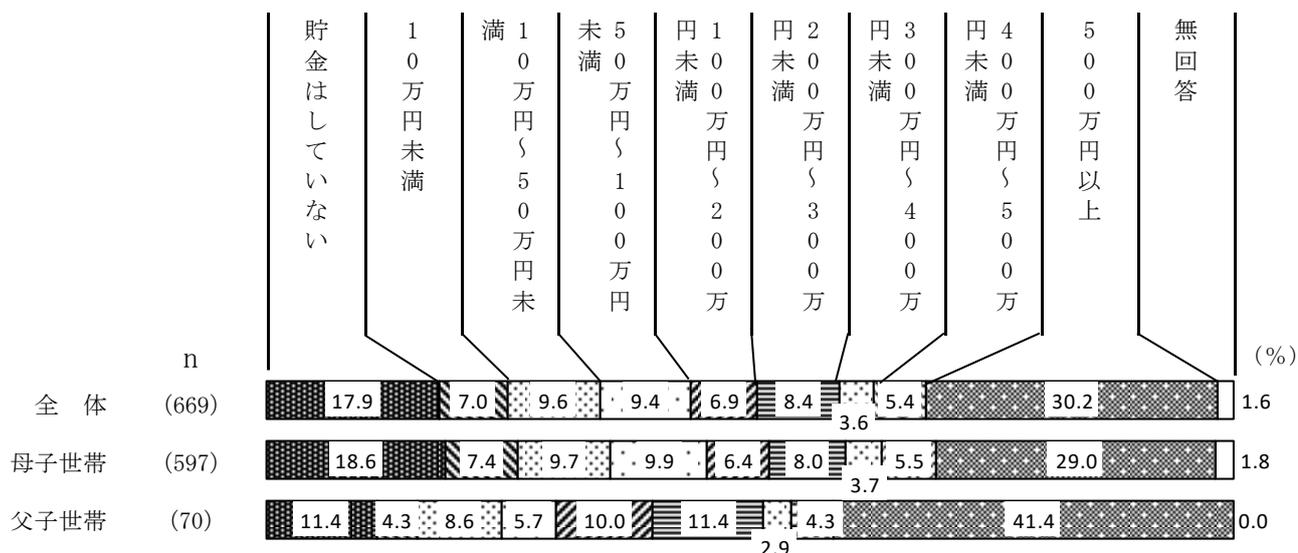


(2) 貯金の状況

世帯の貯金の状況について、「500万円以上」が30.2%と最も高く、次いで「貯金はしていない」が17.9%となっている。

世帯別にみると、母子世帯は「500万円以上」が29.0%と最も高いが、『0～10万円未満』も26.0%となっている。父子世帯でも「500万円以上」が41.4%と最も高いが、『0～10万円未満』も15.7%となっている。

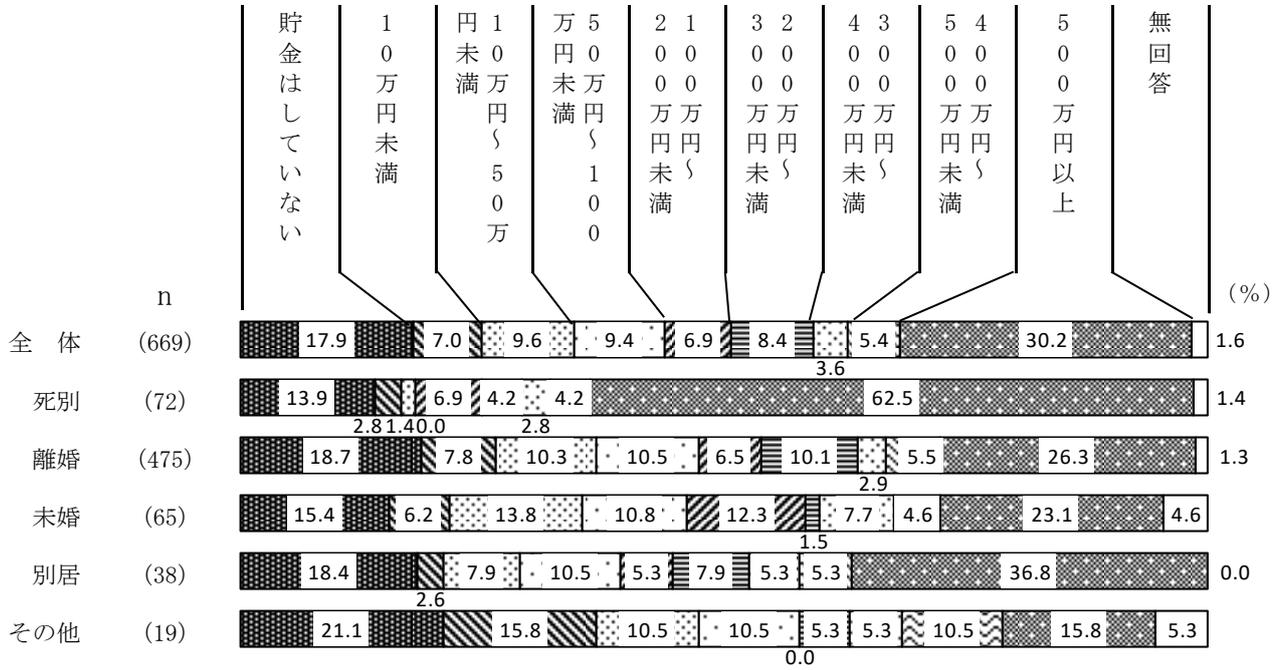
図表62. 貯金の状況（単数回答）



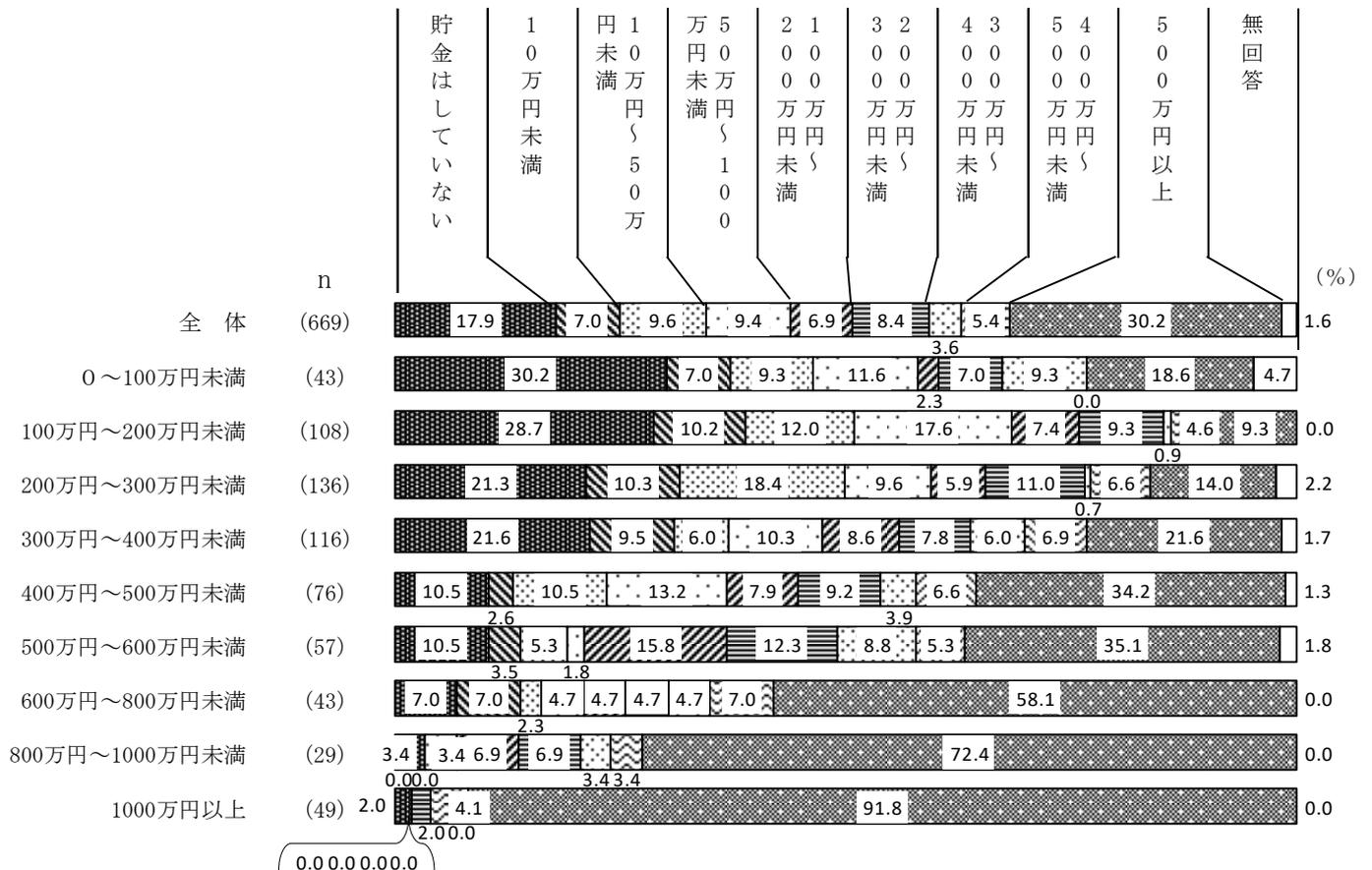
ひとり親になった理由別にみると、死別では「500万円以上」が半数以上を占めている。

世帯の手取り年収別にみると、手取り年収が上がるにつれ「500万円以上」が高くなっている。手取り年収が200万円未満の層では「貯金はしていない」が最も高くなっている。

図表63. ひとり親になった理由別による貯金の状況（クロス集計）



図表64. 世帯の手取り年収別による貯金の状況（クロス集計）

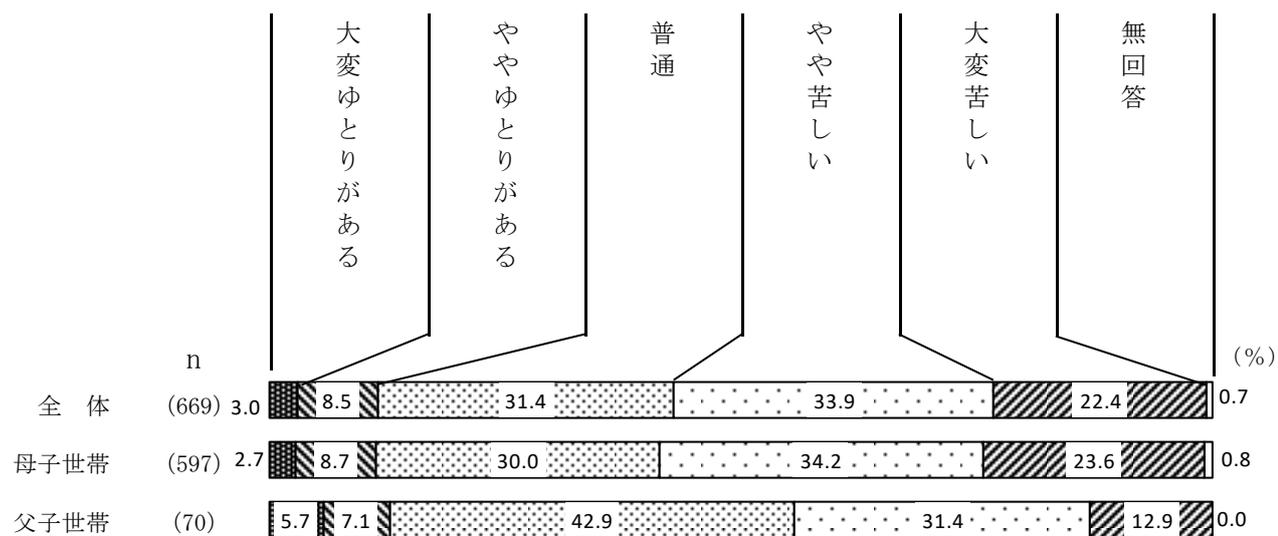


(3) 現在の暮らしの状況

現在の暮らしの状況について、「やや苦しい」(33.9%)、「普通」(31.4%)、「大変苦しい」(22.4%)、「ややゆとりがある」(8.5%)「大変ゆとりがある」(3.0%)の順番となっている。

世帯別にみると、母子世帯では「大変苦しい」が2割以上を占めている。また、母子世帯では「普通」(30.0%)よりも「やや苦しい」(34.2%)が高いのに対し、父子世帯は「やや苦しい」(31.4%)よりも「普通」(42.9%)が高くなっている。

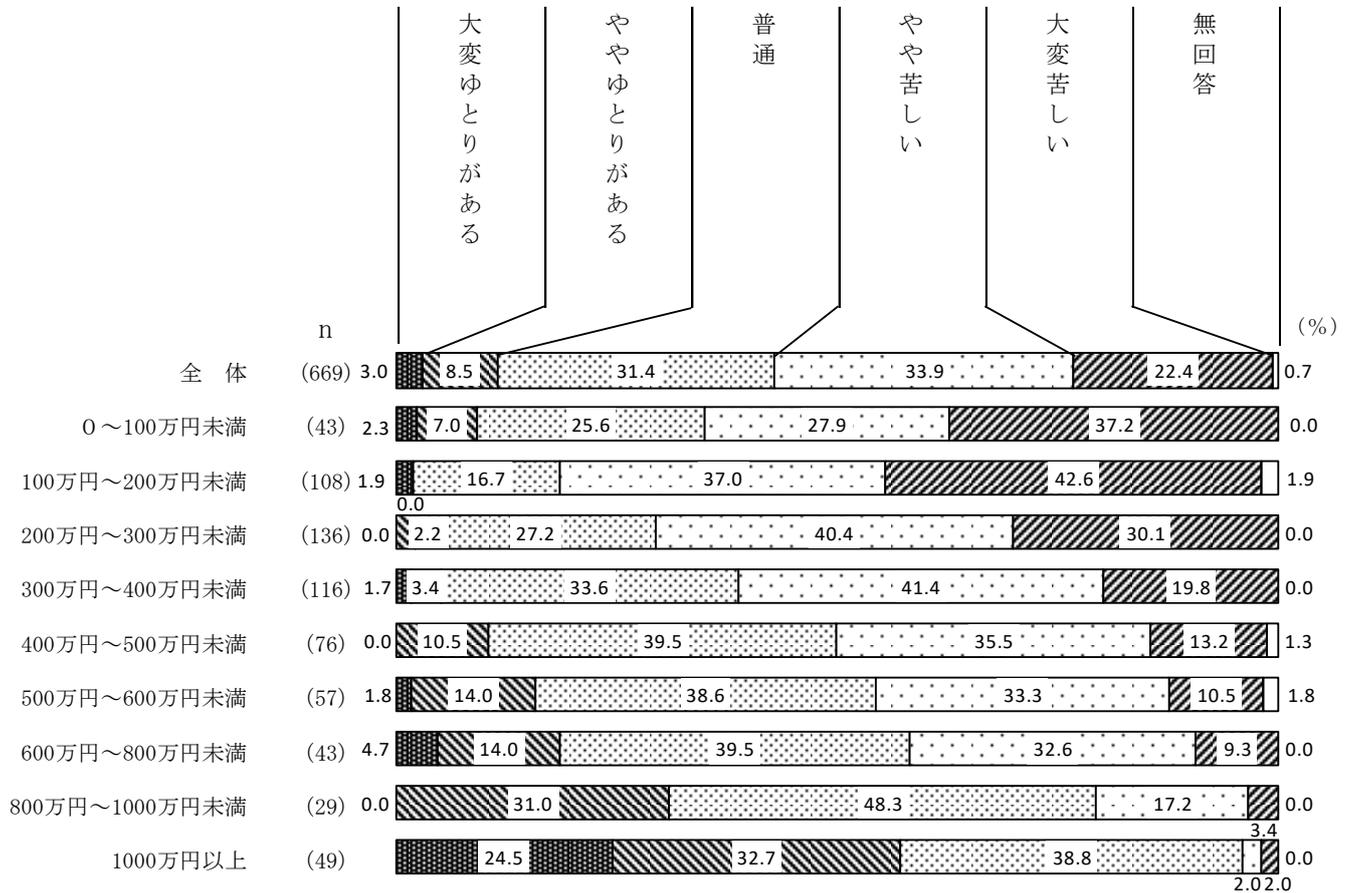
図表65. 暮らしのゆとり（単数回答）



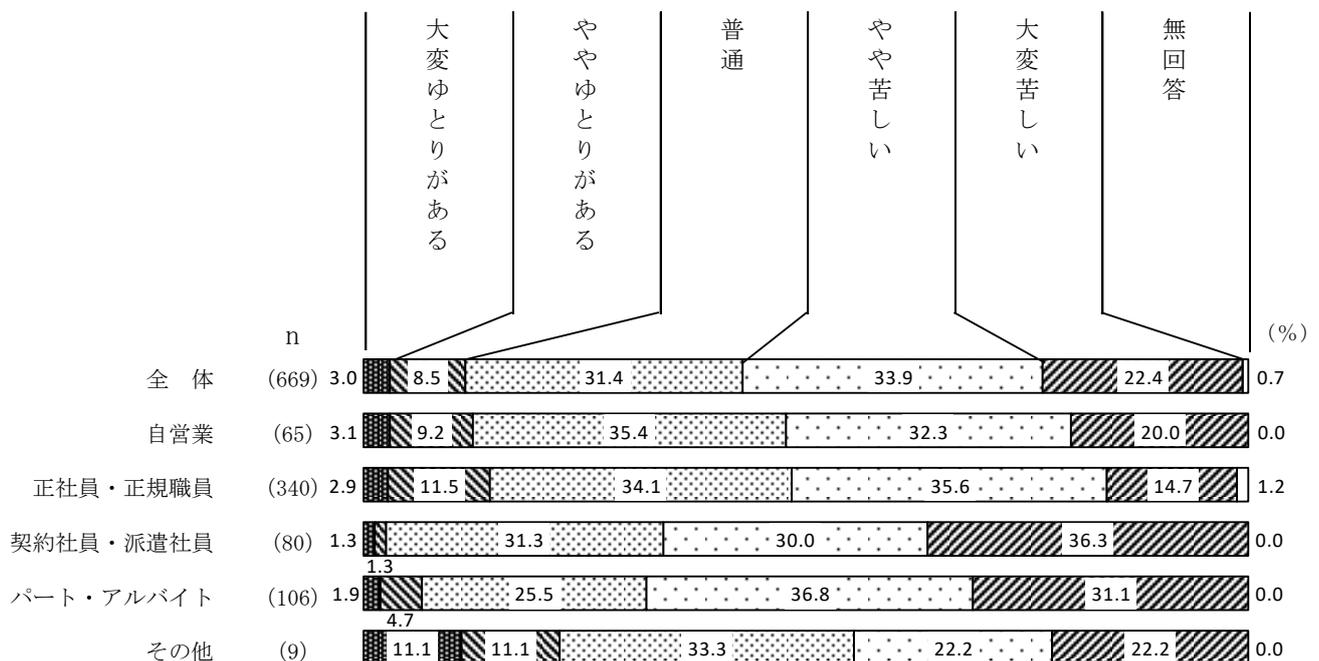
世帯の手取り年収別にみると、手取り年収が400万円未満の層では、「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせて6割以上が『苦しい』と感じているが、400万円以上の層になると、「普通」または「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせて『ゆとりがある』と半数以上が感じていることがわかる。

現在の雇用形態別でみると、契約社員・派遣社員、パート・アルバイトの6割以上が『苦しい』と感じており、「大変苦しい」と感じている割合は3割以上を占めている。

図表66. 世帯の手取り年収別による暮らしのゆとり（クロス集計）



図表67. 現在の雇用形態別による暮らしのゆとり（クロス集計）

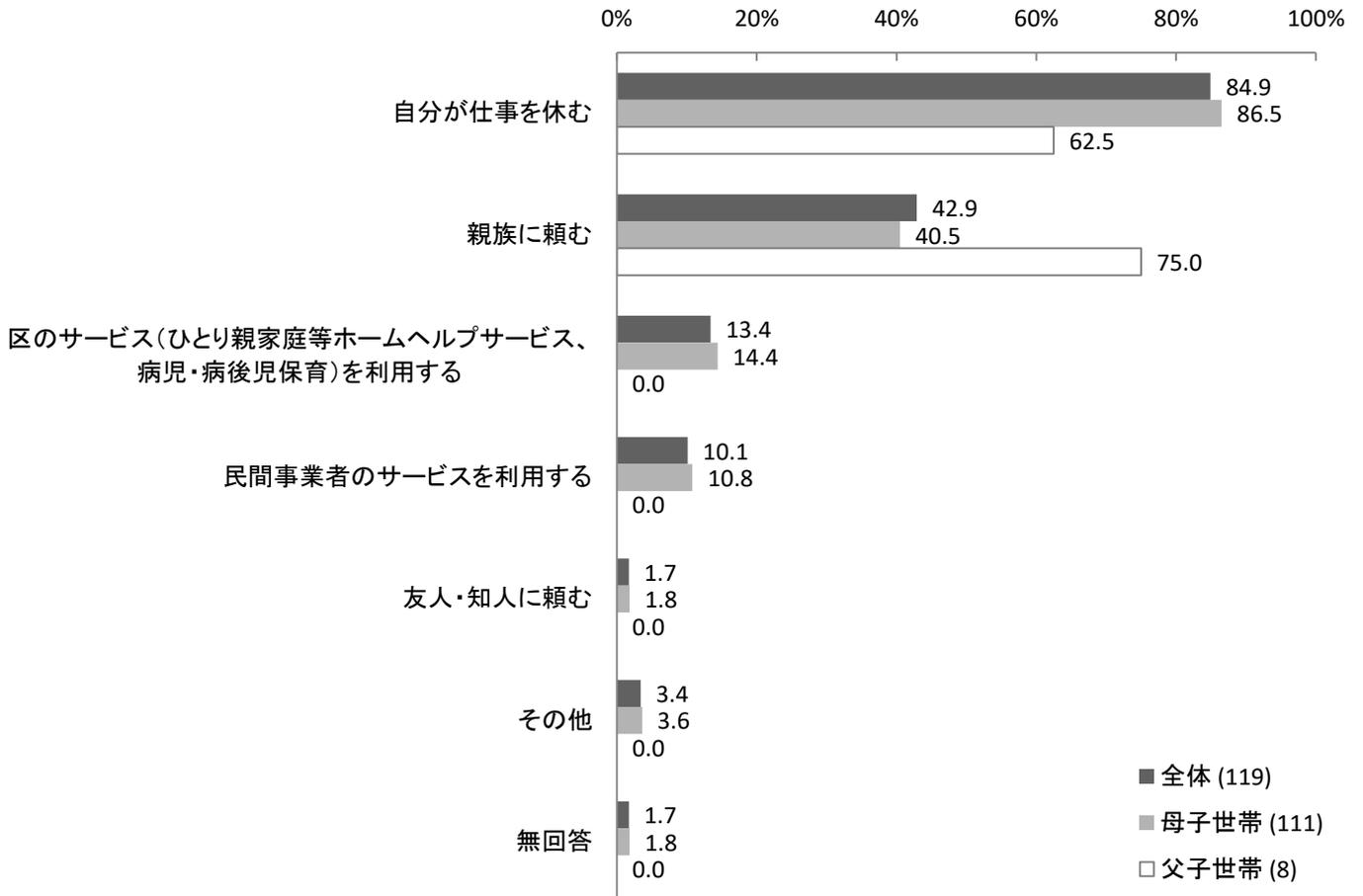


6. 子育てについて

(1) 子どもが病気の際の子どもの世話（小学校入学前）

「自分が仕事を休む」が84.9%と最も高く、次いで「親族に頼む」が42.9%となっている。世帯別で見ると、母子世帯は「自分が仕事を休む」(86.5%)が最も高く、父子世帯は「親族に頼む」(75.0%)が最も高くなっている。

図表68. 子どもが病気の際の子どもの世話（複数回答）

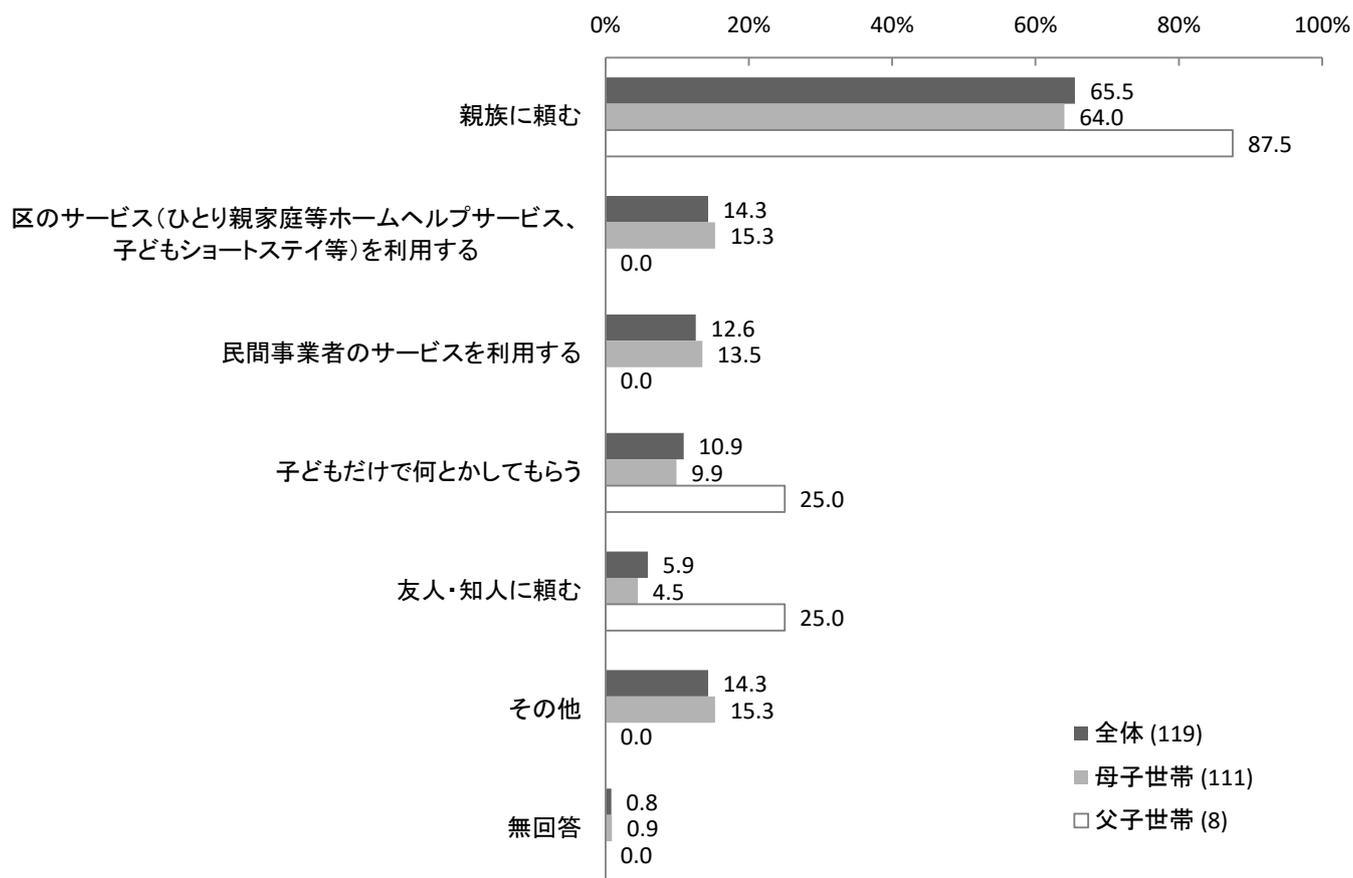


(2) 父母自身が病気などのときの子どもの世話（小学校入学前）

「親族に頼む」が 65.5%と最も高く、次いで「区のサービス（ひとり親家庭等ホームヘルプサービス、子どもショートステイ等）を利用する」が 14.3%となっている。

世帯別にみると、母子世帯は「親族に頼む」（64.0%）が最も高く、次いで「区のサービス（ひとり親家庭等ホームヘルプサービス、子どもショートステイ等）を利用する」（15.3%）、「民間事業者のサービスを利用する」（13.5%）となっている。父子世帯では「親族に頼む」が最も高くなっている。

図表69. 父母自身が病気などのときの子どもの世話（複数回答）

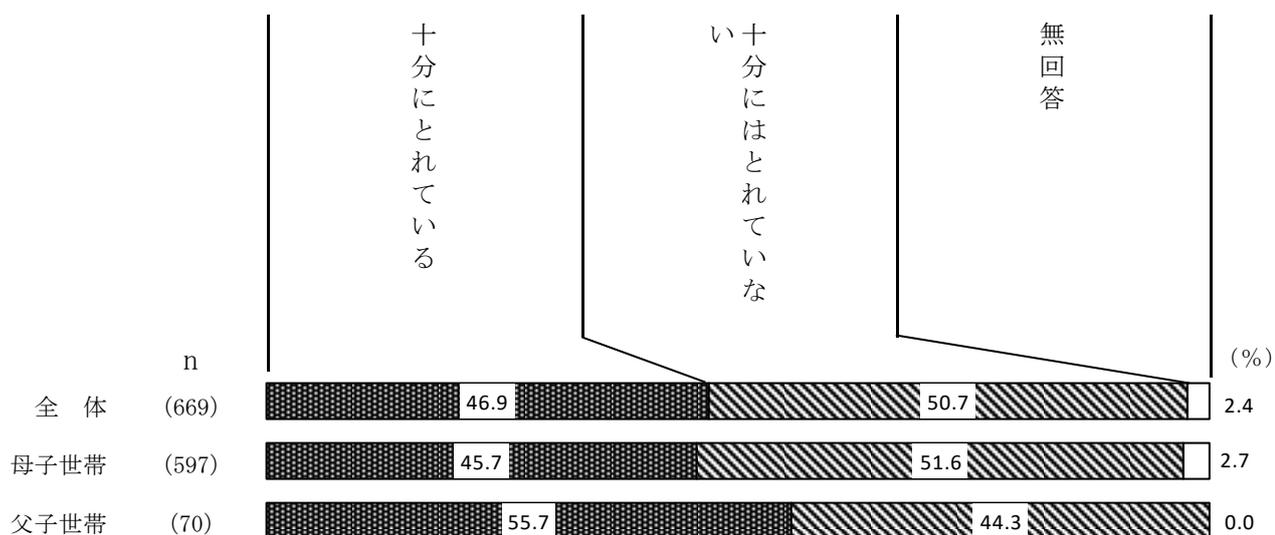


(3) 子どもと過ごす時間

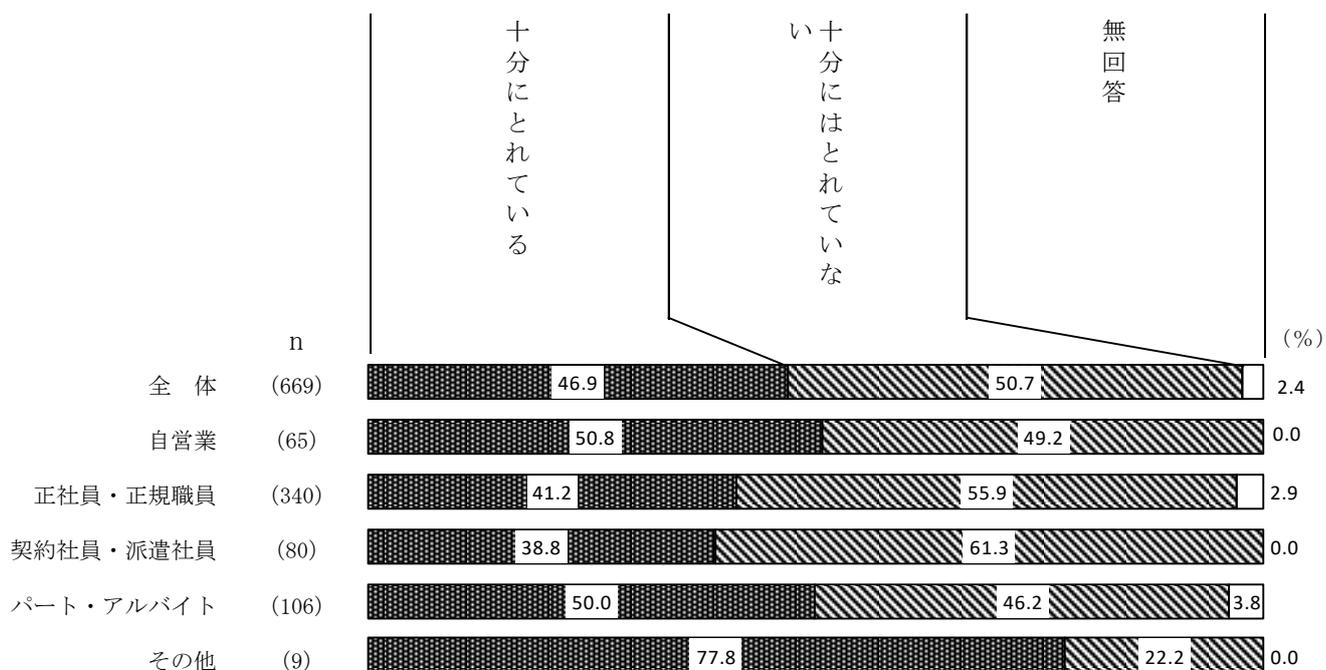
家庭で子どもと過ごす時間について、「十分にはとれていない」が50.7%、「十分にとれている」が46.9%となっている。

現在の雇用形態別にみると、「十分にとれている」は自営業、パート・アルバイトで半数を占めているが、正社員・正規職員で41.2%、契約社員・派遣社員で38.8%となっている。

図表70. 子どもと過ごす時間（単数回答）



図表71. 現在の雇用形態別による子どもと過ごす時間（クロス集計）

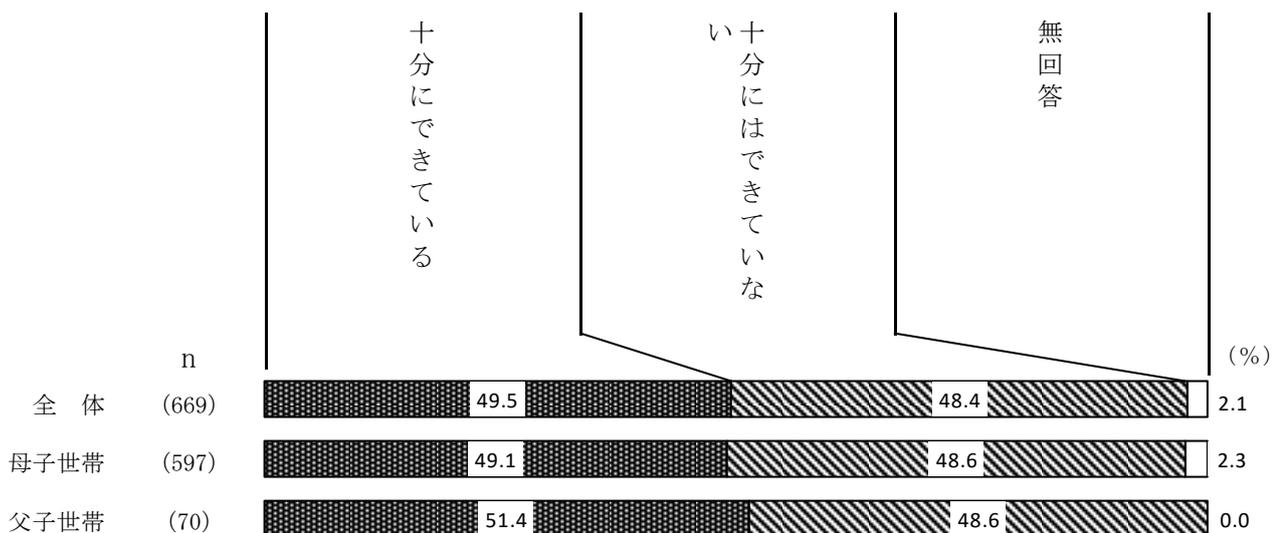


(4) 子どもとの会話・やりとり

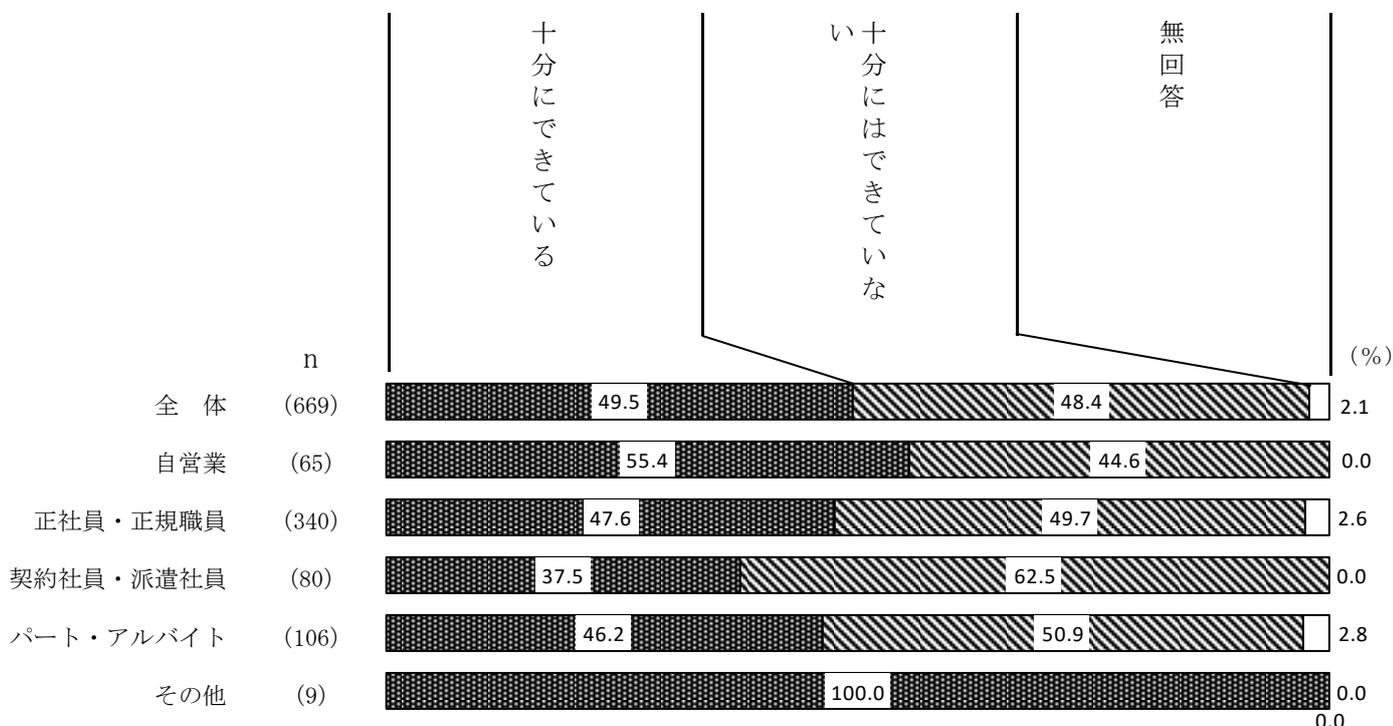
子どもとの会話・やりとりについて、「十分にできている」が49.5%、「十分にはできていない」が48.4%となっている。

現在の雇用形態別にみると、「十分にできている」は自営業で55.4%と半数を占めており、正社員・正規職員、パート・アルバイトは4割台、契約社員・派遣社員は3割台となっている。

図表72. 子どもとの会話・やりとり（単数回答）



図表73. 現在の雇用形態別による子どもとの会話・やりとり（クロス集計）

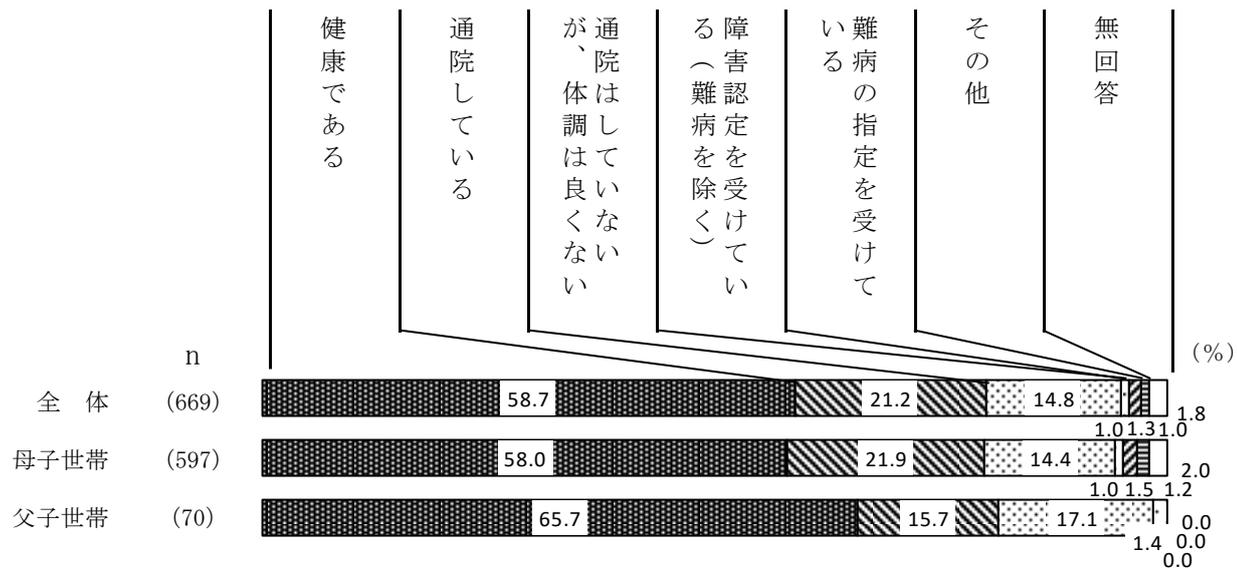


7. 健康について

(1) 父母自身の健康状態

父母自身の現在の健康状態について、「健康である」が58.7%と最も高く、「通院している」が21.2%、「通院はしていないが、体調は良くない」が14.8%となっている。母子世帯、父子世帯とも半数以上が「健康である」と回答しているが、「通院している」割合は、母子世帯が父子世帯よりもやや高い。

図表74. 父母自身の現在の健康状態（単数回答）



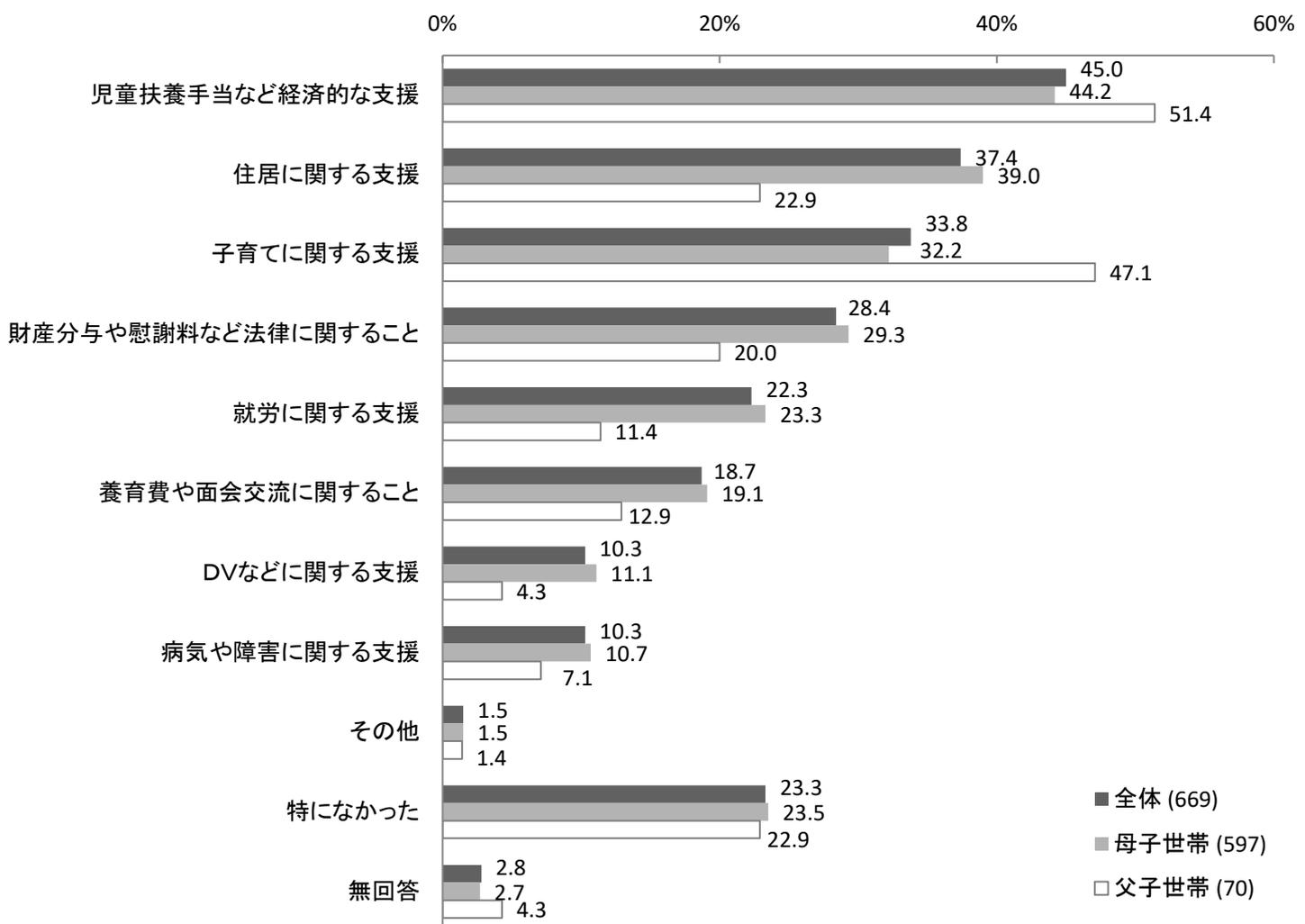
8. 悩みや困りごとなどについて

(1) ひとり親になる前に知りたかったこと

「児童扶養手当など経済的な支援」が45.0%と最も高く、次いで「住居に関する支援」が37.4%、「子育てに関する支援」が33.8%となっている。

世帯別にみると、母子世帯は「児童扶養手当など経済的な支援」が44.2%と最も高く、次いで「住居に関する支援」(39.0%)、「子育てに関する支援」(32.2%)、「財産分与や慰謝料など法律に関すること」(29.3%)となっている。父子世帯でも「児童扶養手当など経済的な支援」が51.4%と最も高く、次いで「子育てに関する支援」(47.1%)となっている。

図表75. ひとり親になる前に知りたかったこと（複数回答）



ひとり親になった理由別にみると、死別、離婚、別居では「児童扶養手当など経済的な支援」が、未婚では「住居に関する支援」が最も高くなっている。

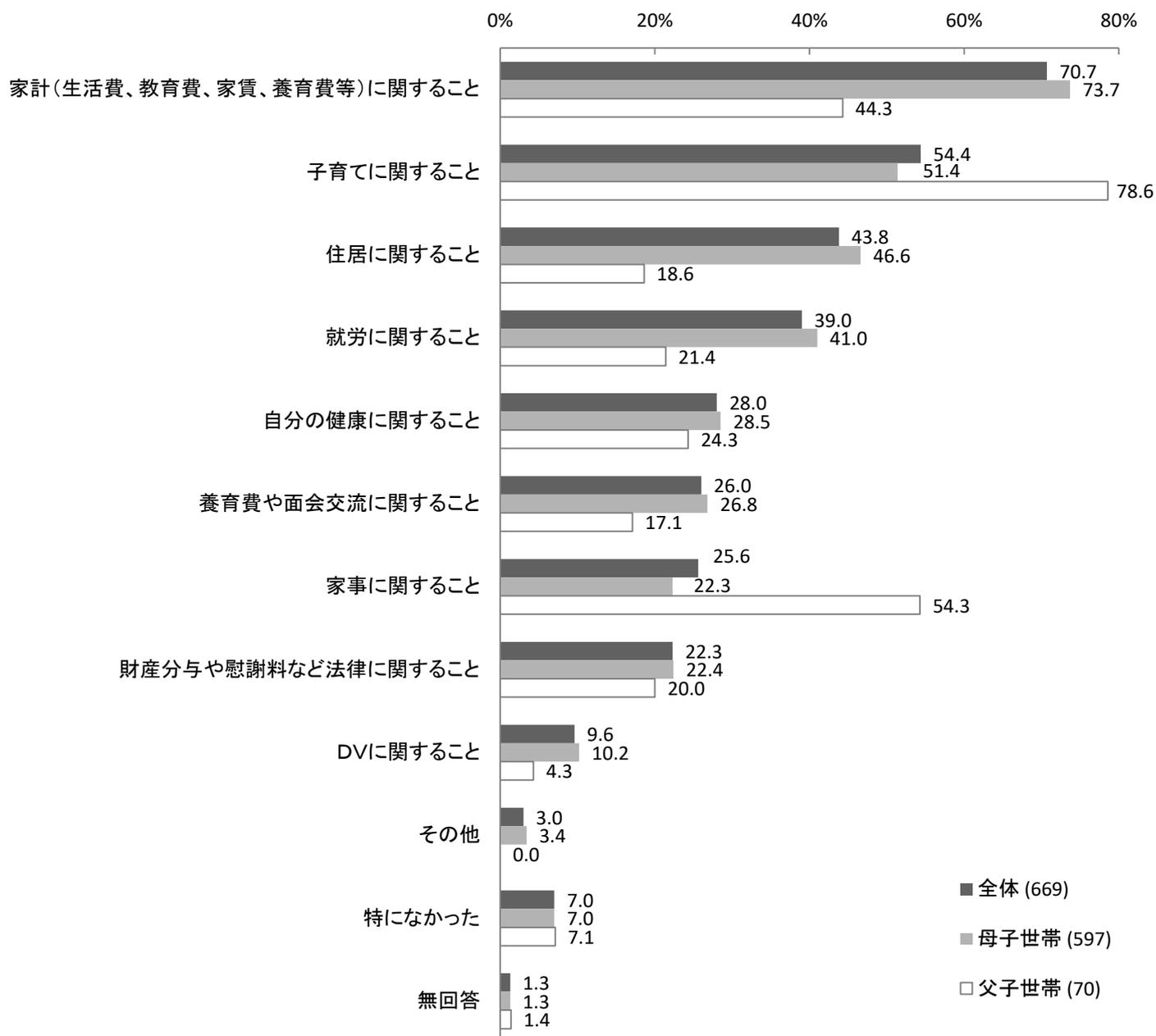
図表76. ひとり親になった理由別によるひとり親になる前に知りたかったこと（クロス集計）

上段:件数 下段:%		全体	児童扶養手当など 経済的な支援	住居に関する支援	子育てに関する支 援	こと など 法律に 関する 料	財 産 分 与 や 慰 謝 料	就 労 に 関 する 支 援	に 関 する こ と	養 育 費 や 面 会 交 流	支 援 D V な ど に 関 する	る 病 気 や 障 害 に 関 す	そ の 他	特 に な か つ た	無 回 答
全 体		669 100.0	301 45.0	250 37.4	226 33.8	190 28.4	149 22.3	125 18.7	69 10.3	69 10.3	10 1.5	156 23.3	19 2.8		
理 由 別 ひ と り 親 に な つ た	死別	72 100.0	30 41.7	14 19.4	25 34.7	7 9.7	13 18.1	- -	- -	5 6.9	1 1.4	24 33.3	3 4.2		
	離婚	475 100.0	216 45.5	184 38.7	151 31.8	150 31.6	97 20.4	106 22.3	56 11.8	50 10.5	8 1.7	107 22.5	10 2.1		
	未婚	65 100.0	29 44.6	33 50.8	29 44.6	11 16.9	24 36.9	8 12.3	4 6.2	7 10.8	1 1.5	13 20.0	2 3.1		
	別居	38 100.0	18 47.4	12 31.6	13 34.2	16 42.1	8 21.1	7 18.4	7 18.4	4 10.5	- -	7 18.4	2 5.3		
	その他	19 100.0	8 42.1	7 36.8	8 42.1	6 31.6	7 36.8	4 21.1	2 10.5	3 15.8	- -	5 26.3	2 10.5		

(2) ひとり親になった当時の悩みや困り事

「家計（生活費、教育費、家賃、養育費等）に関すること」が70.7%、「子育てに関すること」が54.4%、「住居に関すること」が43.8%となっている。父子世帯では、「子育てに関すること」（78.6%）、「家事に関すること」（54.3%）が高くなっている。

図表77. ひとり親になった当時の悩みや困り事（複数回答）



ひとり親になった理由別にみると、離婚、未婚、別居では「家計（生活費、教育費、家賃、養育費等）に関すること」が、死別では「子育てに関すること」が最も高くなっている。

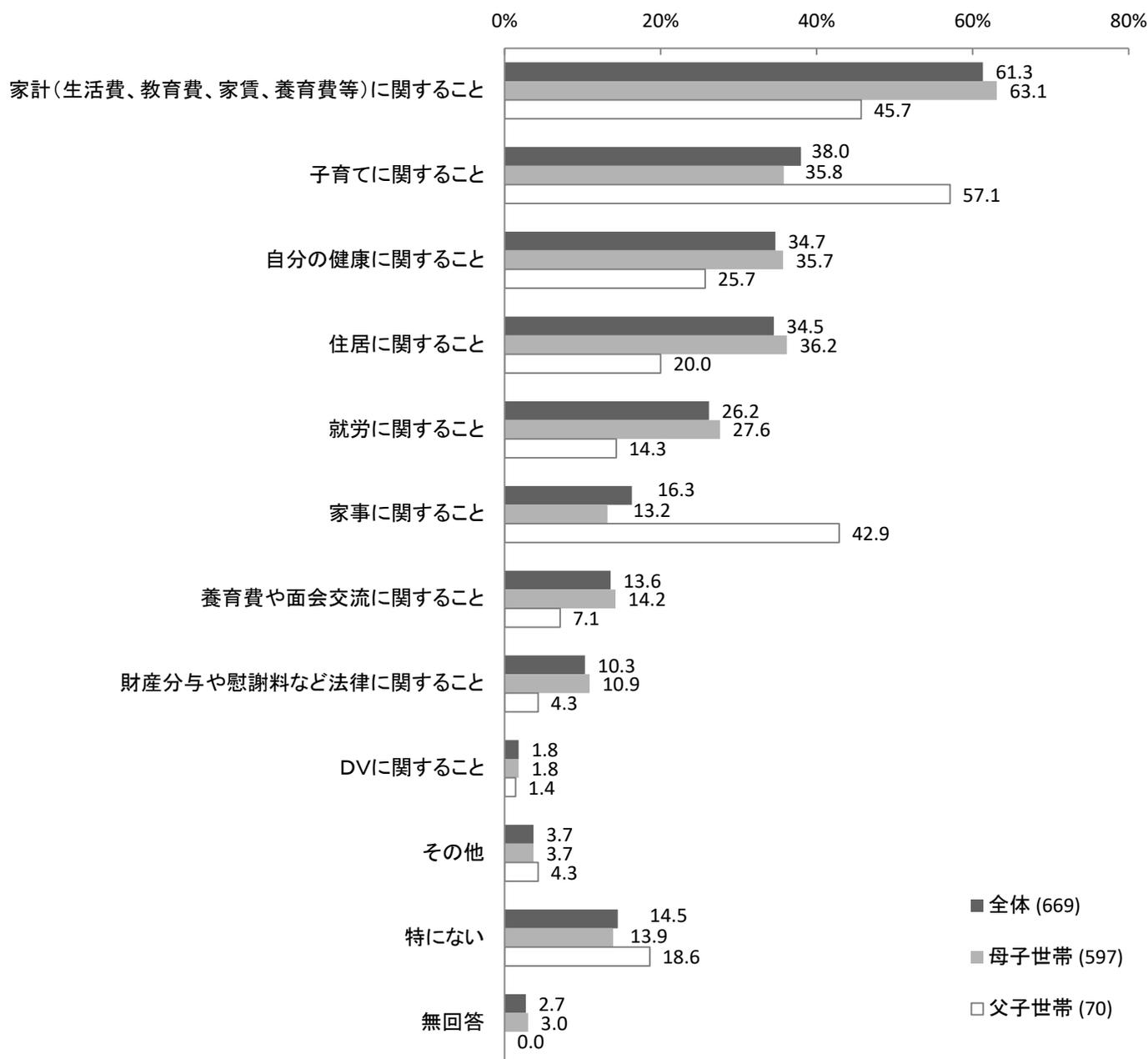
図表78. ひとり親になった理由別によるひとり親になった当時の悩みや困り事（クロス集計）

上段:件数 下段:%		全体	家計（生活費、教育費、家賃、養育費等）に関すること	子育てに関すること	住居に関すること	就労に関すること	自分の健康に関すること	養育費や面会交流に関すること	家事に関すること	財産分与や慰謝料など法律に関すること	DVに関すること	その他	特になかった	無回答
全体		669 100.0	473 70.7	364 54.4	293 43.8	261 39.0	187 28.0	174 26.0	171 25.6	149 22.3	64 9.6	20 3.0	47 7.0	9 1.3
ひとり親になった理由別	死別	72 100.0	44 61.1	48 66.7	21 29.2	26 36.1	22 30.6	- -	22 30.6	10 13.9	- -	4 5.6	3 4.2	2 2.8
	離婚	475 100.0	338 71.2	243 51.2	213 44.8	179 37.7	130 27.4	138 29.1	117 24.6	109 22.9	48 10.1	9 1.9	34 7.2	4 0.8
	未婚	65 100.0	49 75.4	42 64.6	36 55.4	36 55.4	22 33.8	13 20.0	23 35.4	9 13.8	5 7.7	4 6.2	5 7.7	1 1.5
	別居	38 100.0	28 73.7	20 52.6	16 42.1	13 34.2	10 26.3	18 47.4	6 15.8	16 42.1	9 23.7	1 2.6	4 10.5	1 2.6
	その他	19 100.0	14 73.7	11 57.9	7 36.8	7 36.8	3 15.8	5 26.3	3 15.8	5 26.3	2 10.5	2 10.5	1 5.3	1 5.3

(3) 現在の悩みや困り事

「家計（生活費、教育費、家賃、養育費等）に関すること」が61.3%、「子育てに関すること」が38.0%と第1位、第2位ではひとり親になった当時と変わらないが、「自分の健康に関すること」が34.7%で第3位となっている。母子世帯は「自分の健康に関すること」（35.7%）、「住居に関すること」（36.2%）が高く、父子世帯は「子育てに関すること」（57.1%）、「家事に関すること」（42.9%）が高くなっている。

図表79. 現在の悩みや困り事（複数回答）



ひとり親になった理由別にみると、いずれの理由も「家計（生活費、教育費、家賃、養育費等）に関すること」が最も高くなっている。死別では「子育てに関すること」も高くなっている。

図表80. ひとり親になった理由別による現在の悩みや困り事

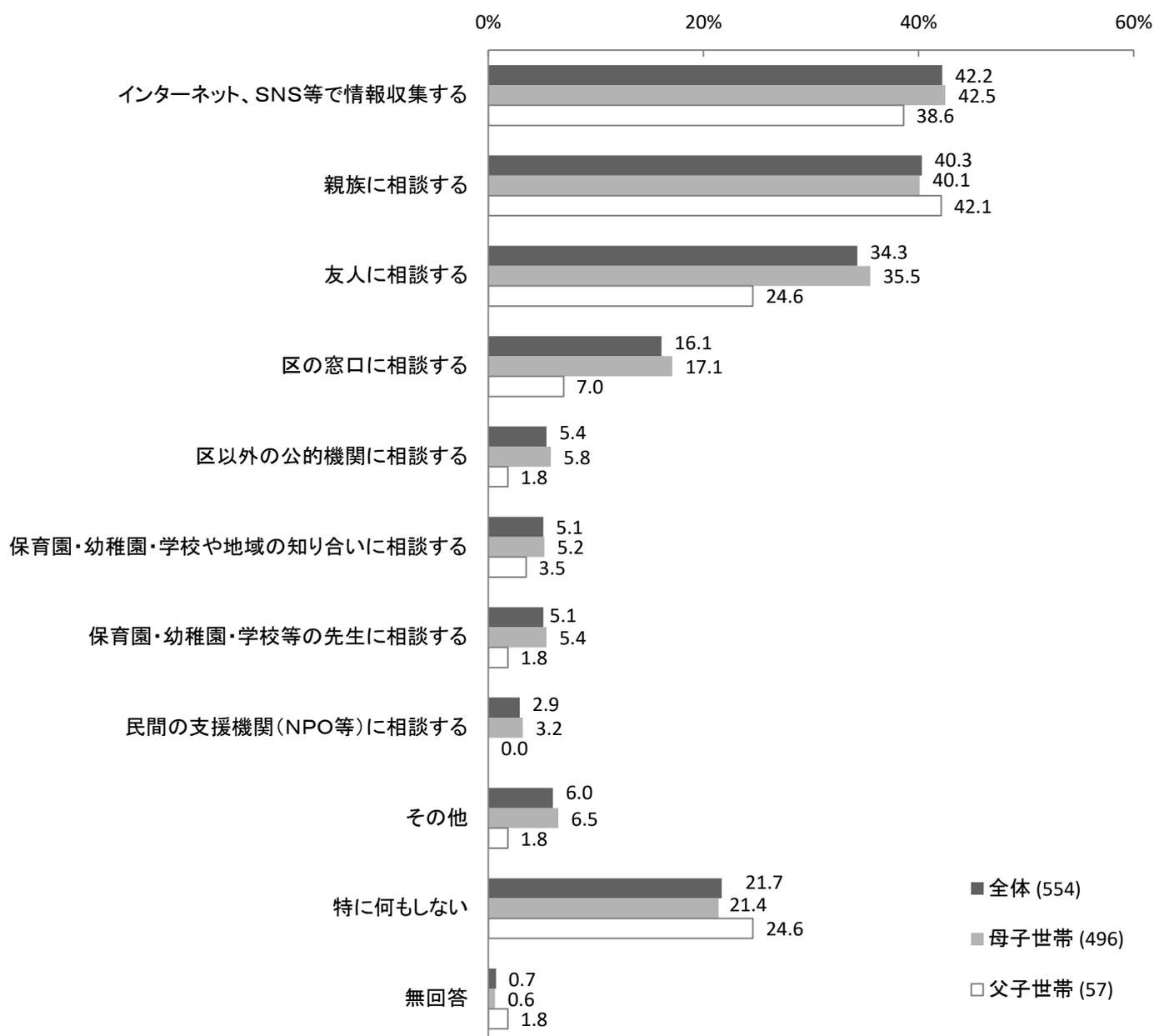
上段:件数 下段:%		全体	家計（生活費、教育費、家賃、養育費等）に関すること	子育てに関すること	と自分の健康に関すること	住居に関すること	就労に関すること	家事に関すること	養育費や面会交流に関すること	法律に関すること	財産分与や慰謝料など	DVに関すること	その他	特にない	無回答
全体		669 100.0	410 61.3	254 38.0	232 34.7	231 34.5	175 26.2	109 16.3	91 13.6	69 10.3	12 1.8	25 3.7	97 14.5	18 2.7	
理由別 ひとり親になった	死別	72 100.0	30 41.7	30 41.7	23 31.9	14 19.4	19 26.4	13 18.1	- -	5 6.9	- -	2 2.8	16 22.2	1 1.4	
	離婚	475 100.0	300 63.2	179 37.7	168 35.4	168 35.4	113 23.8	80 16.8	63 13.3	35 7.4	8 1.7	16 3.4	63 13.3	12 2.5	
	未婚	65 100.0	43 66.2	30 46.2	23 35.4	23 35.4	28 43.1	10 15.4	11 16.9	7 10.8	1 1.5	3 4.6	11 16.9	3 4.6	
	別居	38 100.0	25 65.8	11 28.9	10 26.3	18 47.4	8 21.1	4 10.5	11 28.9	17 44.7	3 7.9	3 7.9	6 15.8	1 2.6	
	その他	19 100.0	12 63.2	4 21.1	8 42.1	8 42.1	7 36.8	2 10.5	6 31.6	5 26.3	- -	1 5.3	1 5.3	1 5.3	

(4) 悩みや困り事の解決方法

「インターネット、SNS等で情報収集する」が42.2%、「親族に相談する」が40.3%、「友人に相談する」が34.3%となっている。

世帯別にみると、母子世帯は「インターネット、SNS等で情報収集する」(42.5%)、「親族に相談する」(40.1%)、「友人に相談する」(35.5%)、「区の窓口相談する」(17.1%)となっているが、父子世帯では「親族に相談する」(42.1%)、「インターネット、SNS等で情報収集する」(38.6%)と続き、友人や区の窓口等に相談する割合は低い。

図表81. 悩みや困り事の解決方法（複数回答）



年齢区分別にみると、30歳以上では「インターネット、SNS等で情報収集する」が最も高くなっている。

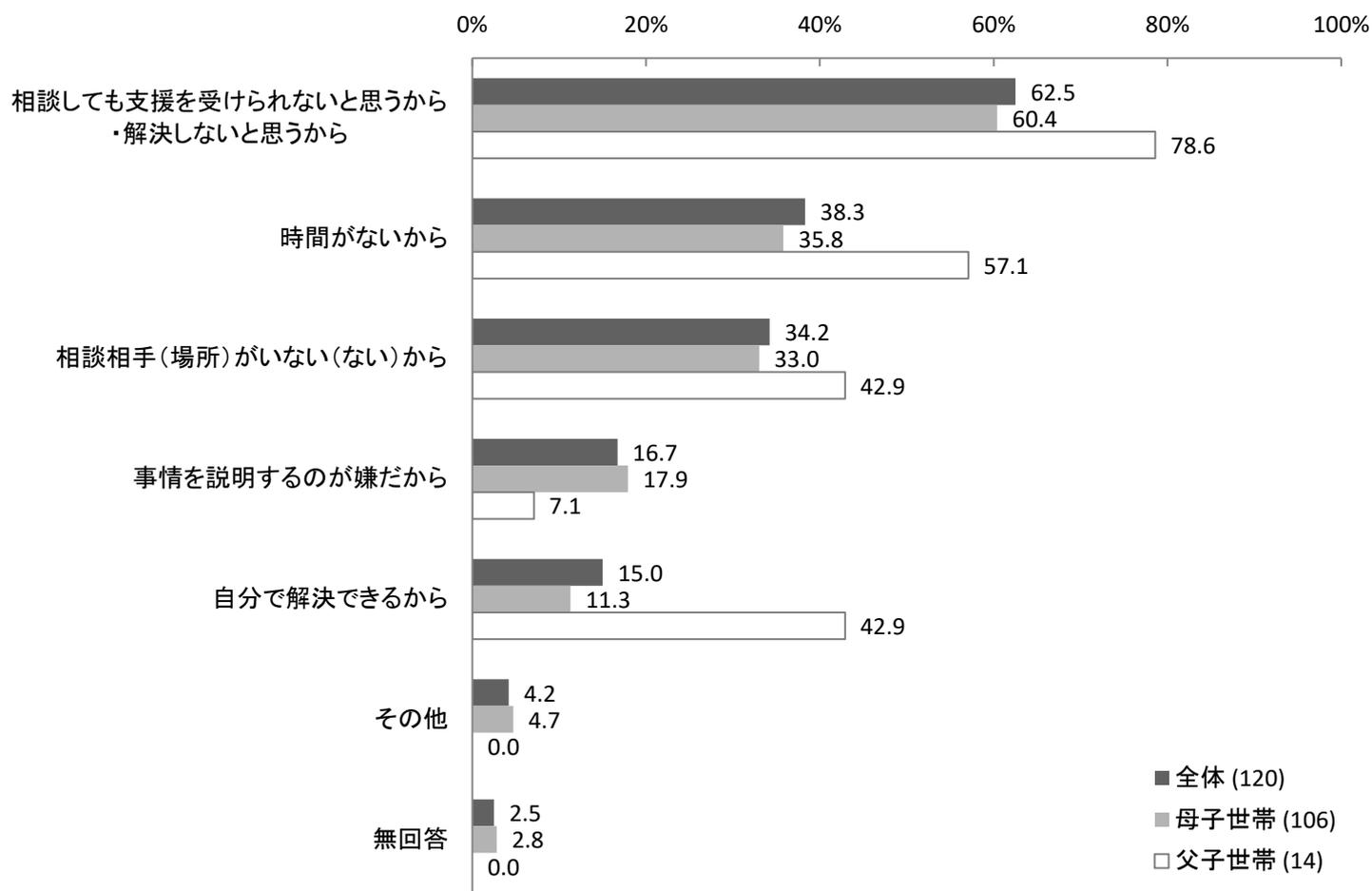
図表82. 年齢区分別による悩みや困り事の解決方法

上段: 件数 下段: %		全体	S イ ン タ ー ネ ッ ト 、 S N	親 族 に 相 談 す る	友 人 に 相 談 す る	区 の 窓 口 に 相 談 す る	談 話 す る 区 以 外 の 公 的 機 関 に 相 談 す る	談 話 す る 地 域 の 知 り 合 い に 相 談 す る	保 育 園 ・ 幼 稚 園 ・ 学 校	保 育 園 ・ 幼 稚 園 ・ 学 校	保 育 園 ・ 幼 稚 園 ・ 学 校	民 間 の 支 援 機 関 (N P 等 に 相 談 す る	そ の 他	特 に 何 も し な い	無 回 答
全 体		554 100.0	234 42.2	223 40.3	190 34.3	89 16.1	30 5.4	28 5.1	28 5.1	16 2.9	33 6.0	120 21.7	4 0.7		
年 齢 区 分 別	20～29歳	13 100.0	7 53.8	9 69.2	7 53.8	-	-	-	-	-	1 7.7	-	-		
	30～39歳	137 100.0	63 46.0	58 42.3	50 36.5	22 16.1	7 5.1	8 5.8	12 8.8	3 2.2	7 5.1	25 18.2	1 0.7		
	40～49歳	258 100.0	114 44.2	110 42.6	96 37.2	43 16.7	12 4.7	16 6.2	14 5.4	10 3.9	16 6.2	57 22.1	1 0.4		
	50歳以上	139 100.0	48 34.5	45 32.4	36 25.9	23 16.5	11 7.9	4 2.9	2 1.4	3 2.2	9 6.5	35 25.2	1 0.7		

(5) 悩みや困り事があっても特に何もしない理由

「相談しても支援を受けられないと思うから・解決しないと思うから」が62.5%と最も高く、「時間がないから」が38.3%、「相談相手（場所）がない（ない）から」が34.2%となっている。

図表83. 特に何もしない理由（複数回答）

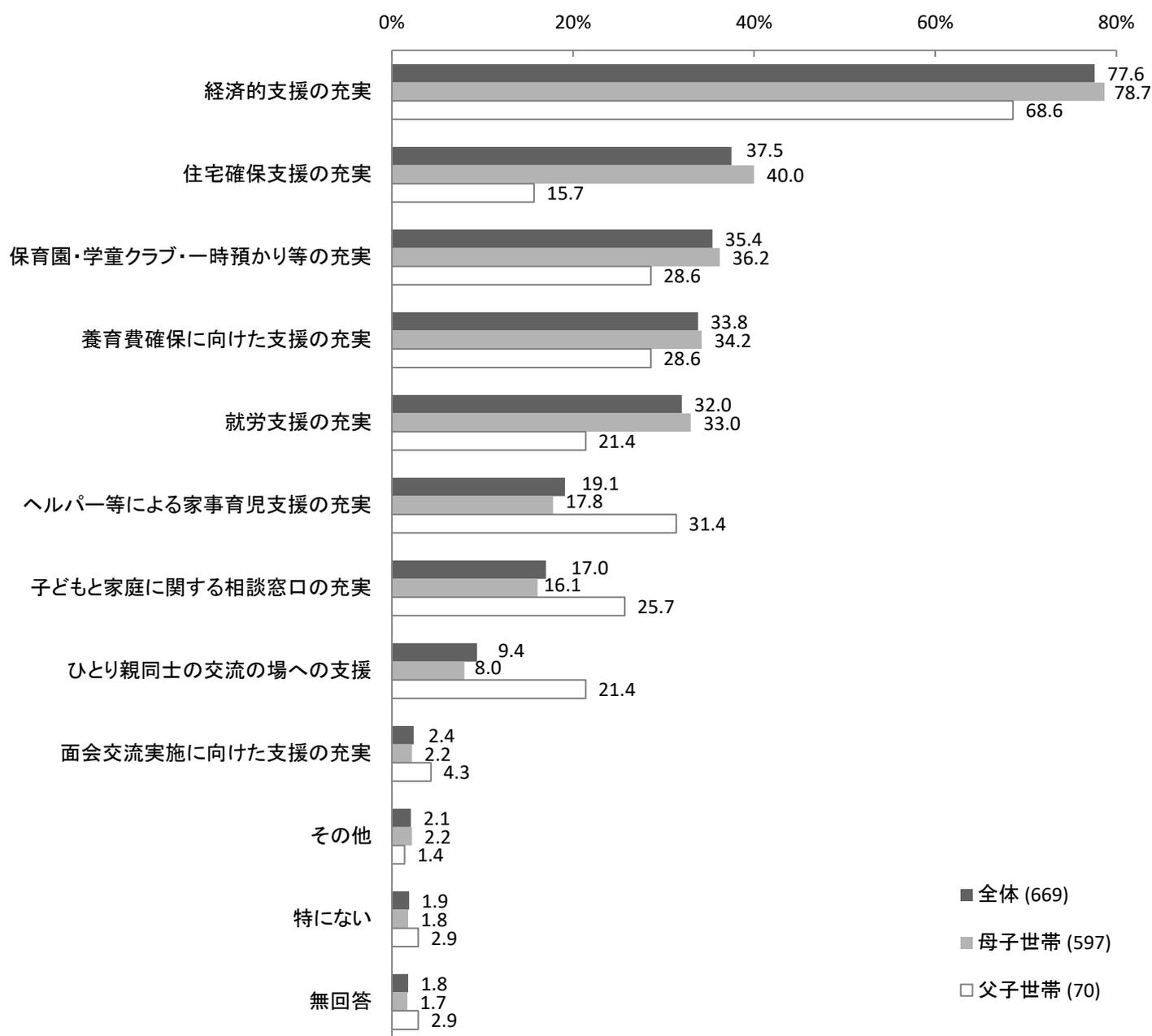


(6) ひとり親家庭への支援で特に必要と思うもの

「経済的支援の充実」が77.6%で最も高く、「住宅確保支援の充実」が37.5%、「保育園・学童クラブ・一時預かり等の充実」が35.4%となっている。

世帯別で見ると母子世帯、父子世帯ともに「経済的支援の充実」が最も高く、次いで母子世帯は「住宅確保の支援の充実」(40.0%)「保育園・学童クラブ・一時預かり等の充実」(36.2%)「養育費確保に向けた支援の充実」(34.2%)、「就労支援の充実」(33.0%)の順となっているが、父子世帯では「ヘルパー等による家事育児支援の充実」(31.4%)、「保育園・学童クラブ・一時預かり等の充実」(28.6%)、「養育費確保に向けた支援の充実」(28.6%)の順となっている。

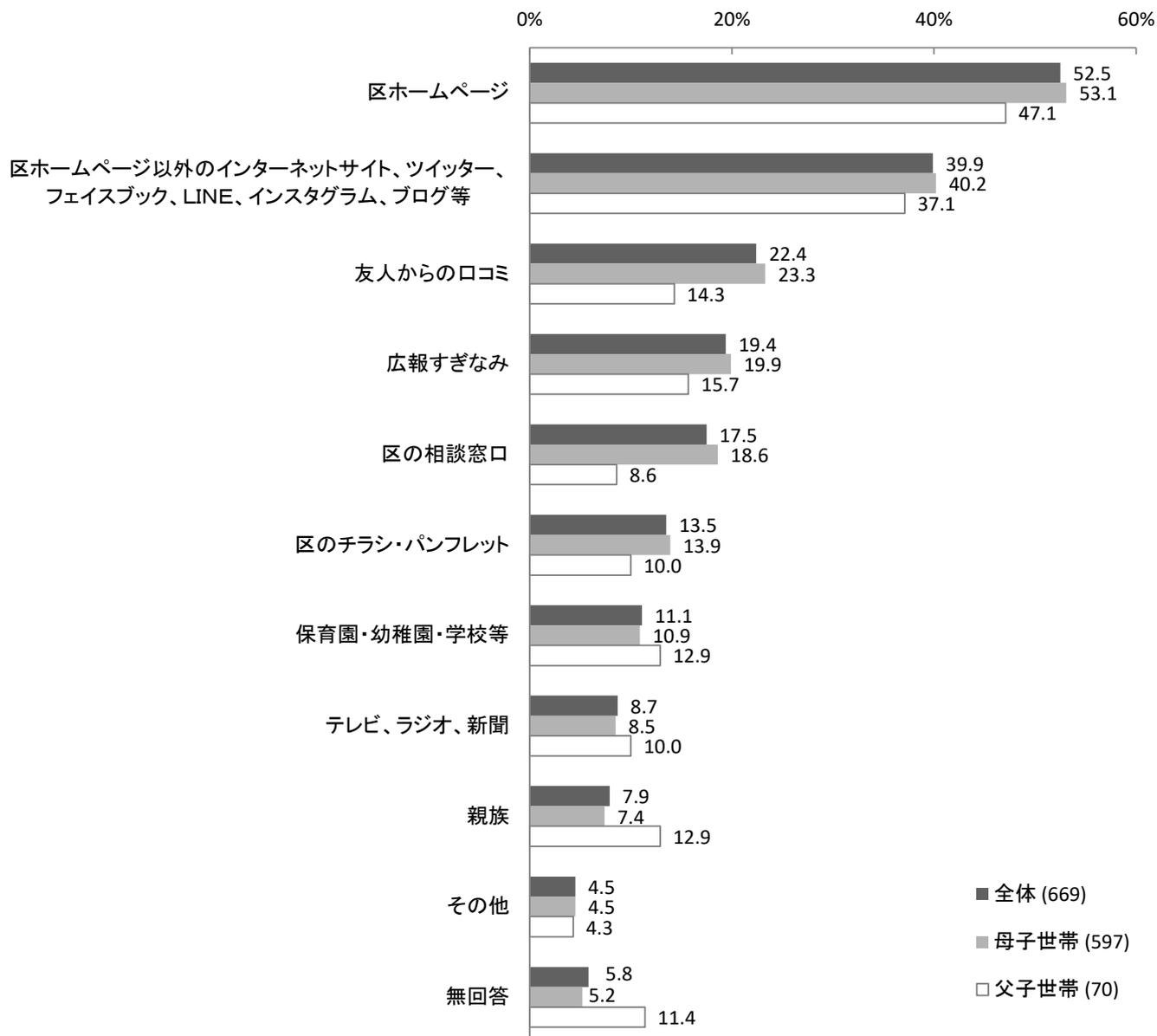
図表84. ひとり親家庭への支援で特に必要と思うもの（複数回答）



(7) 情報の入手先

ひとり親支援や子育てについて知りたい情報の入手先としては、「区ホームページ」が 52.5%と最も高く、「区ホームページ以外のインターネットサイト、ツイッター、フェイスブック、LINE、インスタグラム、ブログ等」が 39.9%、「友人からの口コミ」が 22.4%となっている。

図表85. 情報（ひとり親支援や子育て）の入手先（複数回答）



年齢区別にみると、いずれの年齢も「区ホームページ」が最も高くなっている。

図表86. 年齢区別による情報（ひとり親支援や子育て）の入手先（クロス集計）

上段:件数 下段:%		全体	区ホームページ	区ホームページ以外のインターネット、ツイッター、フェイスブック、LINE、インスタグラム、ブログ等	友人からの口コミ	広報すぎなみ	区の相談窓口	区のチラシ・パンフレット	保育園・幼稚園・学校等	テレビ、ラジオ、新聞	親族	その他	無回答
		全体	669 100.0	351 52.5	267 39.9	150 22.4	130 19.4	117 17.5	90 13.5	74 11.1	58 8.7	53 7.9	30 4.5
年齢区別	20～29歳	15 100.0	8 53.3	7 46.7	1 6.7	1 6.7	3 20.0	2 13.3	2 13.3	1 6.7	3 20.0	-	1 6.7
	30～39歳	166 100.0	87 52.4	76 45.8	36 21.7	22 13.3	28 16.9	24 14.5	19 11.4	11 6.6	16 9.6	3 1.8	8 4.8
	40～49歳	309 100.0	169 54.7	124 40.1	72 23.3	61 19.7	48 15.5	34 11.0	35 11.3	32 10.4	22 7.1	17 5.5	16 5.2
	50歳以上	168 100.0	79 47.0	56 33.3	37 22.0	44 26.2	37 22.0	27 16.1	18 10.7	14 8.3	12 7.1	10 6.0	13 7.7

9. 公的支援の利用状況

公的支援の利用状況については下図のとおりである。

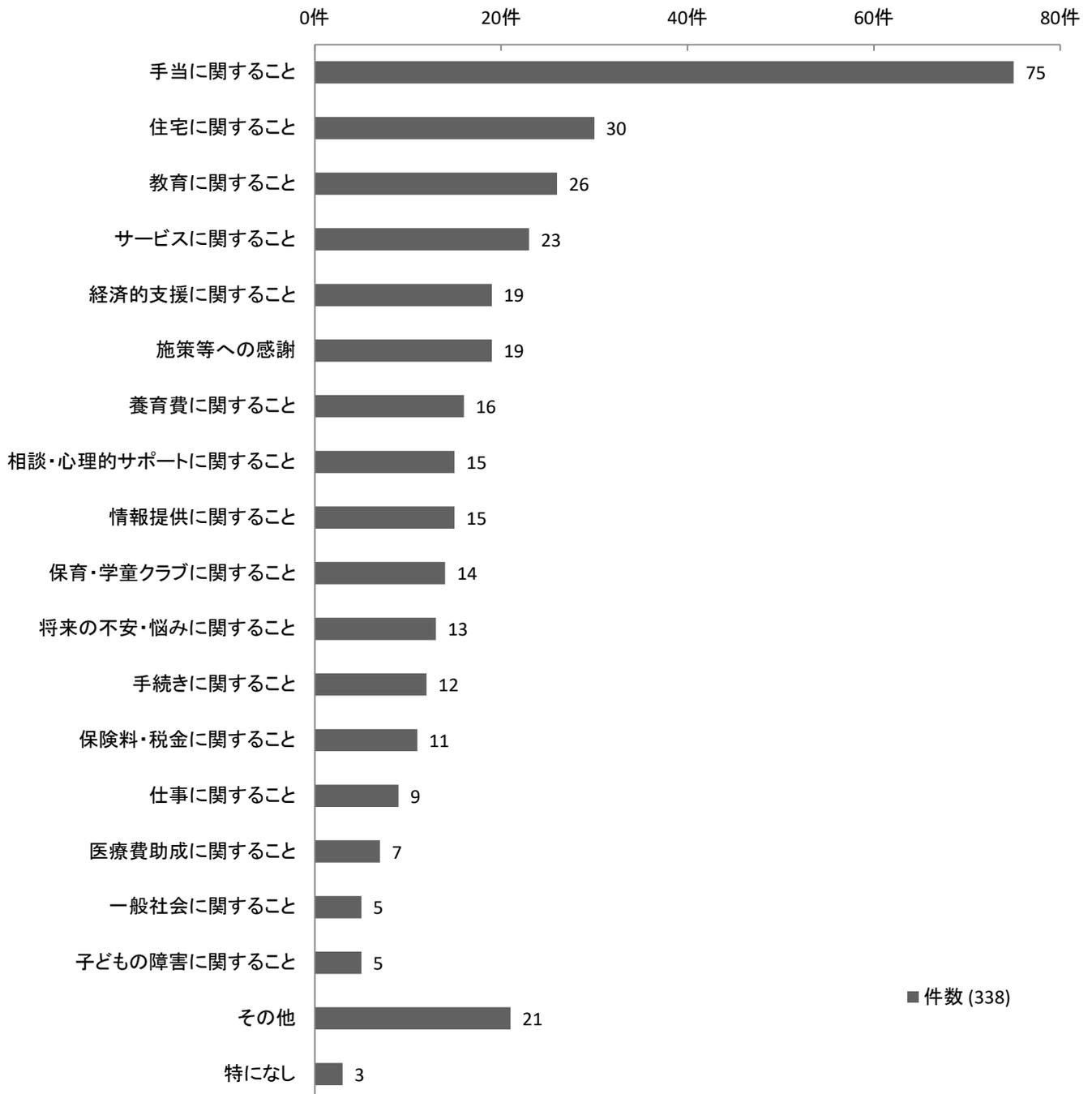
図表87. 公的支援の利用状況（単数回答）

		利用（受給）している またはしたことがある	利用（受給）したことが ない【今後、利用した ことがない】	利用（受給）したことが ない【制度を知らない】	利用（受給）したことが ない【必要がない】	利用（受給）したいが 条件に合わない （等）	無回答	(%)
①児童扶養手当	全体(669)	61.4	2.5	2.8	3.3	23.9	6.0	
	母子世帯(597)	63.1	2.3	1.3	3.2	24.1	5.9	
	父子世帯(70)	45.7	4.3	15.7	4.3	22.9	7.1	
②児童育成手当	全体(669)	67.3	3.3	4.9	3.6	15.1	5.8	
	母子世帯(597)	71.2	3.0	2.8	3.4	14.1	5.5	
	父子世帯(70)	32.9	5.7	22.9	5.7	24.3	8.6	
③ひとり親家庭等医療費助成	全体(669)	54.6	4.0	7.3	5.5	21.5	7.0	
	母子世帯(597)	58.0	4.2	4.4	5.5	21.3	6.7	
	父子世帯(70)	24.3	2.9	32.9	5.7	24.3	10.0	
④母子・父子自立支援員（区役所 子ども家庭部管理課・福祉事務所） による相談	全体(669)	7.0	7.6	33.2	35.6	4.0	12.6	
	母子世帯(597)	7.7	7.7	31.0	36.9	4.0	12.7	
	父子世帯(70)	1.4	7.1	50.0	25.7	4.3	11.4	
⑤ひとり親への就労支援（区役所 子ども家庭部管理課）	全体(669)	2.7	11.8	21.8	45.3	5.5	12.9	
	母子世帯(597)	2.8	13.1	20.1	45.6	5.5	12.9	
	父子世帯(70)	1.4	1.4	34.3	44.3	5.7	12.9	
⑥ひとり親家庭等ホームヘルプ サービス	全体(669)	3.3	11.7	32.9	33.2	6.4	12.6	
	母子世帯(597)	3.7	11.7	31.5	33.8	6.4	12.9	
	父子世帯(70)	0.0	11.4	44.3	27.1	7.1	10.0	
⑦ひとり親家庭休養ホーム（日帰り、 宿泊）	全体(669)	15.2	28.0	19.1	21.7	5.4	10.6	
	母子世帯(597)	16.6	29.5	16.1	21.8	5.4	10.7	
	父子世帯(70)	4.3	15.7	44.3	20.0	5.7	10.0	
⑧ひとり親家庭高等職業訓練促進 給付金	全体(669)	1.9	12.4	24.1	41.3	7.9	12.4	
	母子世帯(597)	2.2	13.2	22.4	41.9	7.9	12.4	
	父子世帯(70)	0.0	4.3	37.1	37.1	8.6	12.9	
⑨ひとり親家庭自立支援教育訓練 給付金	全体(669)	1.6	12.0	25.9	40.4	7.6	12.6	
	母子世帯(597)	1.8	13.1	24.0	40.9	7.7	12.6	
	父子世帯(70)	0.0	2.9	40.0	37.1	7.1	12.9	
⑩ひとり親家庭高等学校卒業程度 認定試験合格支援事業	全体(669)	0.4	3.3	23.0	55.2	4.9	13.2	
	母子世帯(597)	0.5	3.5	21.1	57.0	4.7	13.2	
	父子世帯(70)	0.0	1.4	37.1	41.4	7.1	12.9	
⑪ひとり親家庭のしおり	全体(669)	22.7	12.1	32.0	17.6	3.6	12.0	
	母子世帯(597)	24.6	12.1	29.8	18.1	3.2	12.2	
	父子世帯(70)	7.1	12.9	48.6	14.3	7.1	10.0	
⑫母子・父子福祉資金	全体(669)	2.1	7.8	42.3	29.3	6.1	12.4	
	母子世帯(597)	2.3	8.4	41.2	29.8	5.9	12.4	
	父子世帯(70)	0.0	2.9	51.4	24.3	8.6	12.9	
⑬生活保護	全体(669)	3.7	2.4	7.5	62.0	12.3	12.1	
	母子世帯(597)	4.2	2.5	6.9	62.3	12.1	12.1	
	父子世帯(70)	0.0	1.4	12.9	58.6	14.3	12.9	

10. 自由記載

意見が多かった順番に分類したところ、「手当に関すること」(75件)が最も多く、次いで、「住宅に関すること」(30件)、「教育に関すること」(26件)などとなっている。

図表88. ご意見・ご要望



以下、抜粋して記載している。

(1) 手当に関すること (75 件)

- ・ 児童手当等の要件を緩和してほしい。働かないと学費を払えず、Wワークまでして、少しでも収入上がると、上限超えて手当が受けられなくなる。借入しているのが現状。
- ・ ある程度収入があるために、手当が受けられない。しかし、収入があるようにみえても、シッターなどを頼むと赤字になってしまう。ひとり親全体が受けられる援助があってもよいのでは。
- ・ 離婚前提の別居にも関わらず、ひとり親制度（児童育成手当など）は利用できず、保育料は夫婦の収入合算で算出された料金のまま。どれだけ経済的に苦しめられているか。改善を強く希望する。
- ・ 同居親に収入があるとひとり親手当が受けられないが、同居しているからといって親が生活の面倒を見てくれるとは限らない。家庭環境をふまえて手当の支給を決めてほしい。

(2) 住宅に関すること (30 件)

- ・ 公営住宅にずっと応募し続けているが当たらない。ひとり親家庭や貧困家庭の住宅を増やし、優先的に入居させてほしい。
- ・ 生活保護の住宅手当の範囲では、十分な広さの住宅が少ない。1間で暮らしているため、年頃の姉弟のプライバシーを守ることが困難。エアコンがなく、熱帯夜の続く日は辛い。都営住宅も申し込み続けているが当たらず、この先どうになってしまうのかとても不安である。
- ・ 住居に困っており、区営住宅の抽選に当たりたい。それが出来ないなら、家賃補助あればと切実に思っている。
- ・ 住宅費の助成や住居を確保するための支援が欲しい。
- ・ 家賃が高いので住居に関する支援があるといいなと思う。収入に応じ手当が出ないのは理解できるので、引っ越し費用等に当てられる援助があったら助かる。

(3) 教育に関すること (26 件)

- ・ 子どもが義務教育の間は経済的にそれほど格差を感じなかったが、高校生になると塾代、進学費用などで差をととても感じる。その分を補おうと転職もしたが、収入が少し増えた分、手当や大学の授業料免除の減額・除外の可能性もあり、塾へ通えるほどは手元に残らない。義務教育の間は教育費がそれほどかからなかったもので、高校生、大学生の頃こそ支援があればよいなと思う。
- ・ 子供の教育・養育費が、家計に負担がかかる最も大きなもの。教育費の補助の充実をはかってほしい。
- ・ 子供の教育に関する支援があれば知りたい。塾に通わせたいが、送迎をお願いしたり、勉強を教えてもらえたりする等、サポートがあるのか。親を亡くした子供のカウンセリング等。
- ・ 子どもが大きかったり、親が就労できたりしていても、困りごとや悩みはある。しかし公的な制度や窓口は、小さい子を持つ親や、就労できていない人が優先かな…と思い、利用（相談）しづらい。高校・大学への進学については、ひとり親による低収入（必ず入れる都立校しか受けない。チャレンジするチャンスがない）、小学校時代に親が多忙で手をかけてやれなかった、等々により圧倒的な不利があると思う。

- ・ 中学入学時、制服代を払う時に予想外で大変だった。
- ・ 昨今、大学へ進む子が増えているものの、奨学金という借金を子に負担させなくてはならない不安がある。もう少し公的な制度で負担軽減をしてほしい。
- ・ 今は保育料も無料になり、助かっている。今後進学した時、教科書等も含め、どのくらいのお金がかかるのか不安はある。

(4) サービスに関すること (23 件)

- ・ 子どもを安心して託せる制度があれば仕事に就くこともでき、収入も得ることができる。金銭的にギリギリの生活をしているとすべてに余裕がなくなり心が荒んでしまう。「給付」も大事だが、「支援」の方により力を入れていただけると、住みよい社会になっていくのではないかと思う。
- ・ ひとり親家庭等ホームヘルプサービスの利用を希望していたが、コロナ禍により頓挫している状況。毎日の子育て、家事、仕事により疲弊している。
- ・ ファミリーサポートは、コロナで支援員を探すのが難しいと言われた。親族・知人が近くにいないので途方にくれている。
- ・ ひとり親家庭休養ホームの公的支援が大変ありがたいので、今後も充実していただきたい。この制度がなければ、経済的な心配でレジャーランドや宿泊はなかなかできず、休養できないと思う。
- ・ お母さん自身がまず目一杯仕事をしてベースができるような「環境整備」(子供を遅くまで預かってくれる等)が、金銭的な支援よりも、長い目でみれば優先順位が高いのではないか。

(5) 経済的支援に関すること (19 件)

- ・ 経済的な支援は、ほしい。所得制限があるが、本来2人でやるべきことを1人でやっているの、どうしてもヘルパーやお金で解決するシーンが多くなる。そこを支援してもらえる制度があれば助かる。
- ・ コロナの影響で収入が減った。追加給付金だけでなく、継続的な支援をしてほしい。
- ・ 18歳ですべての支援が打ち切られてしまうと、生活するのが厳しい。今は大学進学が多いので、せめて学生の間は手当や医療費の助成が継続されると助かる。子どもが優先で、自分にかかけられるお金が少なくなり病院を我慢して悪化してしまったこともある。経済的な支援がとにかく必要。
- ・ ひとり親の困り事の多くは、経済的困窮によるもので、お金で解決できるものが多くあると感じる。制度の拡充、養育費の確実な確保への支援を求める。

(6) 施策等への感謝 (19 件)

- ・ コロナ対策に係わるひとり親家庭支援事業で、カタログから好きな商品を申し込めたのは非常に助かった。区の支援、いつもとても助かっている。
- ・ 杉並区は、子ども支援、とりわけひとり親家庭支援が充実していると実感している。(他の自治体のことも少し調べました)。とても感謝している。

(7) 養育費に関すること (16 件)

- ・ 他の市区町村で始まっている、養育費保証会社の負担金の補助を早急に始めていただきたい。できることならそのような会社を通さず、都、もしくは区で税金のように強制的に徴収していただければと思う。公正証書はあるが、養育費の入金が止まってしまい困っている。
- ・ 子どもが成長し、これからますますお金が必要になるが、相手は一切連絡もよこさず、生きているか死んでいるかも不明。相手の生死やその後の婚姻について、子どもは知る権利がありますが、その手段が容易ではない。マイナンバー制度を利用して、未払いの養育費の回収に国や自治体が取り組んでいただきたい。
- ・ 養育費を請求しようにも、過去に暴力を振るわれた相手に、積極的にこちらから働きかけることは、怖くてできない。公正証書はあっても住所を隠されてしまい、訴訟もおこせなかった。国の支援を望む。

(8) 相談・心理的サポートに関すること (15 件)

- ・ ひとり親でも、手当のおかげで生活できている。これから子どもが高校・大学に進学すると学費がどれくらいかかるのか、生活していけるのかが不安。生活プランのアドバイスをしてくれる人がいたら安心だと思う。
- ・ 仕事に復帰するにあたり、相談窓口にうかがったが、支援の対象でないためか、実用的な回答は得られず、制度の紹介の紙を受け取っただけだった。各々の家庭で異なる困りごとがあるはずなので、制度の説明だけでなく、困りごとの解決方法を教えていただけるとありがたい。
- ・ 新型コロナに親が感染し入院となって、頼れる人がいない場合、子ども達のことを誰に相談していいかわからない。緊急時にどこに相談すればいいか、もっと分かりやすくしてほしい。

(9) 情報提供に関すること (15 件)

- ・ 制度はあっても、十分に情報が得られていない。
- ・ 区のホームページが複雑で、知りたい情報が見つげにくい。
- ・ 離婚届を提出した時など、ひとり親になった時に支援事業の一覧や冊子を配布するなどしてほしい。
- ・ コロナで仕事を失った。無事新しい仕事は見つかったが、そういう時の支援等がわかりづらい。

(10) 保育・学童クラブに関すること (14 件)

- ・ 求職中の保育園活動が本当に大変。点数が低くなってしまうのが、大きなハードルになってしまう。近くに子どもの面倒を見てくれる人がいないひとり親家庭は、もっと点数を上げてほしい。
- ・ サービス業など、職種によっては日曜、休日の休みがとりづらく、遅番勤務もある。日曜出勤や遅番の日には子どもの預け先に困っている。22 時以降、日曜日でも預けられる保育所の開設を切に願っている。
- ・ 保育園からひとり親にはかなりきびしい条件等を言われて、苦しい時どこに相談したらよいかかわからない。ひとりで育てていて、保育園が頼りなのにとても不安になる。

(11) 将来の不安・悩みに関すること (13 件)

- ・ 現在は親が健在のため、家事の面でだいぶ助けられています。介護が必要になった場合を想像すると不安でいっぱいになる。どこに相談し、どんな支援が受けられるのか教えてほしい。
- ・ コロナの影響で外からのサポートを受けにくく、仕事と家庭の両立が大変。家の中がグチャグチャでも、生活のために仕事を休むことも辞めることもできない。子どもも自分もストレスフルな状況のため、心理的なサポートがほしい。
- ・ 子どもが18歳になり、手当がなくなった後が不安。年齢が上がるにつれ仕事が少なくなり、貧困から抜け出すことができない。負のスパイラルから抜け出すシステムがあるとうれしい。

(12) 手続きに関すること (12 件)

- ・ マイナンバー制度を活用して、手続きを簡略化してほしい。平日の手続きのため有休を消化してしまい、子どものために有休を使えない。
- ・ 出張所では相談や手続きができず、本庁が遠いために、なかなか前に進めない人が多いと思う。
- ・ 離婚前に、自力でいろいろ調べた。行政に相談できることは知っていたが、予約など時間がかかりすぎる。窓口で対応する人によって内容が変わり、たらいまわしもあった。
- ・ 生活保護等について連絡をしたことがあるが、お金の相談はとても勇気がいる。担当の方には寄り添った対応をお願いしたい。

(13) 保険料・税金に関すること (11 件)

- ・ 未婚のため寡婦控除を受けられない。ひとりで子育てをしていることに変わりはないはずなのに、なぜ控除を受けられないのか理解に苦しむ。
- ・ 手当という形が難しければ、ひとり親は所得税・住民税を非課税にするなど、就業している人も支援されるようになればと思う。

(14) 仕事に関すること (9 件)

- ・ 安定した職に就きたいが、ひとり親は時間の制約があるのでキャリアアップにつながらない。高収入を得るために、資格を取りたくても勉強時間を確保できない。
- ・ ひとり親を理由に不採用になることがある。ひとり親が働きやすい求人が増えるよう区から企業によびかけてほしい。
- ・ 小さい子どもがいるひとり親家庭は、お迎え時間の問題等で、なかなか正社員で働くことができないため、経済的支援は必要だと思う。子どもが大きくなってから正社員になることも難しく、経済的に厳しいのが変わらない。金銭面の支援ももちろん必要だが、就労支援等ももっとあると助かる。

(15) 医療費助成に関すること (7 件)

- ・ ひとり親の医療費助成の申請が大変だった。平日9時~17時に区役所に行くために仕事を休まなければならない、窓口での要件確認にも非常に時間がかかった。
- ・ 医療費助成についてだけでも、対象年齢、所得制限限度額の引き上げをしてほしい。

(16) 一般社会に関すること（5件）

- ・ 今後、父親がいないことに悩んだり、いじめられたりしないか心配がある。そういう相談やアドバイスをいただける機会があれば利用したい。
- ・ 少子化という割に、「子供を第一に考える」政策がなされていないと思う。もっと女性の自立支援、ひとり親でも一般家庭とかわらず不自由なく子育てできる環境にしてほしい。

(17) 子どもの障害に関すること（5件）

- ・ 子どもに発達障害があるが、知的障害ではないために支援が受けられない。仕事との両立を頑張ってきたが、体調を崩してしまった。そんな時でも、児童扶養手当は昨年実績の年収のため支給されず、生活は困窮している。区や児相、発達支援センターや社協などにも相談したが、支援の中で使えそうなものはなかった。どうかしてほしい。
- ・ 働きたくても、障害のある子どもの預け先がない。生活介護でレスパイトが必要なときも、ひとり親支援では子どもを預かってもらえない。障害福祉の短期入所(特に児童)はほぼ機能していない。ひとり親支援だけでは解決しない。「障害児」「きょうだい児」「ひとり親」広い視点での理解、連携した支援をお願いしたい。

(18) その他（21件）

- ・ 異性の子を育てるにあたり、参考になる講座などがあると良い。
- ・ 連れ去りや押しかけが怖いので、セキュリティ対策がしっかりした賃貸に住んでいる。DVがないので、住民票の非公開手続きができない。住民票の非公開のハードルがもう少し下がれば、安心してもう少し安価な家へ引っ越せるのに、と思う。
- ・ すでに子どもが大きくなっているため、この調査で知りたい本質部分に影響があるのかはわからない。しかし、ひとり親でご苦労されているご家庭の、少しでも経済的・精神的な支援の一助になればと願っている。区の担当者の方々もご努力大変と思うが、これからも頑張っていたきたい。

複数回、ひとり親となった経験のある方は、直近の状況についてお答えください。

問7 ひとり親になってからの年数はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. 1年未満 | 4. 3年～4年未満 | 7. 10年以上 |
| 2. 1年～2年未満 | 5. 4年～5年未満 | |
| 3. 2年～3年未満 | 6. 5年～10年未満 | |

問8 ひとり親になった理由について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 死別 | → 4ページの問9へすすむ |
| 2. 離婚 | |
| 3. 未婚 | |
| 4. 別居 | |
| 5. その他 () | |

◆養育費について、お伺いします。

★問8で「2」～「5」に○をつけた方にお伺いします。

問8-1 養育費の受け取りの状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|------------|
| 1. 取り決めがあり、受け取っている | |
| 2. 取り決めがあるが、受け取っていない・支払われていない | |
| 3. 取り決めはないが、受け取っている | |
| 4. 取り決めはなく、受け取ってもいない・支払われていない | → 問8-3へすすむ |
| 5. その他 () | |

★問8-1で「1」または「2」に○をつけた方にお伺いします。

問8-2 養育費の取り決めの方法について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1. 公的文書（公正証書、調停、審判、判決） |
| 2. その他の文書 |
| 3. 文書なし（口頭など） |

★問8-1で「3」または「4」に○をつけた方にお伺いします。

問8-3 養育費の取り決めをしていない理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 取り決めの交渉がわずらわしいから |
| 2. 相手に支払う意思がないと思ったから |
| 3. 相手に支払う能力がないと思ったから |
| 4. 交渉をしたがまとまらなかったから |
| 5. 相手から身体的・精神的暴力を受けたから |
| 6. 自分の収入等で経済的に問題ないから |
| 7. 相手と関わりたくないから |
| 8. 相手に養育費が請求できることを知らなかったから |
| 9. その他 () |

★前ページ問8-1で「養育費を受け取っている」(「1」または「3」)に○をつけた方にお伺いします。

問8-4 過去1年間に受け取った養育費の総額はいくらですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 12万円未満	4. 60万円～84万円未満
2. 12万円～36万円未満	5. 84万円～108万円未満
3. 36万円～60万円未満	6. 108万円以上

◆面会交流について、お伺いします。

問8-5 お子さんとお子さんの親(相手方)との面会交流について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 現在、行っている	} → 問8-7へすすむ
2. 過去に行ったことがあるが、現在は行っていない	
3. 今まで行ったことがない	

★問8-5で「1. 現在、行っている」に○をつけた方にお伺いします。

問8-6 面会交流の頻度のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 月2回以上	5. 夏休みなどの長期休み中
2. 月1回程度	6. その都度、協議
3. 2～3か月に1回以上	7. その他
4. 4～6か月に1回以上	()

★問8-5で「2」または「3」に○をつけた方にお伺いします。

問8-7 面会交流を行っていない理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 相手が養育費を支払わないから
2. 子どもが会いたがらないから
3. 面会することは、子どものためにならないと思うから
4. 子どもの連れ去りや虐待の可能性があるから
5. 相手が面会交流を希望しないから
6. 相手と関わりたくないから
7. 相手が結婚したから
8. その他 ()

★ここからは、すべての方にお伺いします。

◆仕事について、お伺いします。

問9 ひとり親になる前、仕事をしていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
※育児休業など休業中だった方は「1.ひとり親になる前、仕事をしていた」に○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1. ひとり親になる前、仕事をしていた | |
| 2. ひとり親になる前、仕事をしていなかった | ⇒ 問10へすすむ |

★問9で「1. ひとり親になる前、仕事をしていた」に○をつけた方にお伺いします。

問9-1 どのような雇用形態でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 自営業 | 4. パート・アルバイト |
| 2. 正社員・正規職員 | 5. その他 |
| 3. 契約社員・派遣社員 | () |

問9-2 ひとり親になったことにより転職しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 1回転職した | 4. 転職はしていない(続けている) |
| 2. 2回転職した | 5. その他 |
| 3. 3回以上転職した | () |

★問9-2で「1」～「3」に○をつけた方にお伺いします。

問9-3 転職で利用した窓口はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. ハローワーク、マザーズハローワーク | 5. 求人広告(就職情報誌・チラシ等) |
| 2. 区のひとり親家庭支援担当窓口 | 6. 人材派遣会社 |
| 3. 杉並区就労支援センター | 7. インターネットの求職サイト |
| 4. 友人・知人等の紹介 | 8. その他 |
| | () |

★ここからは、すべての方にお伺いします。

問10 現在、仕事をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
※育児休業など休業中の方は「1. 現在、仕事をしている」に○をつけてください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 現在、仕事をしている | |
| 2. 現在、仕事をしていない | ⇒ 次ページの問10-7へすすむ |

★問10で「1. 現在、仕事をしている」に○をつけた方にお伺いします。

問10-1 どのような雇用形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
※複数の仕事をしている場合は、主な就労形態をお答えください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 自営業 | 4. パート・アルバイト |
| 2. 正社員・正規職員 | 5. その他 |
| 3. 契約社員・派遣社員 | () |

★ここからは、すべての方にお伺いします。

問13 今後、就職や転職にあたって取得したい資格等がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 簿記	9. 介護福祉士
2. 看護師・准看護師	10. 保育士
3. 調理師	11. 理学療法士・作業療法士
4. 理・美容師	12. はり・きゅう、柔道整復師
5. パソコン	13. 大型・第二種自動車免許
6. 社会福祉士・精神保健福祉士	14. 医療事務
7. 栄養士	15. 行政書士
8. 介護職員初任者研修・ 介護福祉士実務者養成研修	16. その他 ()
	17. 資格や技術は必要ない

◆経済状況について、お伺いします。

問14 現在、どのような収入等で生計を立てていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分の就労収入
2. 養育費
3. 児童扶養手当等の公的手当
4. 年金（遺族年金・障害年金・老齢年金）
5. 母子・父子福祉資金等の公的な貸付
6. 金融機関からの借入れ
7. 親族からの支援
8. 蓄えを取り崩す
9. 生活保護
10. その他 ()

問15 昨年(平成31年1月～令和元年12月)1年間の世帯の手取り総収入（養育費・手当等と同じ世帯の方の収入すべてを含みます）はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 0～100万円未満	6. 500万円～600万円未満
2. 100万円～200万円未満	7. 600万円～800万円未満
3. 200万円～300万円未満	8. 800万円～1,000万円未満
4. 300万円～400万円未満	9. 1,000万円以上
5. 400万円～500万円未満	

問16 世帯の貯金の状況はどのようになっていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 貯金はしていない	6. 200万円～300万円未満
2. 10万円未満	7. 300万円～400万円未満
3. 10万円～50万円未満	8. 400万円～500万円未満
4. 50万円～100万円未満	9. 500万円以上
5. 100万円～200万円未満	

問17 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 大変ゆとりがある | 4. やや苦しい |
| 2. ややゆとりがある | 5. 大変苦しい |
| 3. 普通 | |

◆子育てについて、お伺いします。

★小学校入学前のお子さんと同居している方にお伺いします。

問18 **お子さんが病気のとき**、お子さんの世話をどうしていますか（どうしますか）。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 自分が仕事を休む |
| 2. 親族に頼む |
| 3. 友人・知人に頼む |
| 4. 区のサービス（ひとり親家庭等ホームヘルプサービス、病児・病後児保育）を利用する |
| 5. 民間事業者のサービスを利用する |
| 6. その他（ ） |

問19 **あなたが病気などで、お子さんの世話ができないとき**、どうしていますか（どうしますか）。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 親族に頼む |
| 2. 友人・知人に頼む |
| 3. 区のサービス（ひとり親家庭等ホームヘルプサービス、子どもショートステイ等）を利用する |
| 4. 民間事業者のサービスを利用する |
| 5. 子どもだけで何とかしてもらう |
| 6. その他（ ） |

★ここからは、すべての方にお伺いします。

問20 家庭でお子さんと過ごす時間について、どう感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 十分にとれている | 2. 十分にはとれていない |
|-------------|---------------|

問21 お子さんとの会話・やりとりについて、どう感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 十分にできている | 2. 十分にはできていない |
|-------------|---------------|

◆健康について、お伺いします。

問22 あなたの、現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 健康である | 4. 障害認定を受けている（難病を除く） |
| 2. 通院している | 5. 難病の指定を受けている |
| 3. 通院はしていないが、体調は良くない | 6. その他（ ） |

◆悩みや困りごとなどについて、お伺いします。

問23 ひとり親になる前に知りたかったことはありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 児童扶養手当など経済的な支援 | 6. DVなどに関する支援 |
| 2. 住居に関する支援 | 7. 養育費や面会交流に関すること |
| 3. 子育てに関する支援 | 8. 病気や障害に関する支援 |
| 4. 就労に関する支援 | 9. その他 |
| 5. 財産分与や慰謝料など法律に関すること | () |
| | 10. 特になかった |

問24 ひとり親になったときに、悩みや困り事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 家計（生活費、教育費、家賃、養育費等）に関すること | 7. 財産分与や慰謝料など法律に関すること |
| 2. 住居に関すること | 8. DVに関すること |
| 3. 子育てに関すること | 9. 養育費や面会交流に関すること |
| 4. 就労に関すること | 10. その他 |
| 5. 家事に関すること | () |
| 6. 自分の健康に関すること | 11. 特になかった |

問25 現在、悩みや困り事がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 家計（生活費、教育費、家賃、養育費等）に関すること | 6. 自分の健康に関すること |
| 2. 住居に関すること | 7. 財産分与や慰謝料など法律に関すること |
| 3. 子育てに関すること | 8. DVに関すること |
| 4. 就労に関すること | 9. 養育費や面会交流に関すること |
| 5. 家事に関すること | 10. その他 |
| | () |
| | 11. 特にない ➡ 次ページの問27へすすむ |

★問25で「1」～「10」に○をつけた方にお伺いします。

問26 悩みや困り事の解決方法について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 親族に相談する |
| 2. 友人に相談する |
| 3. 保育園・幼稚園・学校や地域の知り合いに相談する |
| 4. 区の窓口で相談する |
| 5. 区以外の公的機関に相談する |
| 6. 民間の支援機関（NPO等）に相談する |
| 7. 保育園・幼稚園・学校等の先生に相談する |
| 8. インターネット、SNS等で情報収集する |
| 9. その他 () |
| 10. 特に何もしない ➡ 次ページの問26-1へすすむ |

★前ページ問26で「10. 特に何もしない」に○をつけた方にお伺いします。

問26-1 特に何もしない理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分で解決できるから
2. 時間がないから
3. 相談しても支援を受けられないと思うから・解決しないと思うから
4. 事情を説明するのが嫌だから
5. 相談相手（場所）がない（ない）から
6. その他（)

★ここからは、すべての方にお伺いします。

問27 ひとり親家庭への支援で、特に必要と思うもの（3つまで）に○をつけてください。

1. 経済的支援の充実
2. 養育費確保に向けた支援の充実
3. 面会交流実施に向けた支援の充実
4. 就労支援の充実
5. ヘルパー等による家事育児支援の充実
6. 保育園・学童クラブ・一時預かり等の充実
7. 住宅確保支援の充実
8. ひとり親同士の交流の場への支援
9. 子どもと家庭に関する相談窓口の充実
10. その他（)
11. 特にない

問28 ひとり親支援や子育てについて知りたい情報は、どこから入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 広報すぎなみ
2. 区のチラシ・パンフレット
3. 区の相談窓口
4. 区ホームページ
5. 区ホームページ以外のインターネットサイト、ツイッター、フェイスブック、LINE、インスタグラム、ブログ等
6. 友人からの口コミ
7. 親族
8. 保育園・幼稚園・学校等
9. テレビ、ラジオ、新聞
10. その他（)

◆公的支援の利用状況をお伺いします。

別添の「事業のあらまし」をご参照ください。

問29 公的支援の利用状況について、①～⑬それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

事業名	1. 利用（受給）しているまたはしたことがある	利用（受給）したことがない			5. 利用（受給）したいができない（要件に合わない等）
		2. 今後、利用したい	3. 制度を知らない	4. 必要がない	
（記入例）	1	2	3	4	5
① 児童扶養手当	1	2	3	4	5
② 児童育成手当	1	2	3	4	5
③ ひとり親家庭等医療費助成	1	2	3	4	5
④ 母子・父子自立支援員（区役所子ども家庭部管理課・福祉事務所）による相談	1	2	3	4	5
⑤ ひとり親への就労支援（区役所子ども家庭部管理課）	1	2	3	4	5
⑥ ひとり親家庭等ホームヘルプサービス	1	2	3	4	5
⑦ ひとり親家庭休養ホーム（日帰り、宿泊）	1	2	3	4	5
⑧ ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金	1	2	3	4	5
⑨ ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金	1	2	3	4	5
⑩ ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	1	2	3	4	5
⑪ ひとり親家庭のしおり	1	2	3	4	5
⑫ 母子・父子福祉資金	1	2	3	4	5
⑬ 生活保護	1	2	3	4	5

問30 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。



◆質問は以上です。お忙しいところ、本調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。
ご回答は、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れ、9月4日(金)までに郵便ポストにご投函ください。

杉並区ひとり親家庭実態調査報告書
令和2年度

登録印刷物番号

02-0029

令和2年11月発行

編集・発行：杉並区子ども家庭部管理課 ひとり親家庭支援担当

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目 15 番 1 号

TEL (03)5307-0343(直通)

☆杉並区のホームページでご覧になれます。<https://www.city.suginami.tokyo.jp>